

令和8年度

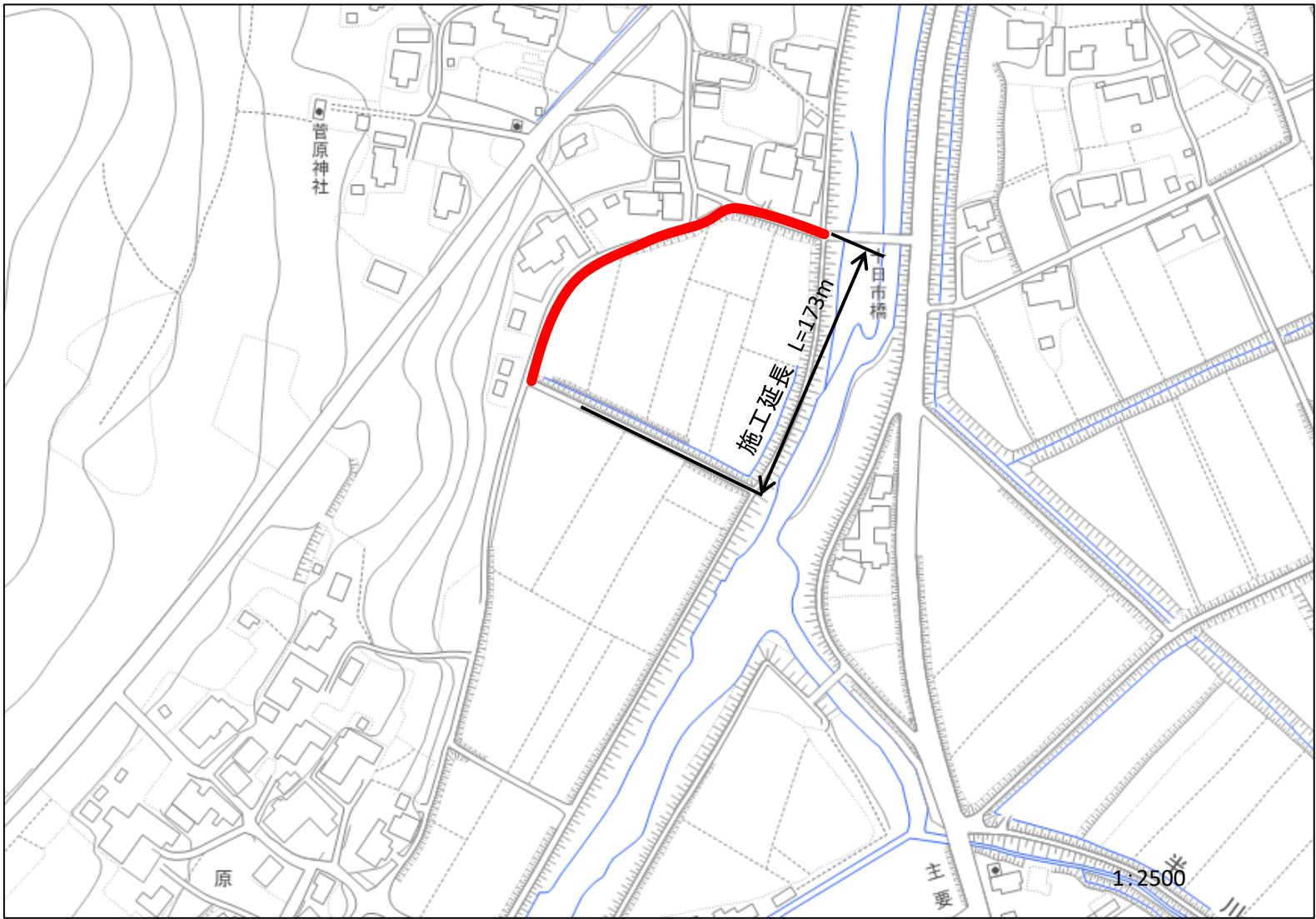
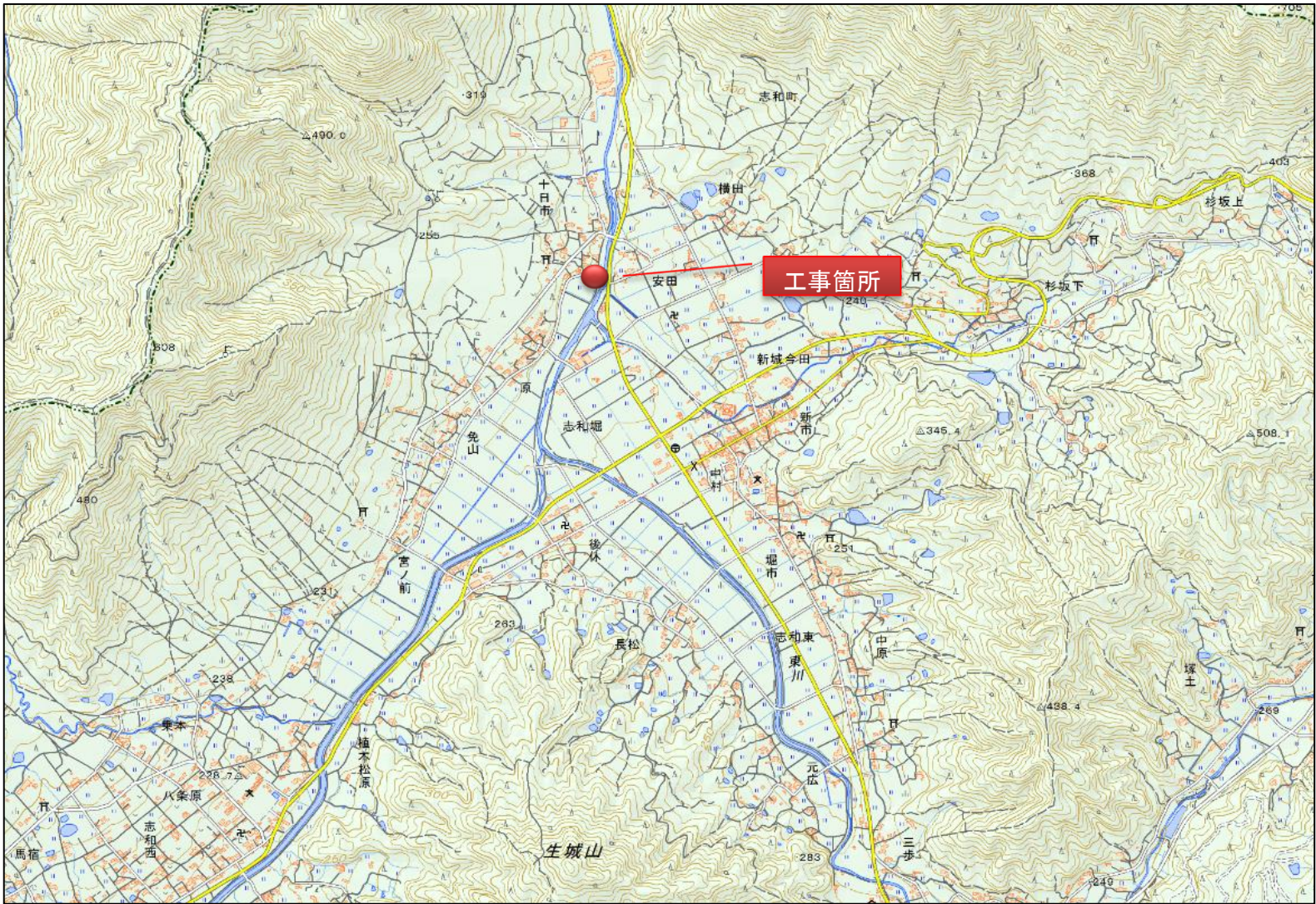
生活市道整備事業

志和堀西10号線道路改良工事

仕様書

施 工 箇 所 東広島市志和町志和堀

志和堀西10号線道路改良工事 位置図



特 記 仕 様 書

志和堀西10号線道路改良工事

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 債務負担
4. 現場代理人の兼務
5. 現場作業終期日
6. 履行報告
7. 官公庁等への手続き等
8. 工事中情報共有システム（発注者指定型）
9. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
10. 主任（監理）技術者及び現場代理人の配置について
11. 法定外の労災保険の付保
12. 週休2日適用工事等 週休2日
13. 建設副産物の取り扱いについて
14. 猛暑時間の施工回避
15. 熱中症による健康障害発生時の対応計画

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等
3. 六価クロム溶出試験
4. 溶融スラグを利用した資材の使用
5. 路床安定処理工

第3章 施工条件

1. 工程
 - (1) 関連する別途工事
 - (2) 施工時期・時間の制限
2. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
 - (2) 架空線の防護管に要する費用について
3. 盛土・埋戻土
 - (1) 流用土(工事内流用)
 - (2) 購入土(搬入)(建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土)
4. 建設副産物
 - (1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))
 - (2) コンクリート殻(無筋)(搬出)
 - (3) アスファルト殻(搬出)
5. 工事支障物件
 - (1) 地下・地上障害物

第4章 施工管理

1. 出来形管理

(1) 表層工及び道路面に天端が接する構造物

第5章 その他

1. 工事関係書類

2. 工事写真

3. 疑義の解決等

4. 仮設工

5. 通学路について

6. 暗渠排水の有無（農地）

7. 工事の確認（農地）

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県）」」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。
この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、
「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要綱」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と
「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、
「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。
- (13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。

3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 債務負担

各会計年度における請負代金の支払い限度額は次のとおりとする。

令和8年度 23,850,000円

令和9年度 残額

出来高予定額

令和8年度 23,850,000円

令和9年度 残額

発注者は、予算の都合その他の必要があるときは、支払い限度額及び出来高予定額を変更することができる。

支払い方法について、次のとおりとする。

前金払い 請求可

ただし、請求する場合は、契約会計年度は出来高予定額の40%以内を請求することとする。

なお、余裕期間制度適用工事においては「契約会計年度」を「工期の始期の属する年度」とする。

中間前金払・部分払い

契約約款特約事項22項により、契約締結時にいずれかを選択するものとする。ただし、中間前金払いを選択した場合においても、契約会計年度は、出来高予定額に係る当該年度末の出来高に対する部分払いを請求できるものとする。

4. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
- 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日（東広島市の休日を定める条例（平成元年東広島市条例第6号）第1条第1項に規定する市の休日を除く。）を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき

4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

5. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、下記の作業を終了しなければならない。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版」第1編 1-1-1-23第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

6. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図（施工済み箇所を着色）又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

7. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

8. 工事中情報共有システム（発注者指定型）

(1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象（発注者指定型）である。

(2) 工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。

(3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム（一般社団法人 広島県土木協会）

<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>

(4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。

(5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。

(6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。

2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。

3) 「4.検査」は適用しない。

4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。

5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

9. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

(1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

(2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。

- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。
- ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。
- 1) 補正方法
- ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。
- イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
- ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
- 2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

10. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

11. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

12. 週休2日適用工事等 週休2日

本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

13. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計

画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
 - (2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
 - (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
 - (4) 建設発生土の搬出量
 - (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付
- 受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
- 受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
- 受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 13 建設発生土の最終搬出先までの確認
- 受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。
- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
 - (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
 - (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
 - (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）
14. 猛暑時間の施工回避
- 1 本工事は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を発注者と協議し設定できる工事である。
 - 2 実施方法は次のとおりとする。
 - (1) 内容
 - ア 受注者は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を監督職員と協議し設定できる。
 - イ 作業時間を短縮した場合は、短縮時間に応じて、工期を延長することができるものとする。
 - ウ 工事における現地の立会等については、監督職員の勤務時間に合わせるものとする。
 - エ 対象期間は、6月1日から9月30日までとする。
 - (2) 工期延長日数の算出方法
$$\text{工期の延長日数}^{\ast 1}(\text{日}) = \text{短縮時間}(\text{時間}) \times \text{対象期間}^{\ast 2}(\text{日}) \div 8(\text{時間})$$
なお、猛暑日等による作業不能日とは、別に考慮できるものとする。
 - ※1 小数第1位を切り上げるものとする。
 - ※2 現場閉所日を含む。
 - 3 作業時間の変更に伴う工事費の増額については、設計変更の対象としない。
15. 熱中症による健康障害発生時の対応計画
- 1 猛暑による厳しい環境下での現場作業[※]が見込まれる工事を対象とする。
 - ※WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で、連続1時間以上又は1日4時間を超える作業
 - 2 受注者は、熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に、迅速かつ的確な判断ができるよう、「緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先や所在地」及び「作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等の熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順」などを施工計画書の「緊急時の体制及び対応」項目に記載するとともに、工事関係者へ周知すること。

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
セメント及び混和材		
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S 製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S 製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

3. 六価クロム溶出試験

本工事は「六価クロム溶出試験」の対象工事であり、次の工種について、六価クロム溶出試験を実施し、試験結果(計量証明書)を提出するものとする。なお、試験方法は、セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)によるものとする。また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

4. 溶融スラグを利用した資材の使用

1. 溶融スラグを利用した資材の使用

再生加熱アスファルト混合物、プレキャストコンクリート製品、再生路盤材及び埋戻材等については、広島中央環境衛生組合が製造する溶融スラグ(以下「溶融スラグ」という。)を利用した資材を使用するよう努めるものとする。溶融スラグ利用及び使用する資材にあたっては「溶融スラグの有効利用促進等に関する方針」「溶融スラグ有効利用ガイドライン【品質編】、【運用編】」に準拠するものとする。なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議すること。

2. 品質管理及び確認

1. で示したもののほか、溶融スラグを利用した資材の使用における品質の管理及び確認は、広島版「土木工事共通仕様書(令和7年8月)」及び広島版「施工管理基準(令和7年8月)」によるものとする。ただし、書類により品質が確保できる項目においても、監督職員が必要と認めるものは現場検収を実施できるものとする。

3. 再生加熱アスファルト混合物への使用

溶融スラグを再生加熱アスファルト混合物に使用する場合、広島版「土木工事共通仕様書(令和7年8月)」の「1-1-2-16 環境対策」に示す登録リサイクル製品の使用は適用しないものとする。

4. 適合規格

溶融スラグの適合規格については、広島版「土木工事共通仕様書(令和7年8月)」に記載の適合規格(「2-2-3-1 一般事項 1.」)ではなく、「JIS A 5031 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材」を適用するものとする。

5. 路床安定処理工

路床安定処理工は、セメント系固化材配合量5.00 t /100㎡を見込んでいる。路床安定処理工に際し、資料を採取し、配合試験を行い報告すること。また、配合試験により配合量が変更となる場合には、請負代金額の変更対象とする。

第3章 施工条件

1. 工程

(1) 関連する別途工事

工事名	志和町志和堀地区配水管布設替工事（更新）
影響箇所	No. 0～No. 8
他工事の内容	配水管布設（なお、安定処理前に配水管の更新を予定している）
時期	令和9年1月～令和9年5月

(2) 施工時期・時間の制限

工事時期①	工事着手時期について、工作物収穫の令和8年10月末を予定している。
工事時期②	排水構造物施工は、工作物作付け前の令和9年4月中旬までに完成させること。

2. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から4日間（3人／日）を見込んでいる。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

工 種	配置場所	配置人数	施工時間	備 考
工種全般	全区間	3	－	最初の4日間

(2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

3. 盛土・埋戻土

(1) 流用土(工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、 263m³(地山土量) については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

(2) 購入土(搬入)(建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土)

本工事では、 460m³(ほぐし) の土砂購入を見込んでいる。

① 当該工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費(工場渡し)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用(単価)は変更しない。

② ①により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について監督職員と協議すること。

③ 使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果(計量証明書)を提出するものとする。

4. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

(名称)	有限会社広剛産業福富残土処分場2
(所在地)	東広島市福富町上竹仁字段原山845-48
(運搬距離)	6.2 km

(2) コンクリート殻(無筋)(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻(無筋)は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 5.6 km を見込んでいる。

(3) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 5.6 km を見込んでいる。

5. 工事支障物件

(1) 地下・地上障害物

支障物件名	通信線及び電柱
管理者	NTT西日本株式会社
位置	原(二)幹9・原(二)幹8・原(二)幹7
移設時期	令和8年10月～令和9年2月 (内 3 週間)
工事方法	－
防護方法	－
共架物	防犯灯
管理者	東広島市 危機管理課
位置	志和-17・志和666
移設時期	通信線及び電柱移設を発注者と調整して実施すること。

第4章 施工管理

1. 出来形管理

(1) 表層工及び道路面に天端が接する構造物

本工事において、路面に天端が接する構造物の出来高管理は下記のとおり行うこと。なお、下記以外の項目については、広島県制定「土木工事施工管理基準(令和7年8月)」に基づいて実施しなければならない。

工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
表層工	基準高さ▽	±30	40m毎に1箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。		
道路面に天端が接する構造物(コンクリートブロック工、コンクリート擁壁工、側溝工等)	基準高さ▽	±30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		

第5章 その他

1. 工事関係書類

- (1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領「土木工事編」によるものとする。
- (2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準（令和7年8月）」によるものとし、納品に当っては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかとする。
 なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4. 仮設工

仮設工（任意）については、事前に設置方法を施工計画書にまとめ、監督職員へ提出すること。
 なお、仮設方法については、正当な理由がある場合は、請負代金額の変更対象とする。
 工事用道路用の敷鉄板は、田んぼ毎に流用を見込んでいる。

5. 通学路について

当該工事箇所である市道志和堀西10号線は、志和小学校、志和中学校の通学路となっている。
 当該施工区間である市道志和西10号線は通行止めとして施工を実施する予定であるが、歩行者及び自転車の安全確保に十分留意すること。

6. 暗渠排水の有無（農地）

現場作業着手前に、当該農地の既設暗渠排水の有無を確認すること。既設暗渠排水がある場合は、位置及び現在の排水機能について地権者等による立会確認を行うこと。

7. 工事の確認（農地）

当該農地の施工箇所及び仮設箇所、作業ヤード等は、現場作業完了後に地権者等による立会確認を行うこと。また、確認結果を監督職員に提出すること。

特 記 仕 様 書 ②

この特記仕様書は、志和堀西 10 号線道路改良工事における家屋調査に適用する。実施に当たっては、契約約款及び設計仕様書・図書のほか、広島県制定「用地調査等業務共通仕様書（平成 13 年 4 月制定・令和 6 年 8 月最終改正）」に基づいて実施しなければならない。この場合においては、「知事」とあるのは「市長」と、「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替えるものとする。

	1		2	調査区域	1	契約上の全ての箇所について、現場状況、工事内容に応じて調査する物件を決定すること。
	2	1	18	立入り及び立会い	2	道路改良工事の進捗にあわせて実施する必要があるため、監督職員と協議しなければならない。 なお、地元との交渉次第で調査日がスライドすることがあり得る。
	2	1	18	立入り及び立会い	3	調査完了した箇所については、すみやかに所有者に確認をしてもらい、「確認書」を受理しなければならない。 家屋・工作物の所有者が立ち入りを拒否された場合は、速やかに監督職員に報告するとともに、「家屋等事前調査辞退届出書」の受理、又は「家屋等事前調査辞退報告書」を提出すること。
	15		166	損傷調査 写真撮影（全般）	1	1) 原則、損傷箇所はすべて撮影（全景、クラック全景、アップ写真を 1 セット）すること。ただし、損傷箇所が多数の場合、監督職員と協議のうえ、スケッチ等によることができるものとする。 2) 写真撮影時、指し棒を用いて調査箇所を撮影すること。 3) クラックの始点・終点に目印をつけて延長を撮影すること。 4) クラックは、箇所ごとの最大幅の位置で写真管理すること。 5) 測定可能な限り、測定器具を用いて写真管理すること。 6) 写真のピンぼけ、逆光、フラッシュ反射等には最大限の注意を図り、撮り直しが無いよう万全を期すこと。 7) 黒板には、共通仕様書に基づき単位を記入すること。 8) 事後調査を行う場合、事前調査と同じアングルで撮影を行うこと。
	15		166	損傷調査 写真撮影（家屋）	1	1) 外壁・内壁等のクラックについて ①クラック延長の検測及びクラック幅、深さの写真撮影を行うこと。 ②1mm以下のクラックについては、クラックスケール等を用いること。 2) 建物・建具の傾き・ズレの管理について ①建物・建具の開き・傾斜を撮影する場合は、勾配測定器を用いるとともに、上部と下部を撮影すること。 ②建物・建具のズレを撮影する場合は、正面方向及び側面方向からの撮影を行うこと。
	15		166	損傷調査 写真撮影（工作物）	1	1) 建物以外の構造物（門柱、塀、カーポート、土間コン等）について撮影するものとする。 2) 現場状況に応じ、監督職員の指示により撮影範囲を変更する場合がある。

	15		166	写真撮影	1	カラーにより撮影すること。また、デジタルカメラの有効画素数については、広島県の定める最新の基準等に従うこと。(広島県ホームページ「広島県の調達情報」－「電子納品」参照) なお、電子納品の納品については、CD-R 又は DVD-R により納品すること。
	2	1	23	成果品の一部提出	1	最初の調査終了後、成果を速やかに調査職員に提出し、取りまとめ方法等の確認を行うこと。
	2	1	24	成果品	3	1) 成果品の作成部数は全体で 3 部、提出部数は 2 部（このうち 1 部は建物毎）、受託者控えは 1 部とする。なお、成果品の提出部数の 2 部のうち 1 部は紙媒体で、1 部は CD-R 又は DVD-R での電子媒体にて納品することとし、受託者の保管期間は最低 10 年とする。 2) 成果品のファイリングの方法については、調査職員の指示にしたがうこと。 3) 成果品については、調査職員の指示又は承諾なしに地元への配布は行わないこと。 4) 作成した図面は、可能な限り「Jw_cad for Windows」に変換し電子媒体(CD-R 等)で提出すること。

家屋調査内容は次のとおりとする

- ①現地調査 1 業務
- ②工作物調査（事前） 1 箇所

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
道路改良		式		1	レベル1
道路土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
掘削	土砂	m3		50	レベル4
路体盛土工		式		1	レベル3
路体(築堤)盛土	施工幅員2.5m未満	m3		20	レベル4
路肩(築堤)盛土	施工幅員2.5m未満	m3		20	レベル4
路体外(築堤)盛土	施工幅員2.5m未満	m3		20	レベル4
路床盛土工		式		1	レベル3
路床盛土	施工幅員2.5m未満	m3		170	レベル4
路床盛土	施工幅員2.5m以上4.0m未満	m3		160	レベル4
路床盛土	施工幅員4.0m以上	m3		10	レベル4
購入土		m3		460	レベル4
法面整形工		式		1	レベル3
法面整形(盛土部)	盛土部	m2		280	レベル4
残土処理工		式		1	レベル3
土砂等運搬	粘性土	m3		70	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
残土等処分		m3		70	レベル4
法面工		式		1	レベル2
張コンクリート工		式		1	レベル3
防草コンクリート	t=70mm	m2		418	レベル4
擁壁工		式		1	レベル2
場所打擁壁工(構造物単位)		式		1	レベル3
重力式擁壁	1号擁壁	m3		1	レベル4
重力式擁壁	2号擁壁	m3		4	レベル4
排水構造物工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
床掘り	表土	式		1	レベル4
床掘り	土砂	式		1	レベル4
埋戻し	表土	式		1	レベル4
埋戻し	小規模(標準)	式		1	レベル4
	W<1m	式		1	レベル4
側溝工		式		1	レベル3
プレキャストU型側溝	1号側溝 300×300	m		115	レベル4
側溝蓋	PC4-B300	枚		24	レベル4
L型側溝		m		36	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
水路工	KF300 設置・撤去	m		1	レベル4
管渠工		式		1	レベル3
ヒューム管(B形管)	【管径300mm】	m		0.6	レベル4
場所打水路工		式		1	レベル3
現場打水路	3号水路 300×300～400	m		72	レベル4
現場打水路	4号水路 300×300～430	m		58	レベル4
現場打水路	底張工 t=200mm	m		10	レベル4
現場打水路	5号水路 縞鋼板蓋設置含む 300×300	箇所		1	レベル4
現場打水路	6号水路 300×300	箇所		1	レベル4
現場打水路	1号L型水路 300×400	m		1	レベル4
側溝工		式		1	レベル3
1号横断溝	1号横断溝 300×400	m		6	レベル4
側溝蓋（1号横断溝用）	グレーチング蓋300横断用 T-25、普通目	枚		8	レベル4
2号横断溝	2号横断溝 300×400	m		5	レベル4
側溝蓋（2号横断溝用）	グレーチング蓋300横断用 T-25、普通目	枚		6	レベル4
管渠工		式		1	レベル3
鉄筋コンクリート台付管	1号管渠工、径150mm	m		3	レベル4
鉄筋コンクリート台付管	2号管渠工、径200mm	m		2	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0004

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
鉄筋コンクリート台付管	3号管渠工、径250mm	m		2	レベル4
鉄筋コンクリート台付管	3号管渠工、径250mm	m		2	レベル4
鉄筋コンクリート台付管	4号管渠工、径300mm	m		29	レベル4
鉄筋コンクリート台付管	5号管渠工、径600mm	m		8	レベル4
集水桝・マンホール工		式		1	レベル3
プレキャスト集水桝	1号集水桝 蓋込み 300×300×600	箇所		1	レベル4
現場打ち集水桝	3号集水桝 蓋込み 500×500×600～700	箇所		1	レベル4
現場打ち集水桝	7号集水桝 600×600×700	箇所		1	レベル4
現場打ち集水桝	8号集水桝 600×600×700	箇所		2	レベル4
現場打ち集水桝	9号集水桝 600×600×700	箇所		2	レベル4
現場打ち集水桝	10号集水桝 600×600×700	箇所		1	レベル4
現場打ち集水桝	11号集水桝 600×600×700	箇所		1	レベル4
現場打ち集水桝	12号集水桝 600×600×700	箇所		1	レベル4
現場打ち集水桝	16号集水桝 600×600×750	箇所		1	レベル4
現場打ち集水桝	18号集水桝 600×600×800	箇所		1	レベル4
現場打ち集水桝	19号集水桝 600×600×1100	箇所		1	レベル4
現場打ち集水桝	20号集水桝 600×600×1150	箇所		1	レベル4
現場打ち集水桝	23号集水桝 900×900×1050	箇所		1	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0005

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
現場打ち集水桝	24号集水桝 800×800×1900	箇所		1	レベル4
現場打ち集水桝	25号集水桝 1000×1000×1650	箇所		1	レベル4
プレキャスト集水桝	27号集水桝 呼名400 蓋込み	箇所		1	レベル4
道路付属施設工		式		1	レベル2
境界工		式		1	レベル3
境界鋳	アルミプレート	枚		78	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	無筋	m3		14	レベル4
舗装版切断	アスファルト舗装版厚15cm以下	式		1	レベル4
舗装版破碎	舗装版厚15cm以下	m2		700	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	コンクリート殻	m3		14	レベル4
殻運搬	アスファルト殻	m3		35	レベル4
殻処分	コンクリート殻	m3		14	レベル4
殻処分	アスファルト殻	m3		35	レベル4
現場発生品運搬	【鉄屑スクラップ】	式		1	レベル4
処分費		式		1	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0006

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
仮設工		式		1	レベル2
工事用道路工		式		1	レベル3
舗装		式		1	レベル1
地盤改良工		式		1	レベル2
路床安定処理工		式		1	レベル3
安定処理	t=500mm、5.00t/100m2 混合回数1回 セメント系固化材 一般軟弱土	m2		692	レベル4
舗装工		式		1	レベル2
アスファルト舗装工		式		1	レベル3
上層路盤(車道・路肩部)	RM-30、t=120	m2		1,030	レベル4
表層(車道・路肩部)	再生密粒度As13、t=40mm 平均幅員3.0m超	m2		1,010	レベル4
コンクリート舗装工		式		1	レベル3
コンクリート舗装工	路盤 RC-40 t=100 表層 σ ck=18N/mm2 t=100	m2		61	レベル4
区画線工		式		1	レベル2
区画線工		式		1	レベル3
溶融式区画線	実線_15cm	m		316	レベル4
溶融式区画線	実線_45cm	m		19	レベル4
溶融式区画線	実線_30cm	m		2	レベル4
仮設工		式		1	レベル2

工事数量総括表

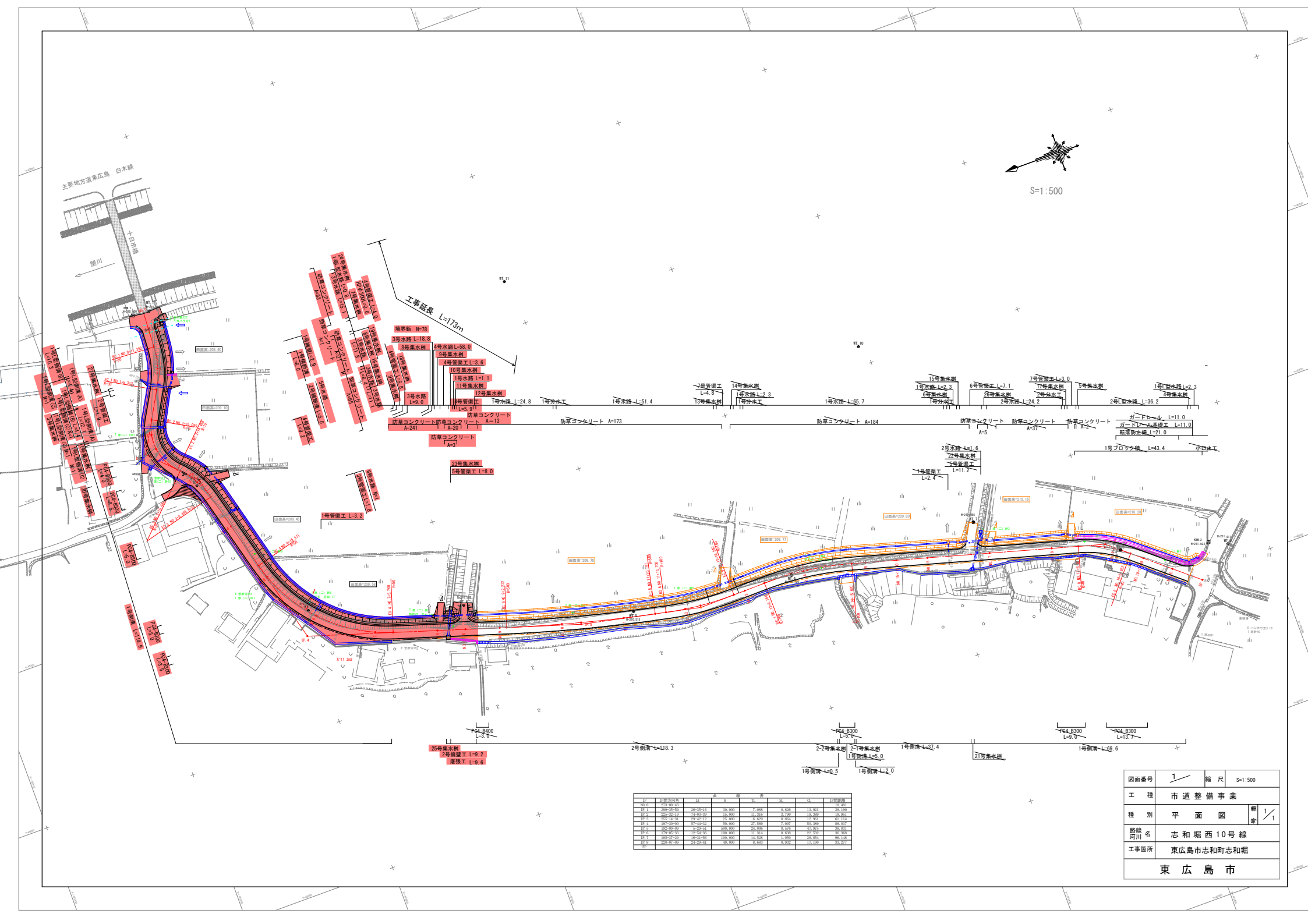
頁0 -0007

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		12	レベル4
* * 直接工事費 * *					
事業損失防止施設費					
事業損失防止施設費		式		1	レベル2
事業損失防止施設費		式		1	レベル3
家屋調査費		式		1	レベル4
運搬費					
運搬費		式		1	レベル2
運搬費		式		1	レベル3
仮設材運搬費	32.1t	t		32.1	レベル4
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
土質試験費	簡易支持力測定	式		1	レベル4
土質試験費	六価クロム溶出試験	式		1	レベル4
共通仮設費率分					
* * 共通仮設費計 * *					

工事数量総括表

頁0 -0008

[illegible]



区間	区間番号	区間名	区間長さ	区間面積	区間人口	区間人口密度
1	1	1号排水	10.0	10.0	10.0	10.0
2	2	2号排水	10.0	10.0	10.0	10.0
3	3	3号排水	10.0	10.0	10.0	10.0
4	4	4号排水	10.0	10.0	10.0	10.0
5	5	5号排水	10.0	10.0	10.0	10.0
6	6	6号排水	10.0	10.0	10.0	10.0
7	7	7号排水	10.0	10.0	10.0	10.0
8	8	8号排水	10.0	10.0	10.0	10.0
9	9	9号排水	10.0	10.0	10.0	10.0
10	10	10号排水	10.0	10.0	10.0	10.0

図面番号	1	縮 尺	S=1:500
工 種	市道整備事業		
種 別	平 面 図	縮 略	1/ 1
路線 河川 名	志和堀西10号線		
工事箇所	東広島市志和町志和堀		
東 広 島 市			

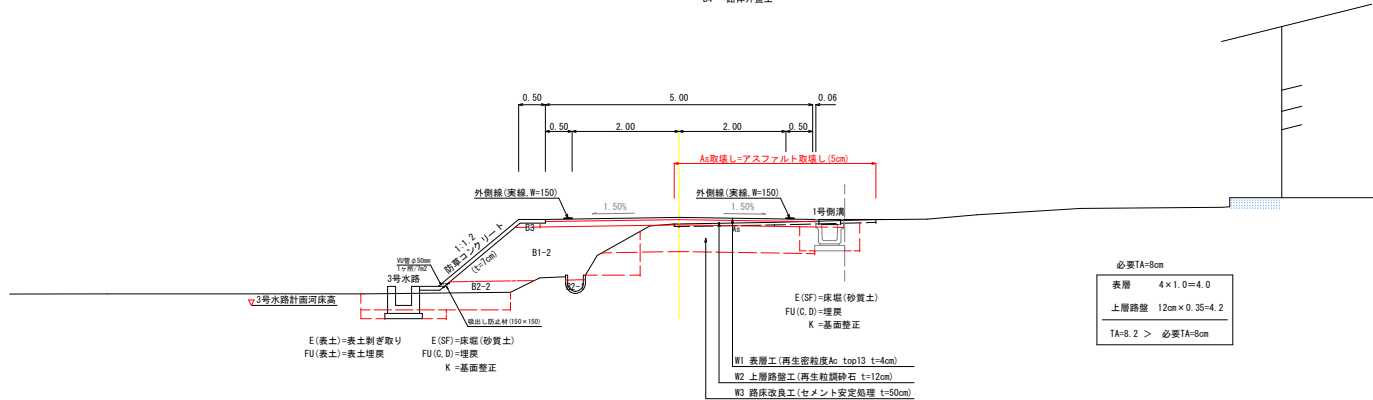
設計条件
道路規格 第3種第5級
設計速度 V=20km/hr

設計前提条件
設計CRR4

信頼度75%
交通量区分 N1 (15台未満/日・方向)

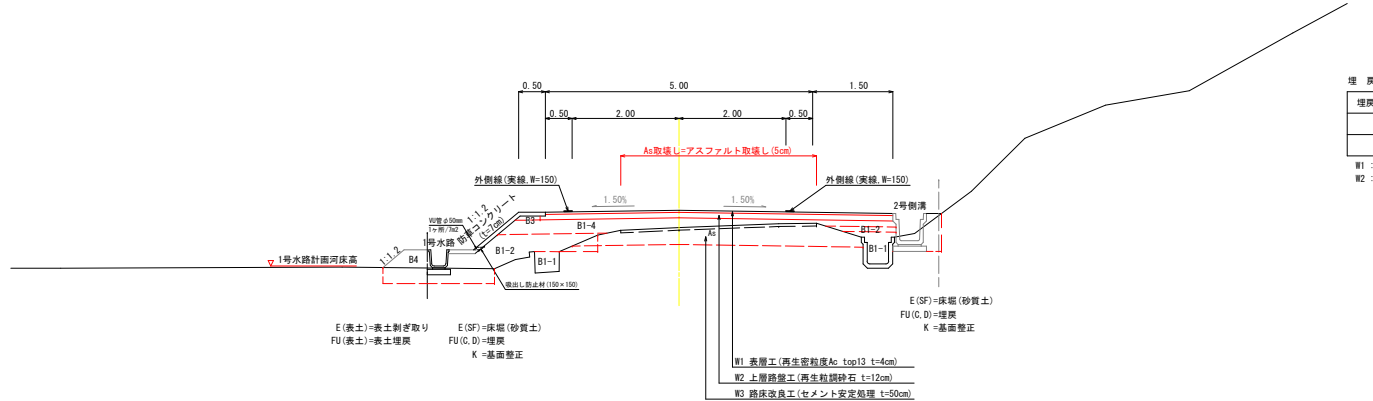
直線部

C(SF)=掘削
B1-1=路床盛土 W<1.0
B1-2=路床盛土 1.0≤W<2.5
B1-3=路床盛土 2.5≤W<4.0
B1-4=路床盛土 W≥4.0
B2-1=路体盛土 W<1.0
B2-2=路体盛土 1.0≤W<2.5
B2-3=路体盛土 2.5≤W<4.0
B2-4=路体盛土 W≥4.0
B3 =路肩盛土
B4 =路体外盛土



曲線部

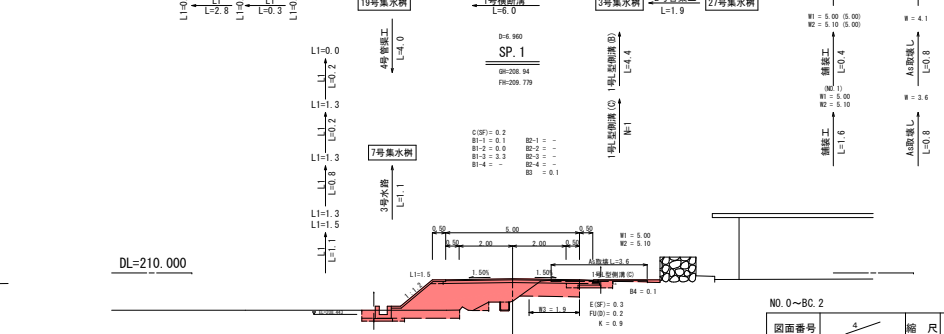
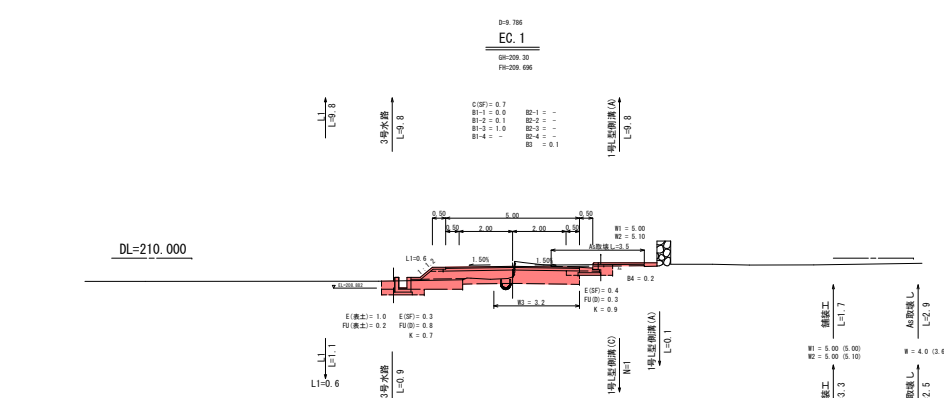
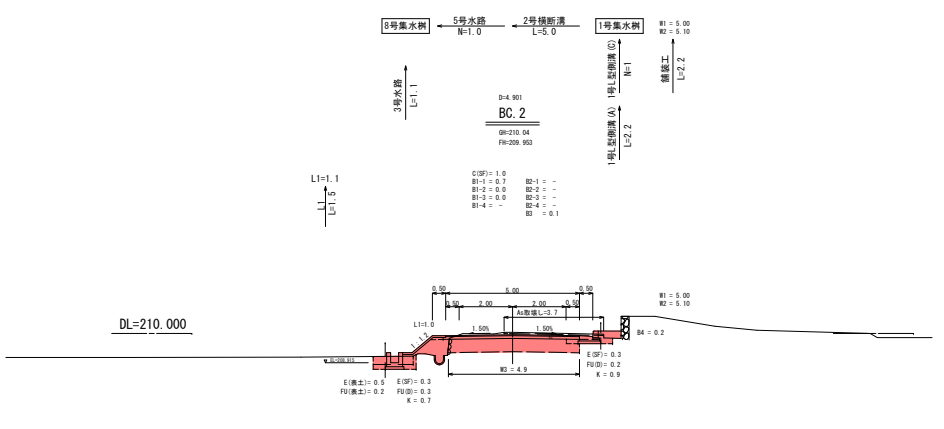
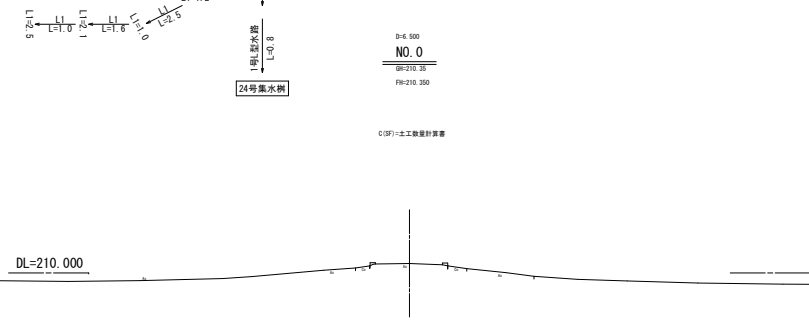
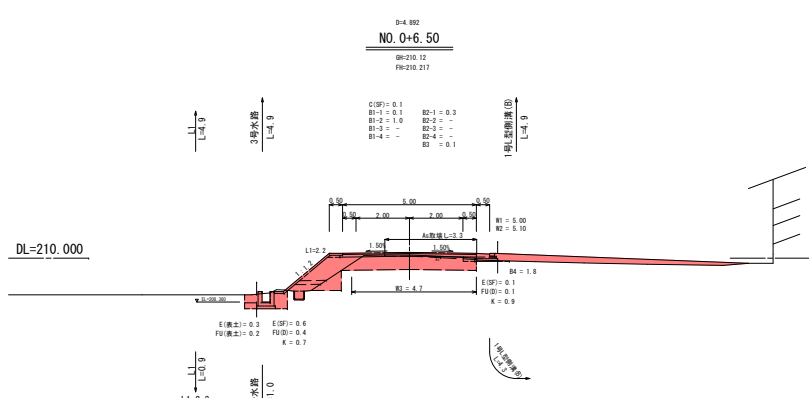
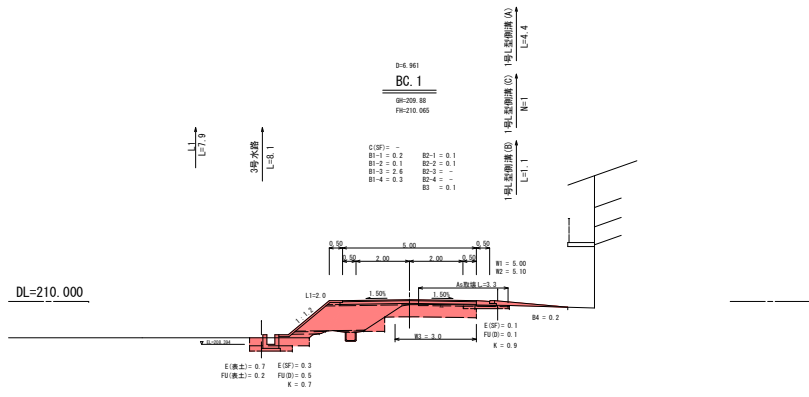
C(SF)=掘削
B1-1=路床盛土 W<1.0
B1-2=路床盛土 1.0≤W<2.5
B1-3=路床盛土 2.5≤W<4.0
B1-4=路床盛土 W≥4.0
B2-1=路体盛土 W<1.0
B2-2=路体盛土 1.0≤W<2.5
B2-3=路体盛土 2.5≤W<4.0
B2-4=路体盛土 W≥4.0
B3 =路肩盛土
B4 =路体外盛土



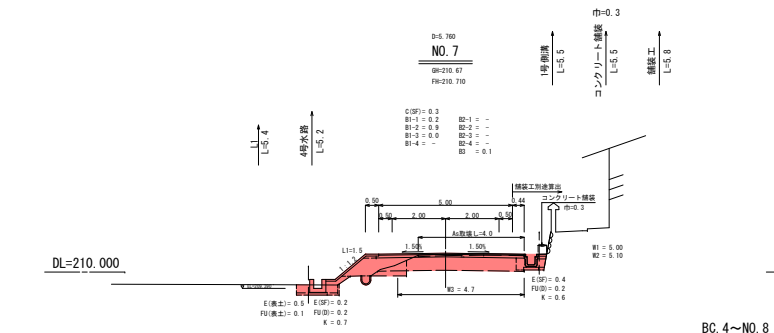
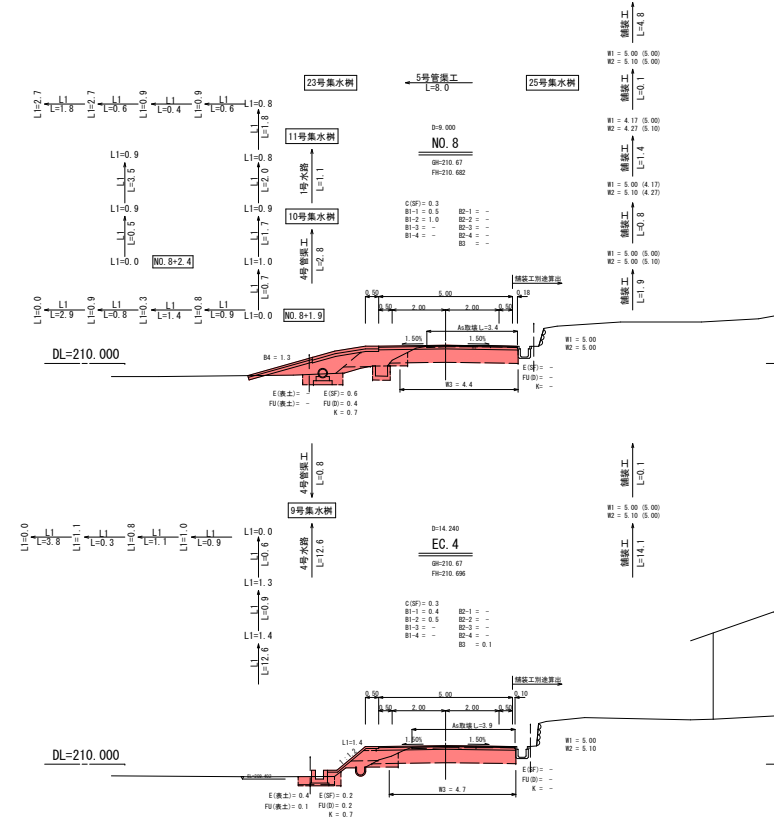
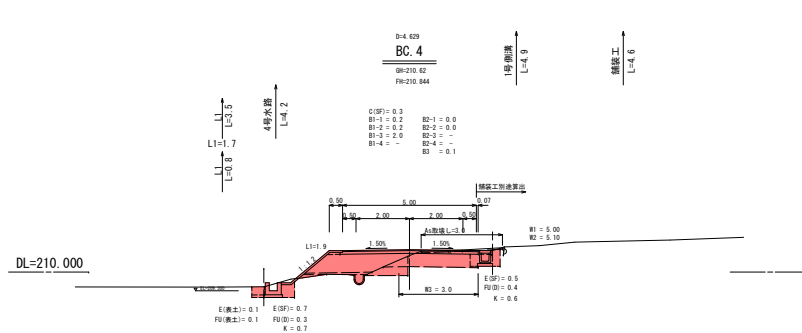
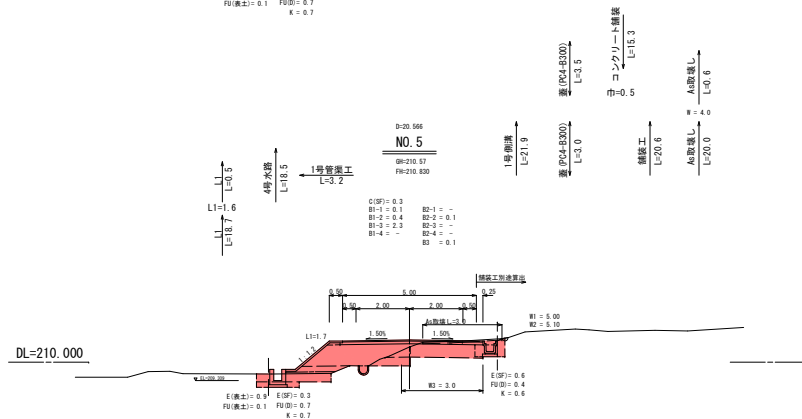
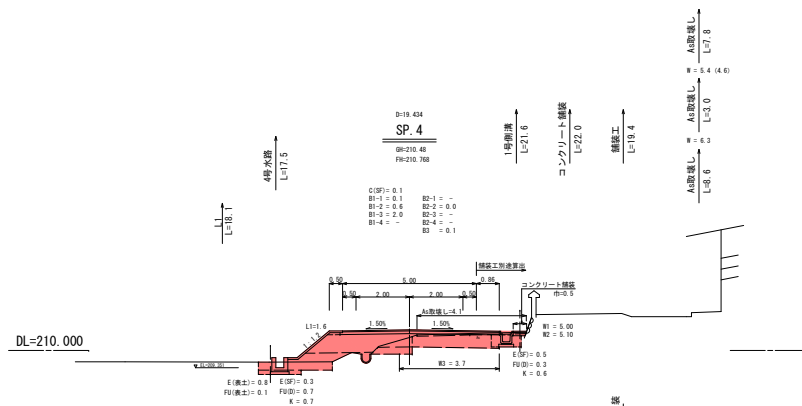
埋戻し種別	埋戻し幅	埋戻し種別	埋戻し幅
A	W2 ≥ 4m	C	1m ≤ W1 < 4m, W2 < 1m
B	W1 ≥ 4m, W2 < 1m	D	W1 < 1m, W2 < 1m

W1 : 最大埋戻し幅
W2 : 最小埋戻し幅

図面番号	3	縮尺	S=1:50
工 種	市道整備事業		
種 別	標準断面図	縮 小	1 / 1
路線 河川 名	志和堀西10号線		
工事箇所	東広島市志和町志和堀		
東 広 島 市			

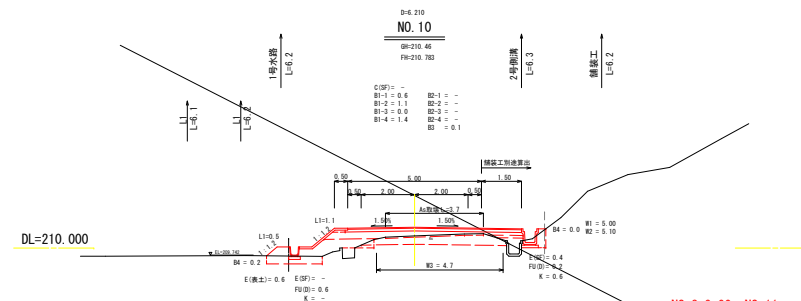
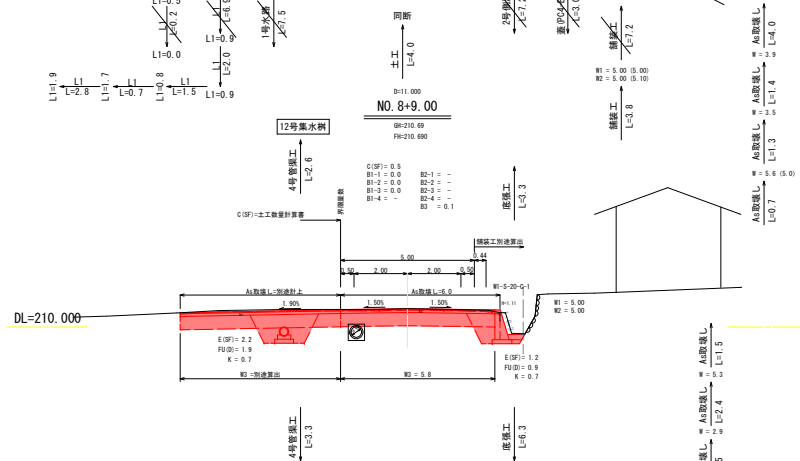
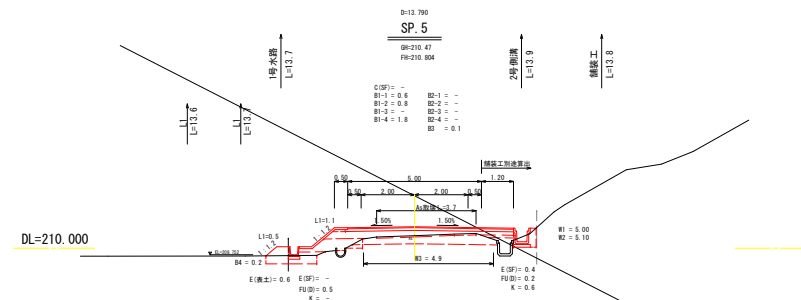
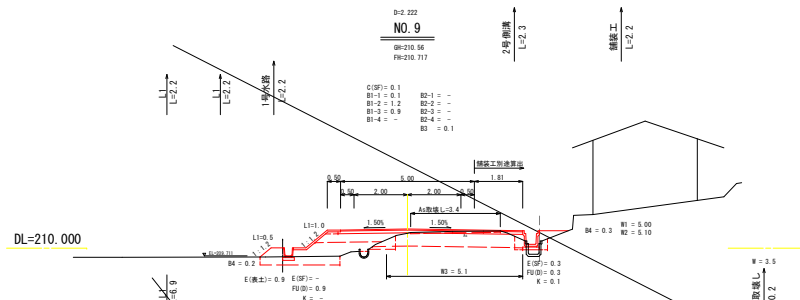
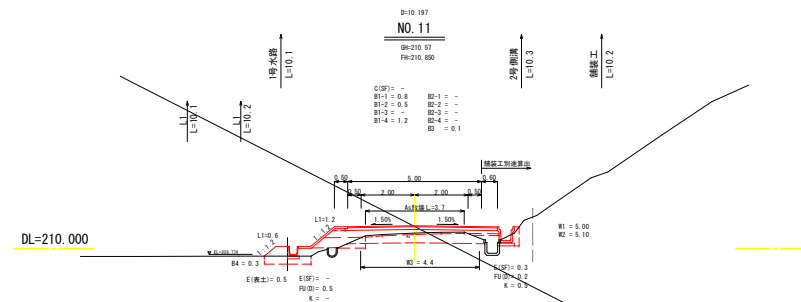
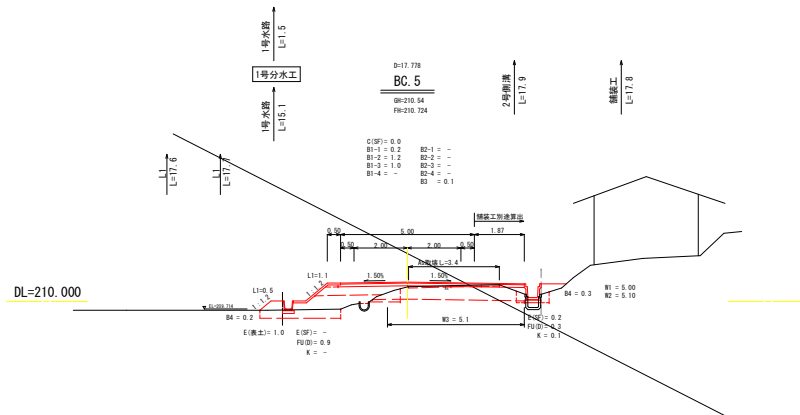


NO. 0~BG. 2			
図面番号	4	縮 尺	S=1:100
工 種	市 道 整 備 事 業		
種 別	横 断 図	縮 尺	1 / 8
路線 河川 名	志 和 堀 西 10 号 線		
工事箇所	東広島市志和町志和堀		
東 広 島 市			



BC.4~NO.8

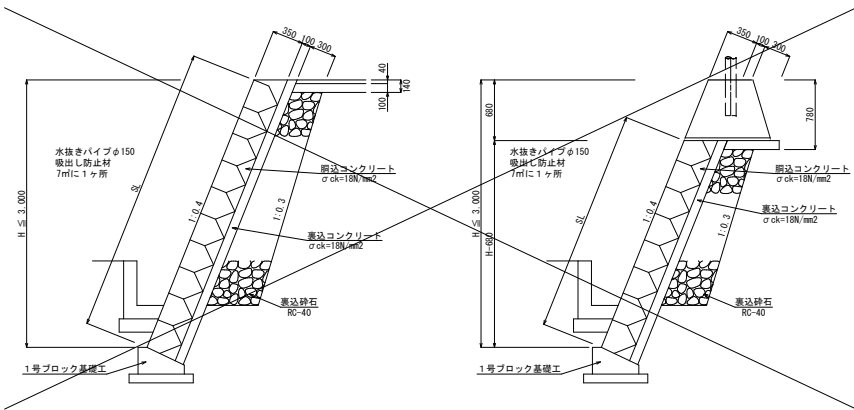
図面番号	6	縮 尺	S=1:100
工 種	市 道 整 備 事 業		
種 別	横 断 図	縮 率	3 / 8
路線 河川 名	志 和 堀 西 10 号 線		
工事箇所	東広島市志和町志和堀		
東 広 島 市			



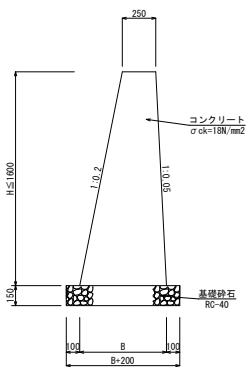
NO. 8+9.00~NO. 11

図面番号	7	縮尺	S=1:100
工種	市道整備事業		
種別	横断面図	縮 率	4 ／ 8
路線 別 名	志和堀西10号線		
工事箇所	東広島市志和町志和堀		
東 広 島 市			

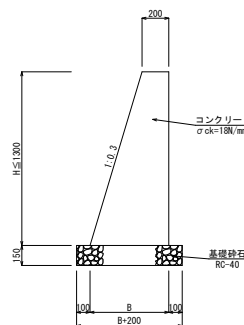
1号ブロック積擁壁工
S=1:30



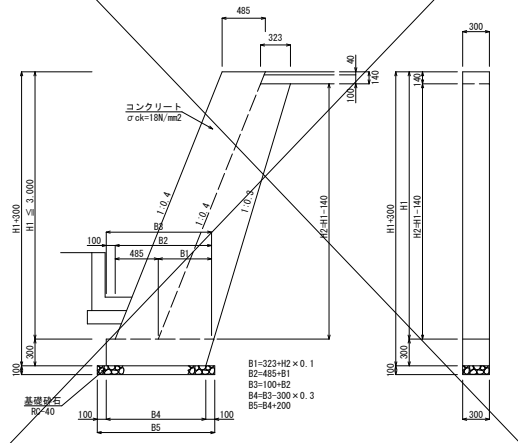
1号擁壁工
S=1:20
(W3-S-25-B-2)



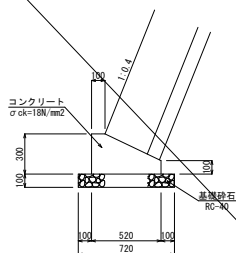
2号擁壁工
S=1:20
(W1-S-20-C-1)



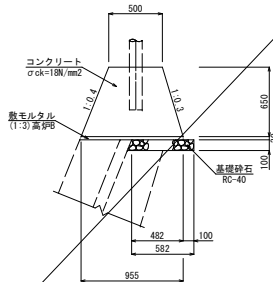
1号小口止工
S=1:30



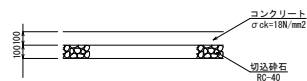
1号ブロック基礎工
S=1:20



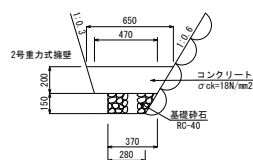
ガードレール基礎工
S=1:25



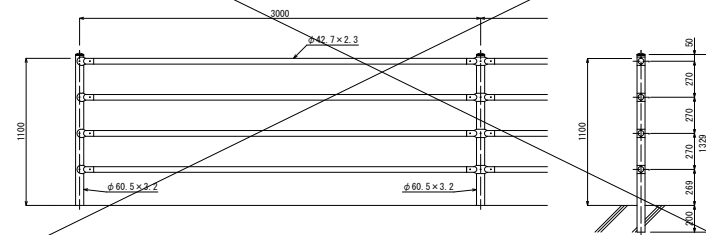
コンクリート舗装工
S=1:20



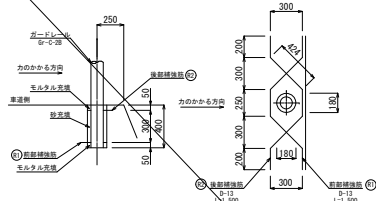
底張工
S=1:20



転落防止柵
S=1:20
(構造物用)



支柱基礎部詳細図
S=1:25



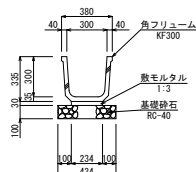
材料表				10m当り
名 称	規格寸法	単位	数 量	
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	4.75	
型 枠		m2	13.79	
敷モルタル	1:3 高砂B	m3	0.29	
基礎砕石	RC-40, t=100	m2	6.02	
鉄筋	D13, SD345	kg	14.926	

1号ブロック積擁壁工, 1号ブロック基礎工,
ガードレール基礎工,
1号・2号擁壁工, 1号小口止工,
コンクリート舗装工, 底張工, 転落防止柵

図面番号	縮 尺	図 示
工 種	市 道 整 備 事 業	
種 別	構 造 図 1	冊 1 / 10 図
路線 名	志 和 堀 西 10 号 線	
工事箇所	東 広 島 市 志 和 町 志 和 堀	
東 広 島 市		

1号水路

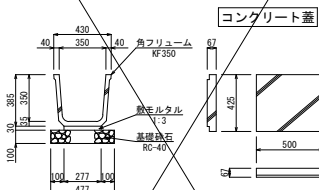
S=1:20



材料表					10m当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量			
角フリューム	300型 L=2,000	個	5.00			
敷モルタル	1:3	m ³	0.070			
基礎砕石	RC-40, t=100	m ²	4.34			

2号水路

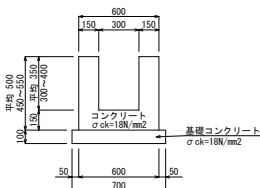
S=1:20



材料表					10m当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量			
角フリューム	350型 L=2,000	個	5.00			
敷モルタル	1:3	m ³	0.083			
基礎砕石	RC-40, t=100	m ²	4.77			
コンクリート蓋	350用, L=500	枚	20.00			

3号水路

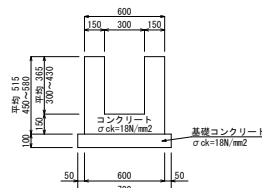
S=1:20



材料表					10m当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量			
コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	1.950			
型 枠	小型 I	m ²	20.00			
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.700			
基礎コン型枠		m ²	2.00			

4号水路

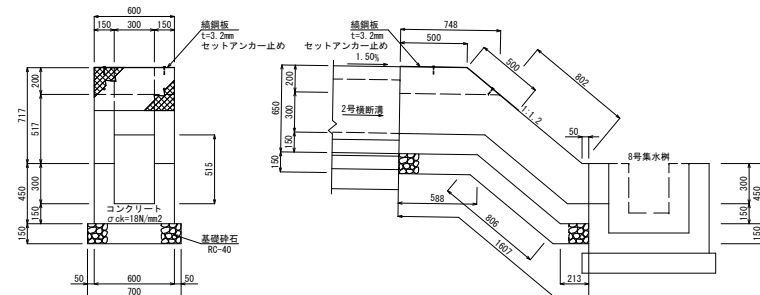
S=1:20



材料表					10m当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量			
コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	1.950			
型 枠	小型 I	m ²	20.00			
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.700			
基礎コン型枠		m ²	2.00			

5号水路

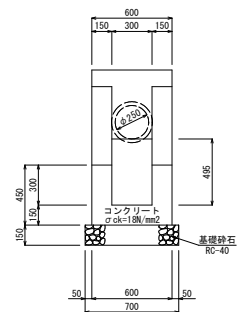
S=1:20



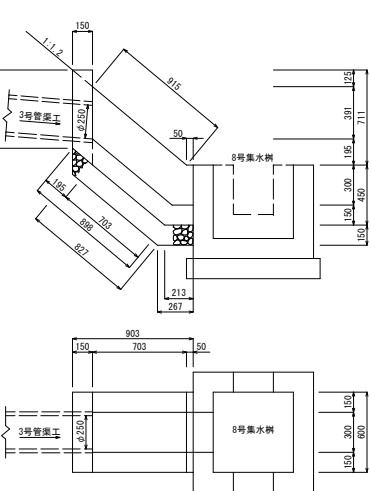
材料表					1箇所当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量			
コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.325			
型 枠	小型 I	m ²	3.38			
基礎砕石	RC-40, t=150	m ²	1.12			
編組板	t=3.2mm, セットアンカー止	kg	15.90			

6号水路

S=1:20

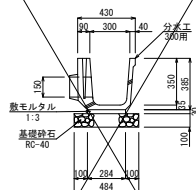


材料表					1箇所当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量			
コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.228			
型 枠	小型 I	m ²	2.43			
基礎砕石	RC-40, t=150	m ²	0.80			



1号分水工

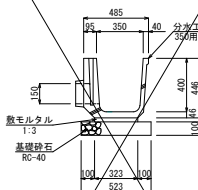
S=1:20



材料表					1箇所当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量			
分水工	300型 L=1,000	個	1.0			
敷モルタル	1:3	m ³	0.009			
基礎砕石	RC-40, t=100	m ²	0.48			

2号分水工

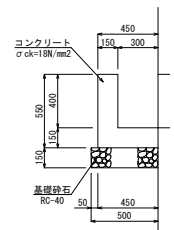
S=1:20



材料表					1箇所当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量			
分水工	350型 L=1,000	個	1.0			
敷モルタル	1:3	m ³	0.010			
基礎砕石	RC-40, t=100	m ²	0.52			

1号L型水路

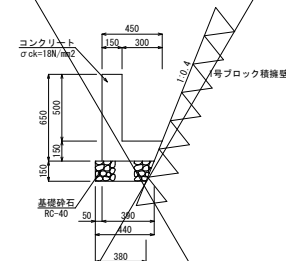
S=1:20



材料表					10m当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量			
コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	1.275			
型 枠	小型 I	m ²	11.00			
基礎砕石	RC-40, t=150	m ²	5.00			

2号L型水路

S=1:20



材料表					10m当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量			
コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	1.380			
型 枠	小型 I	m ²	13.00			
基礎砕石	RC-40, t=150	m ²	4.10			

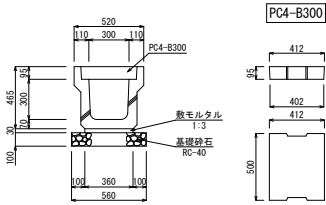
※場所打水路の施工に際しては目地に止水板を設置すること

1号～6号水路, 1号・2号分水工, 1号・2号L型水路

図面番号	縮 尺	図 示
工 種	市 道 整 備 事 業	
種 別	構 造 図 2	2 / 10
路線名	志 和 堀 西 10 号 線	
工事箇所	東 広 島 市 志 和 町 志 和 堀	
東 広 島 市		

1号側溝

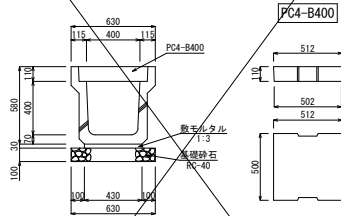
S=1:20



材料表					10m当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量			
PU型	B300-H300	個	5.00			
敷モルタル	1:3	m ³	0.108			
目地モルタル	1:3	m ³	0.002			
基礎砕石	RC-40, t=100	m ²	5.60			

2号側溝

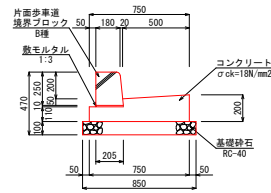
S=1:20



材料表					10m当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量			
PU型	B400-H400	個	5.00			
敷モルタル	1:3	m ³	0.129			
目地モルタル	1:3	m ³	0.003			
基礎砕石	RC-40, t=100	m ²	6.30			

1号L型側溝 (A)

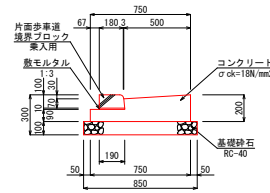
S=1:20



材料表					10m当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量			
片面歩車道境界ブロック	B種	個	16.5			
コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	1.198			
型 枠		m ²	3.10			
敷モルタル	1:3	m ³	0.021			
基礎砕石	RC-40, t=100	m ²	8.50			

1号L型側溝 (B)

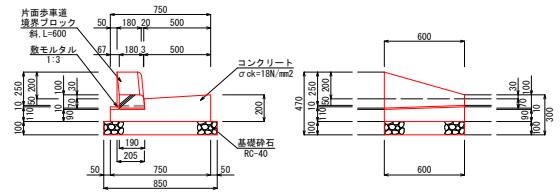
S=1:20



材料表					10m当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量			
片面歩車道境界ブロック	兼入用	個	16.5			
コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	1.150			
型 枠		m ²	2.90			
敷モルタル	1:3	m ³	0.019			
基礎砕石	RC-40, t=100	m ²	8.50			

1号L型側溝 (C)

S=1:20

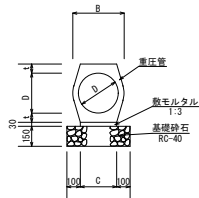


材料表					1箇所当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量			
片面歩車道境界ブロック	斜 L=600	個	1.0			
コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.071			
型 枠		m ²	0.18			
敷モルタル	1:3	m ³	0.001			
基礎砕石	RC-40, t=100	m ²	0.51			

1~5号管渠工

(参考図)

S=1:20



寸法/材料表						10m当り	
種別	D	t	B	C	敷モルタル(m ³)	基礎砕石(m ²)	
1号	150	62	230	162	0.049	3.62	
2号	200	62	280	198	0.059	3.98	
3号	250	64	330	234	0.070	4.34	
4号	300	68	384	272	0.082	4.72	
5号	600	100	724	514	0.154	7.14	

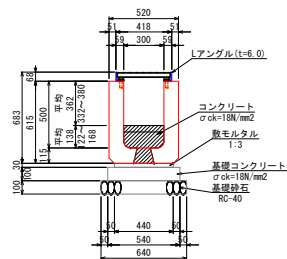
1号・2号側溝, 1号L型側溝 (A)・(B)・(C),
1号~8号管渠工

図面番号	10	縮 尺	図 示
工 種	市 道 整 備 事 業		
種 別	構 造 図 3	審 定	3 / 10
路線 名	志 和 堀 西 10 号 線		
工事箇所	東広島市志和町志和堀		
東 広 島 市			

1号横断溝 (参考図)

S=1:20

FD横断相当品 (W300×h500)

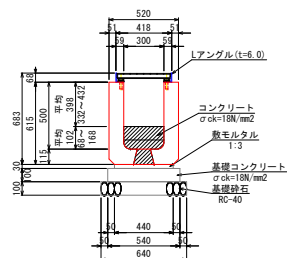


材料表		1箇所当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量
FD横断	W300×h500, L=1,500	個	4.0
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.247
数モルタル	1:3	m ³	0.079
基礎コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.324
基礎コン型枠		m ²	1.20
基礎砕石	RC-40, t=100	m ²	3.84

2号横断溝 (参考図)

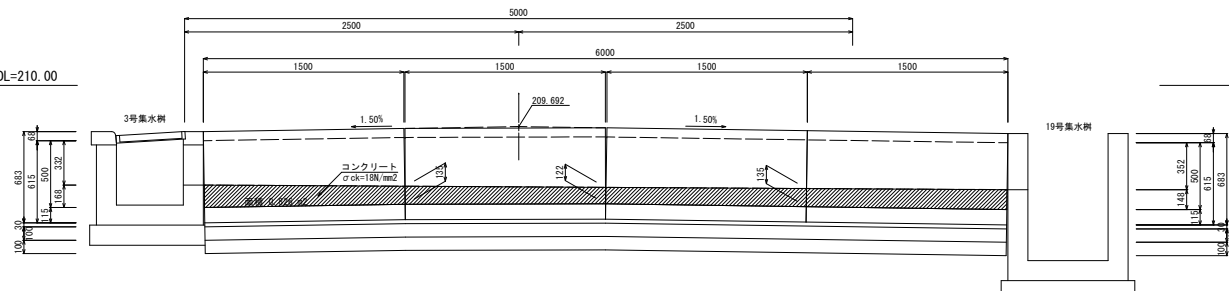
S=1:20

FD横断相当品 (W300×h500)

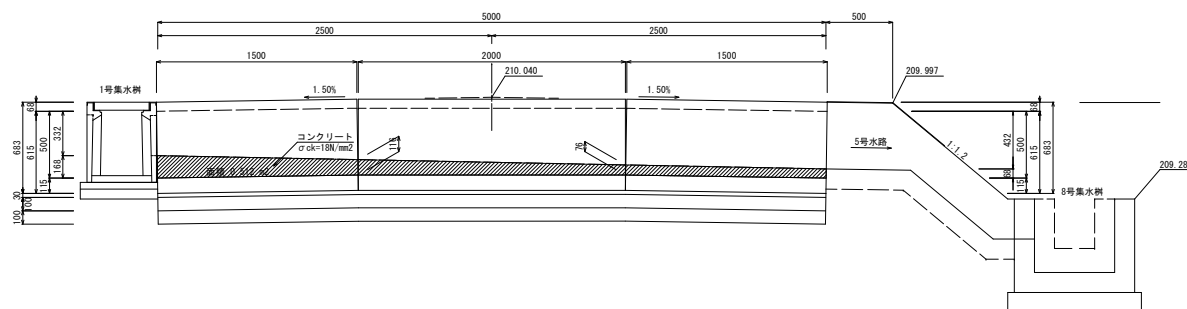


材料表		1箇所当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量
FD横断	W300×h500, L=2,000	個	1.0
FD横断	W300×h500, L=1,500	個	2.0
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.154
数モルタル	1:3	m ³	0.066
基礎コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.270
基礎コン型枠		m ²	1.00
基礎砕石	RC-40, t=100	m ²	3.2

DL=210.00



DL=210.00

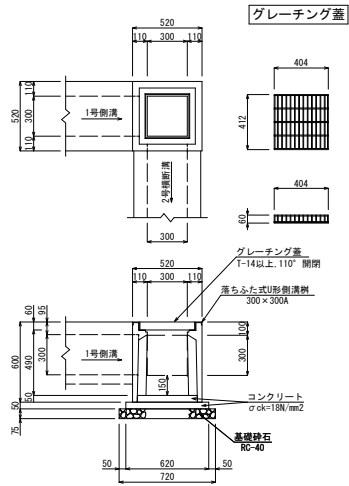


1号・2号横断溝

図面番号	1.1	縮 尺	図 示
工 種	市 道 整 備 事 業		
種 別	構 造 図 4	縮 尺	4/10
路線 河川 名	志 和 堀 西 10 号 線		
工事箇所	東広島市志和町志和堀		
東 広 島 市			

1号集水樹

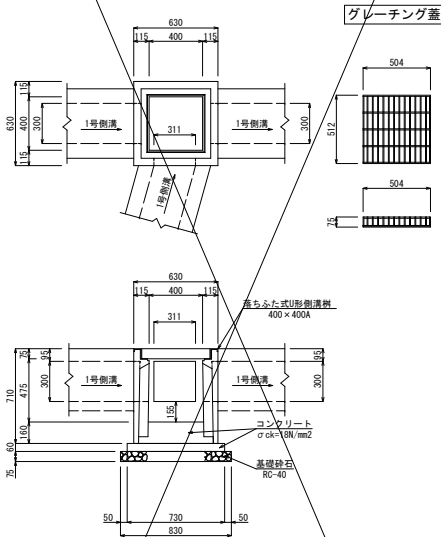
S=1:20



材料表 1箇所当り			
名 称	規格寸法	単位	数 量
落ちふた式U形側溝柵	300×300A	箇所	1.0
コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.005
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.019
基礎コン型枠	m2	m2	0.12
基礎砕石	RC-40, t=75	m2	0.38

2-1号集水樹

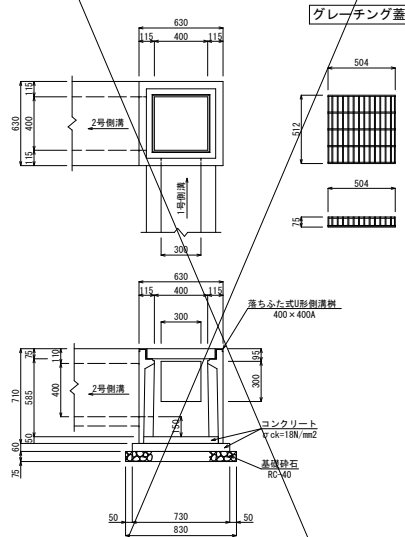
S=1:20



材料表 1箇所当り			
名 称	規格寸法	単位	数 量
落ちふた式U形側溝柵	400×400A	箇所	1.0
コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.026
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.027
基礎コン型枠	m2	m2	0.15
基礎砕石	RC-40, t=75	m2	0.69

2-2号集水樹

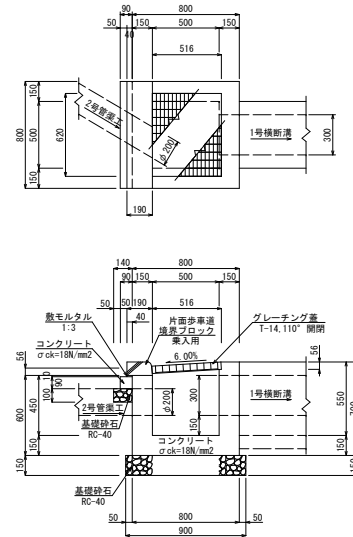
S=1:20



材料表 1箇所当り			
名 称	規格寸法	単位	数 量
落ちふた式U形側溝柵	400×400A	箇所	1.0
コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.008
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.027
基礎コン型枠	m2	m2	0.15
基礎砕石	RC-40, t=75	m2	0.69

3号集水樹

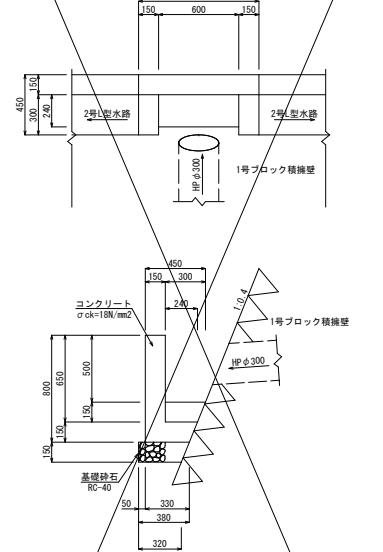
S=1:20



材料表 1箇所当り			
名 称	規格寸法	単位	数 量
コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.291
型 枠	小型Ⅱ	m2	3.42
基礎砕石	RC-40, t=150	m2	0.81
片側歩車道横断ブロック	乗入用 個	個	1.3
コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.006
型 枠	小型Ⅱ	m2	0.07
敷モルタル	1:3	m3	0.0003
基礎砕石	RC-40, t=100	m2	0.11
グレーチング蓋	T-14, 110° 開閉	枚	1.0

4号集水樹

S=1:20



材料表 1箇所当り			
名 称	規格寸法	単位	数 量
コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.149
型 枠	小型Ⅱ	m2	1.88
基礎砕石	RC-40, t=150	m2	0.35

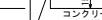
1号～4号集水樹

図面番号	12	縮 尺	図 示
工 種	市 道 整 備 事 業		
種 別	構 造 図 5	冊 数	5 / 10
路線名	志 和 堀 西 10号 線		
工事箇所	東 広 島 市 志 和 町 志 和 堀		
東 広 島 市			

S=1:20

1箇所当り

S=1:20



材料表

S=1 : 20



材料表

S=1:20



材料表

S=1:20



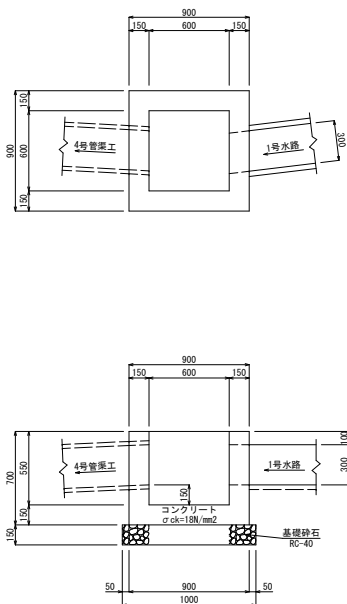
材料表

5号~9号集水树

図面番号	13	縮尺	図示
工種	市道整備事業		
種別	構造図 6	審 査	6/10
路線 河川名	志和堀西10号線		
工事箇所	東広島市志和町志和堀		
東 広 島 市			

10号集水樹

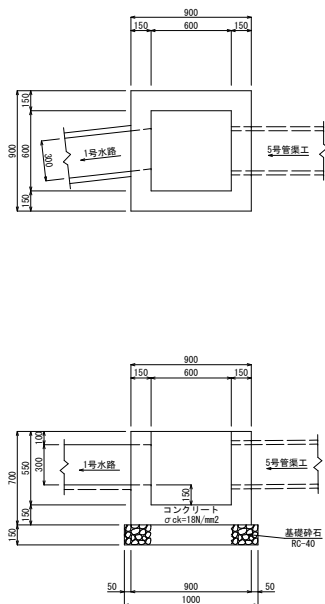
S=1:20



材料表		1箇所当り		
名 称	規格寸法	単位	数 量	
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.396	
型 种	小型Ⅱ	m ²	4.20	
基礎砕石	RC-40, t=150	m ²	1.00	

11号集水樹

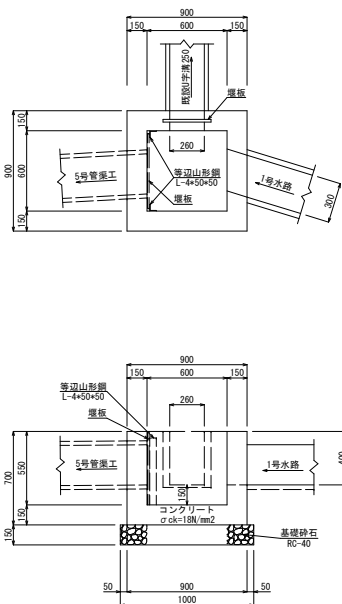
S=1:20



材料表		1箇所当り		
名 称	規格寸法	単位	数 量	
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.369	
型 种	小型Ⅱ	m ²	4.20	
基礎砕石	RC-40, t=150	m ²	1.00	

12号集水樹

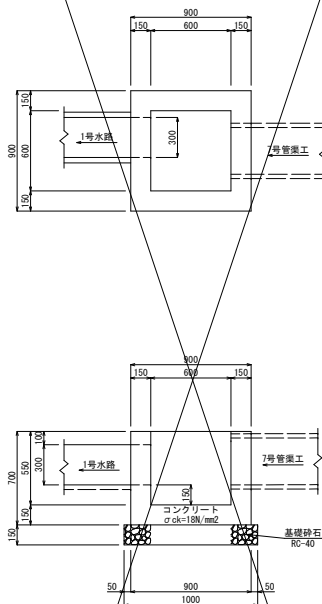
S=1:20



材料表		1箇所当り		
名 称	規格寸法	単位	数 量	
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.335	
型 种	小型Ⅱ	m ²	4.08	
基礎砕石	RC-40, t=150	m ²	1.00	
等辺山形鋼	L-40x40, L:0.5m 3.05kg/m	ヶ所	2.0	

13号集水樹

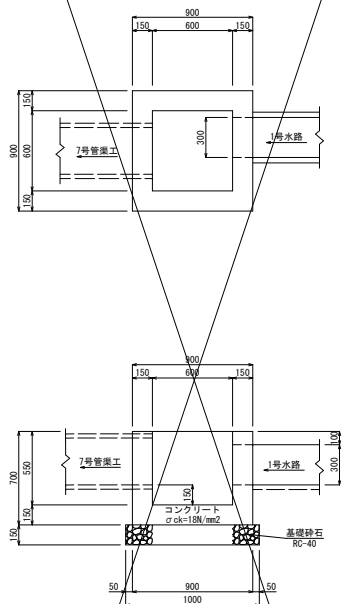
S=1:20



材料表		1箇所当り		
名 称	規格寸法	単位	数 量	
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.355	
型 种	小型Ⅱ	m ²	4.17	
基礎砕石	RC-40, t=150	m ²	1.00	

14号集水樹

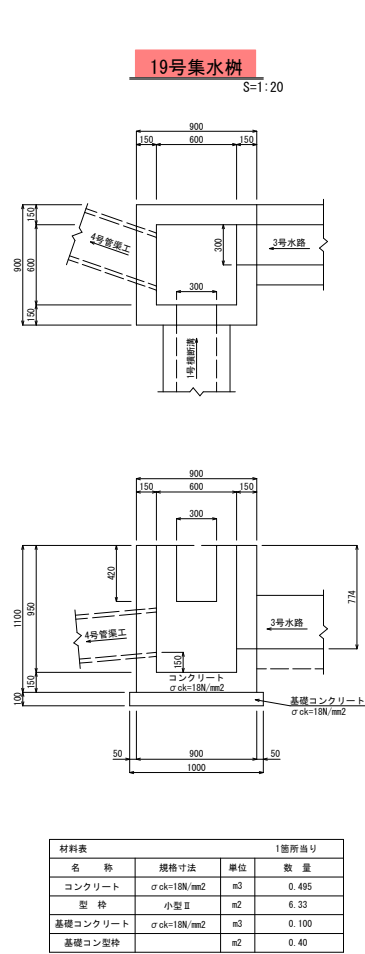
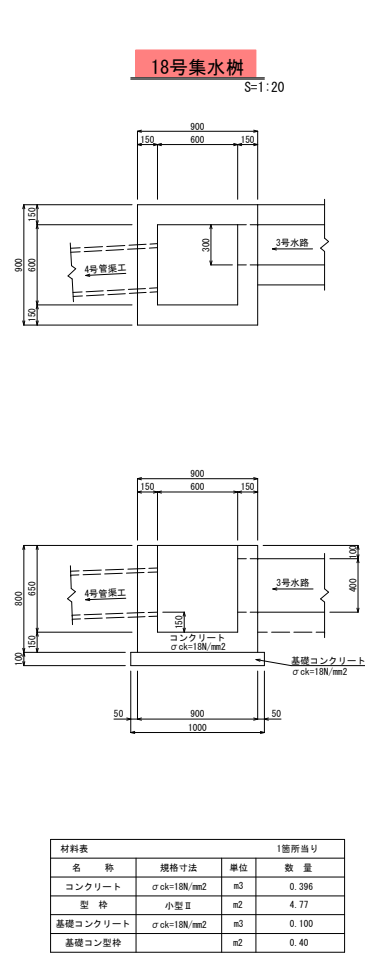
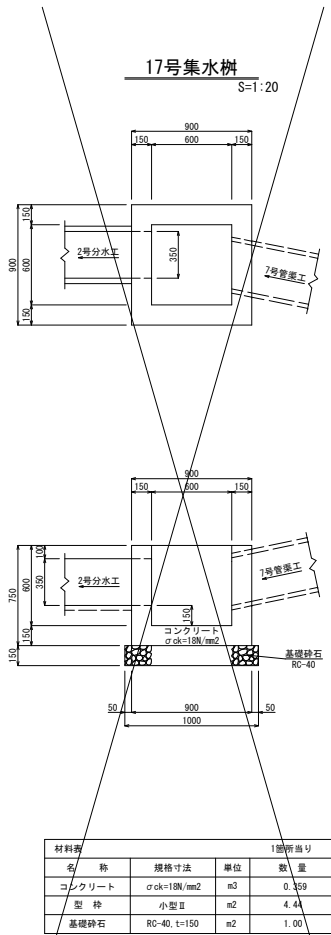
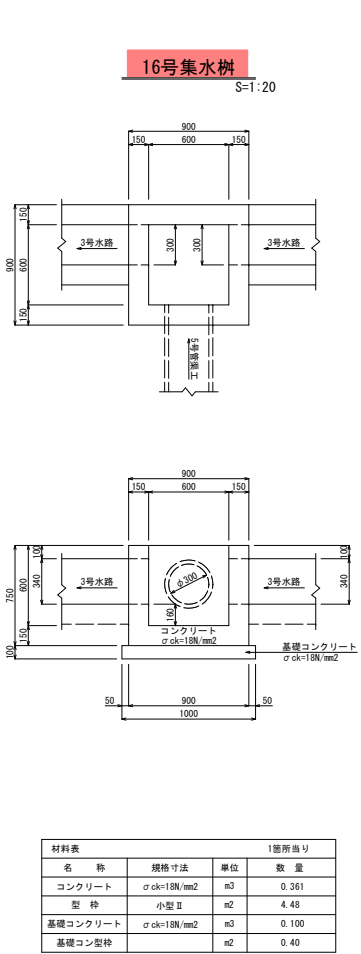
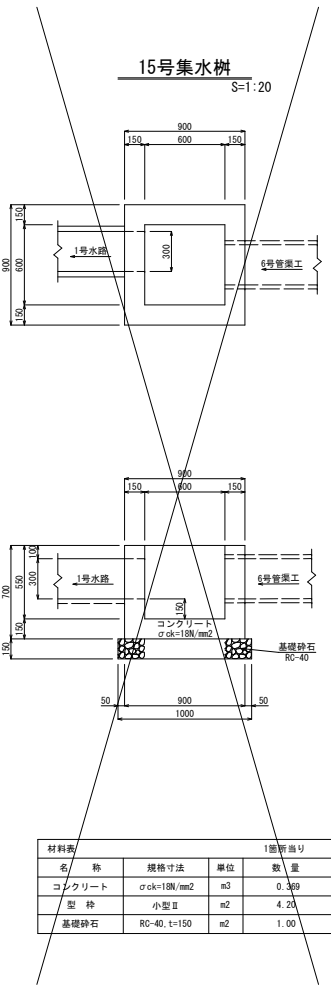
S=1:20



材料表		1箇所当り		
名 称	規格寸法	単位	数 量	
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.355	
型 种	小型Ⅱ	m ²	4.17	
基礎砕石	RC-40, t=150	m ²	1.00	

10号～14号集水樹

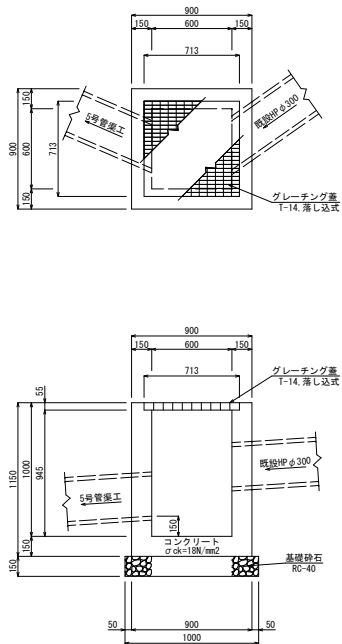
図面番号	1-4	縮 尺	図 示
工 種	市 道 整 備 事 業		
種 別	構 造 図 7	審 査	7/10
路線名	志 和 堀 西 10 号 線		
工事箇所	東 広 島 市 志 和 町 志 和 堀		
東 広 島 市			



15号～19号集水樹				
図面番号	15	縮尺	図示	
工種	市道整備事業			
種別	構造図8	率	8/10	
路線名	志和堀西10号線			
工事箇所	東広島市志和町志和堀			
東広島市				

20号集水樹

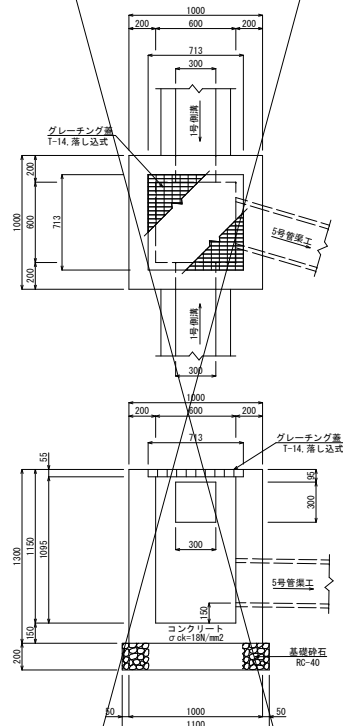
S=1:20



材料表 1箇所当り				
名 称	規格寸法	単位	数 量	
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.563	
型 枠	小型Ⅱ	m2	6.90	
基礎砂石	RC-40, t=150	m2	1.00	
グレーチング蓋	T-14, 落し込式	枚	1.0	

21号集水樹

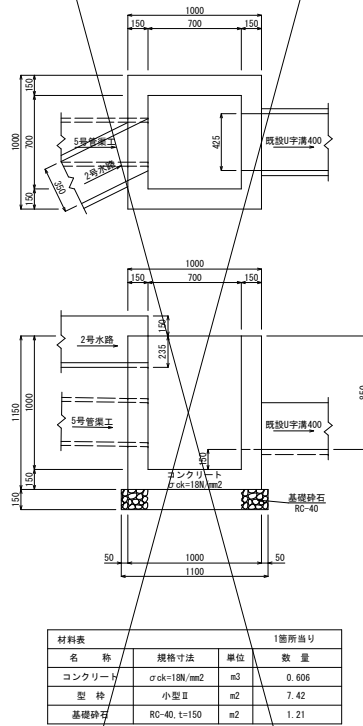
S=1:20



材料表 1箇所当り				
名 称	規格寸法	単位	数 量	
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.678	
型 枠	小型Ⅱ	m2	8.32	
基礎砂石	RC-40, t=200	m2	1.21	
グレーチング蓋	T-14, 落し込式	枚	1.0	

22号集水樹

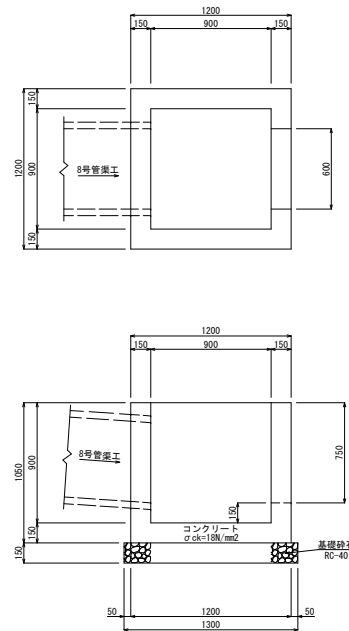
S=1:20



材料表 1箇所当り				
名 称	規格寸法	単位	数 量	
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.606	
型 枠	小型Ⅱ	m2	7.42	
基礎砂石	RC-40, t=150	m2	1.21	

23号集水樹

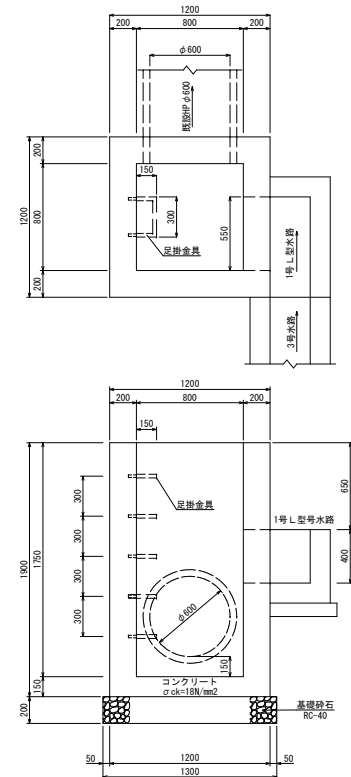
S=1:20



材料表 1箇所当り				
名 称	規格寸法	単位	数 量	
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.673	
型 枠	小型Ⅱ	m2	7.95	
基礎砂石	RC-40, t=150	m2	1.69	

24号集水樹

S=1:20



材料表 1箇所当り				
名 称	規格寸法	単位	数 量	
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.515	
型 枠	小型Ⅱ	m2	14.95	
基礎砂石	RC-40, t=150	m2	1.69	
足掛金具	足掛幅300	本	5.0	

20号～24号集水樹

図面番号	1/6	縮 尺	図 示
工 種	市 道 整 備 事 業		
種 別	構 造 図 9	審 査	9/10
路線名	志 和 堀 西 10 号 線		
工事箇所	東 広 島 市 志 和 町 志 和 堀		
東 広 島 市			

S=1:20



S=1:20



S=1:20



25号～27号集水樹			
図面番号	17	縮尺	図示
工種	市道整備事業		
種別	構造図10	順	10
路線 河川名	志和堀西10号線		
工事箇所	東広島市志和町志和堀		
東広島市			

コンクリート境界杭設置標準図

50×50×4～5mm
アルミダイカスト製
アンカーピン設置(ユニクロメッキ)

A Kタイプ

平面図

側面図

赤ペンキ塗付

赤字

東広島市

東広島市

東広島市

75mm

600mm

コングリートボンド・アンカーピンで貼り付け

※専用アンカーピンはA・Bタイプと同じ

表面 (上面図) 裏面

官民境界

コンクリート境界杭
規格寸法 75×75×600mm

Aタイプ Bタイプ

平面図

側面図

Lは、天端幅内で調整をし、
5 cm単位で明記。

平面図

側面図

Lは、天端幅内で調整をし、
5 cm単位で明記。

図1は、橋構造物の描き方の例を示しています。図は4つの部分に分かれています。左上は「Cタイプ」の「平面図」、右上は「Dタイプ」の「平面図」、左下は「Cタイプ」の「側面図」、右下は「Dタイプ」の「側面図」です。平面図には、橋の断面、橋脚、および「官民境界」の線が示されています。側面図には、橋の断面と「官民境界」の線が示されています。図の下部には、2つのボックスがあり、それぞれ「L」の寸法について説明しています。左側のボックスには「Lは、天端幅内で調整をし、1 cm単位で明記。」と記載されています。右側のボックスには「Lは、天端幅内で調整をし、1 cm単位で明記。」と記載されています。さらに下部には、2つのボックスがあり、それぞれ「L」の寸法を示す図解が示されています。左側の図解には「市 + L cm」と記載されています。右側の図解には「市 + L cm」と記載されています。

- ①

設置場所に標示板を置き、アンカー穴の印をつける。
- ②

ドリルでアンカー穴をあける。
- ③

スポイト等
ごみを出す
- ④

コンクリート
を入れて
- ⑤

標示板の裏
接着剤を塗

Technical drawings of two types of square base plates (A and B) and their cross-sections.

Aタイプ (Type A): A square plate with a central hole and two side holes. The side holes are 50mm apart. The plate is 50mm square.

Bタイプ (Type B): A square plate with four corner holes. The plate is 50mm square.

50mm単位 (50mm unit): Indicated by arrows pointing to the 50mm dimensions in the top views.

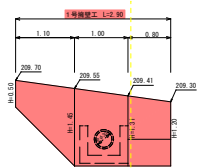
横断面図 (Cross-section view): Shows the plate thickness as 4~5mm. The hole diameter is $\phi 10\text{mm}$. The distance from the hole center to the edge is 25mm.

※専用アンカーピン (※Specialty anchor pin): A detail view of the anchor pin with a diameter of $\phi 10\text{mm}$, a height of 2mm, and a base diameter of $\phi 4\text{mm}$.

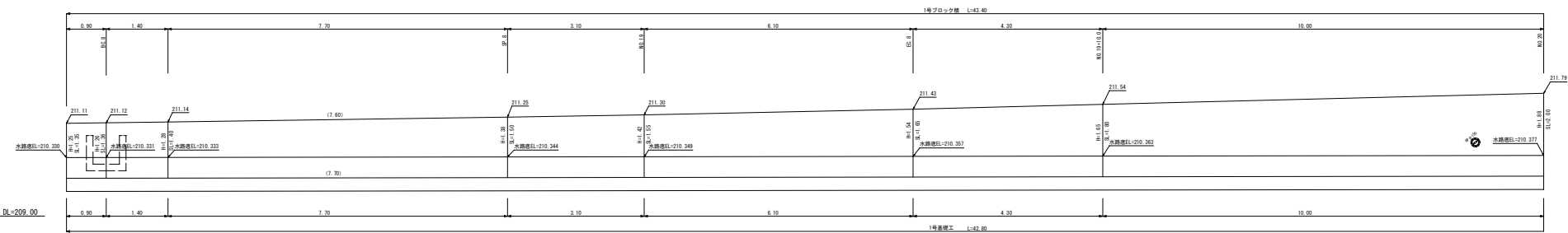
※専用アンカーピンはA・Bタイプと同じ

図面番号	18	縮尺	
工 種	市道整備事業		
種 別	用地境界標一般図		
路線 河川名	志和堀西10号線		
工事箇所	東広島市志和町志和堀		
東広島市			

左 側

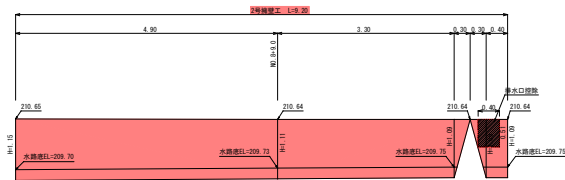


DL=208.00

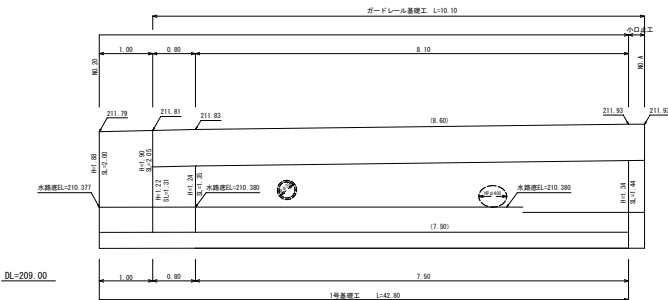


DL=209.00

右 側

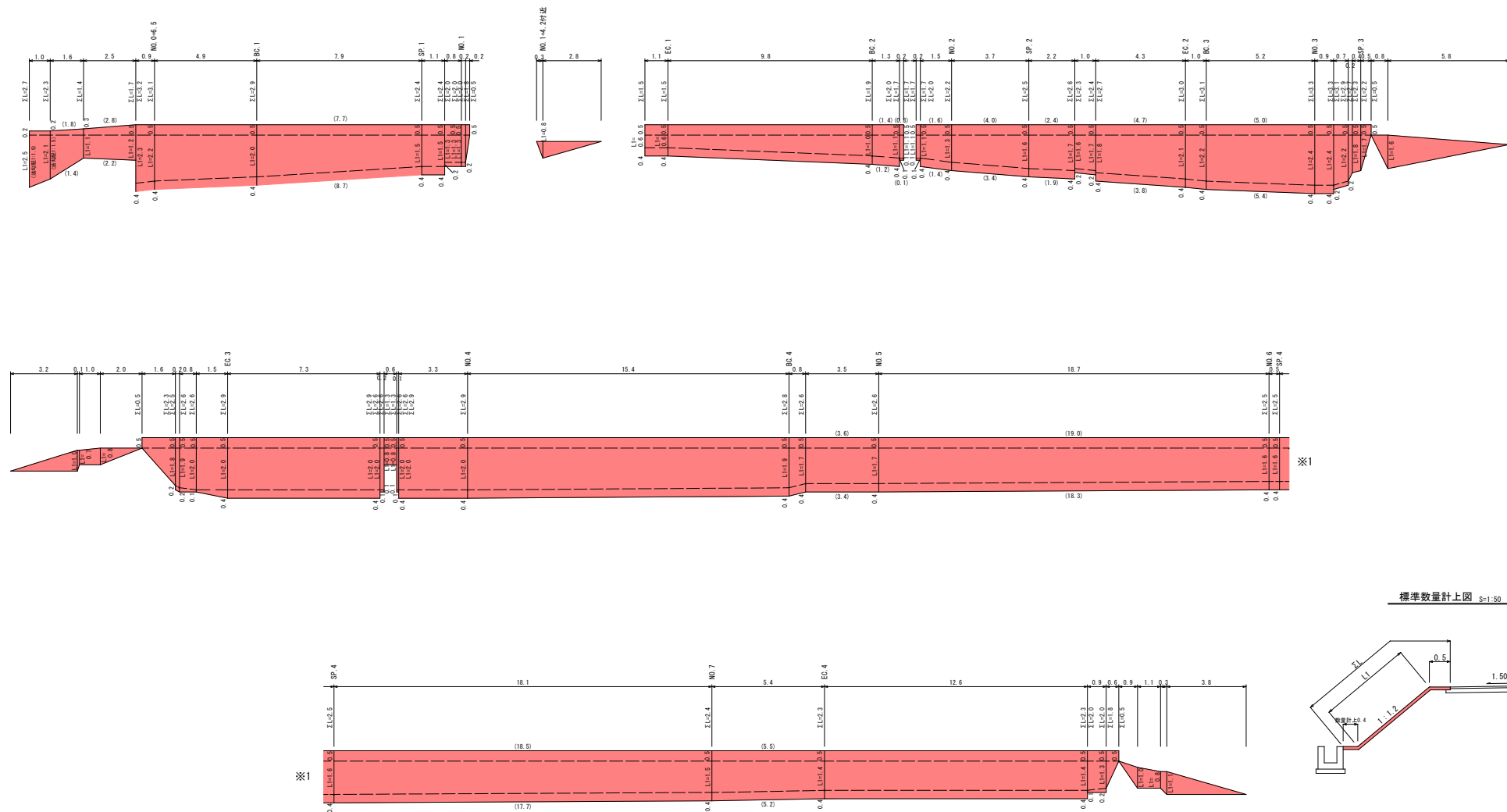


DL=209.00

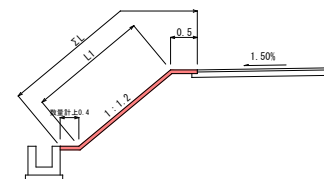


図面番号	19	縮 尺	1 : 50
工 種	市 道 整 備 事 業		
種 別	擁 壁 工 展 開 図 ブロック 積 展 開 図	審 査	1 / 1
路線 河川 名	志 和 堀 西 10 号 線		
工事箇所	東 広 島 市 志 和 町 志 和 堀		
東 広 島 市			

防草コンクリート展開図-1

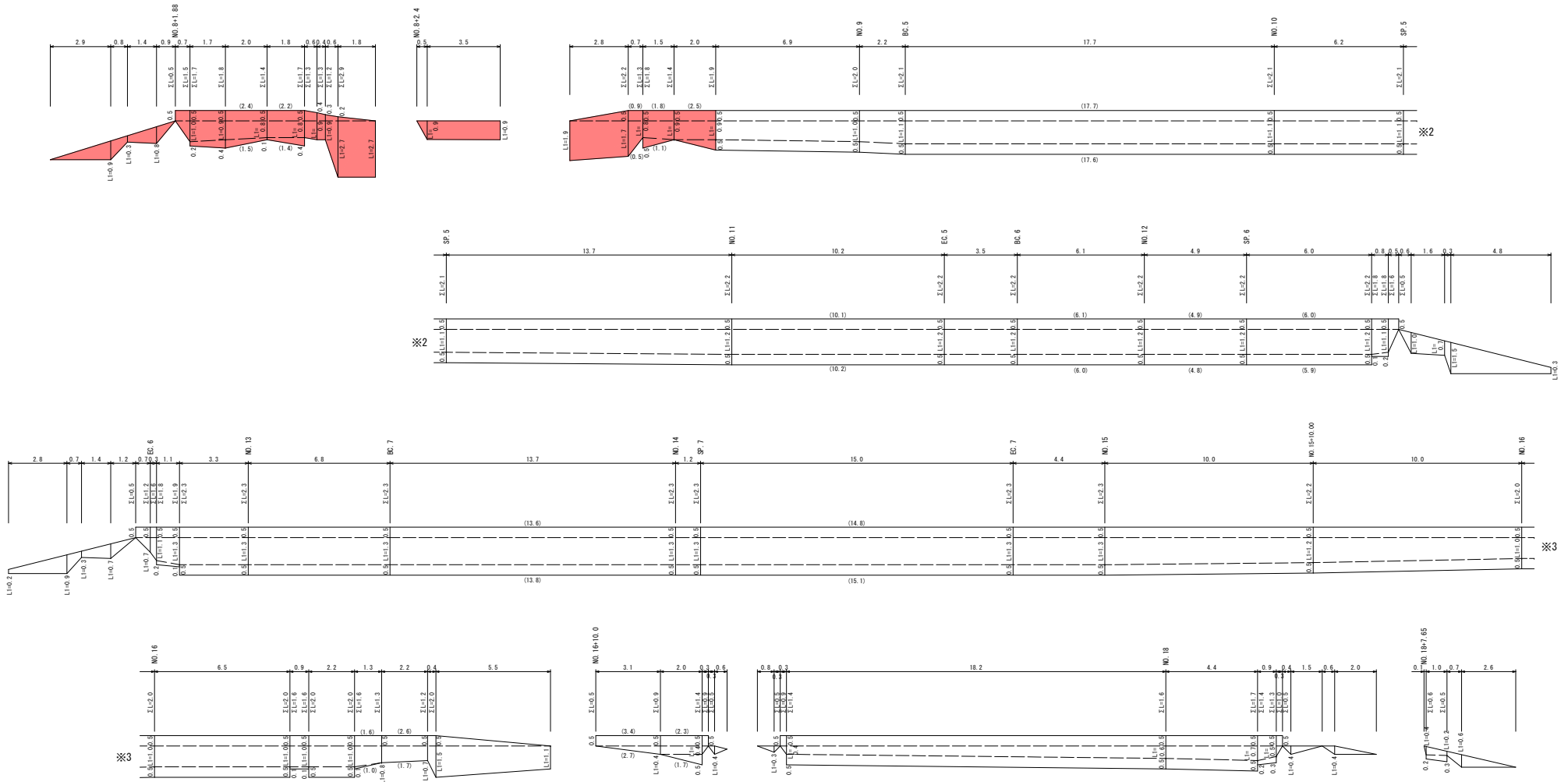


標準数量計上図 S=1:50

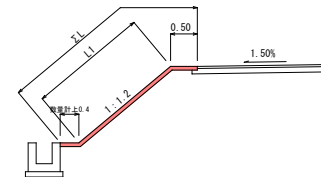


NO. 0～NO. 8 (左側)			
図面番号	20	縮尺	S=1:100
工 種	市 道 整 備 事 業		
種 別	防草コンクリート展開図		
路線名	志和堀西10号線		
工事箇所	東広島市志和町志和堀		
東 広 島 市			

防草コンクリート展開図-2



標準数量計上図 S=1:50



NO. 8~NO. 18+7.0 (左側)

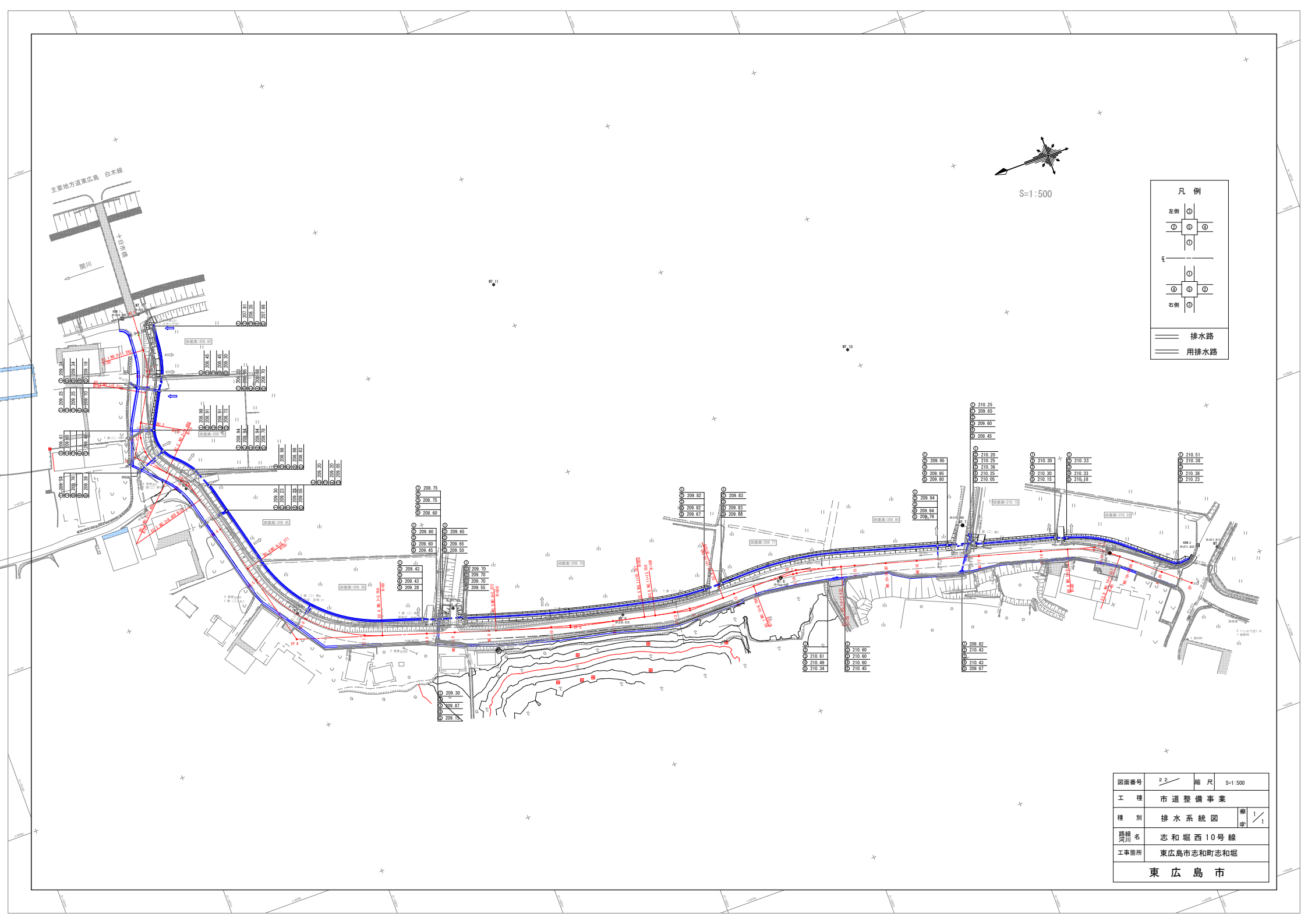
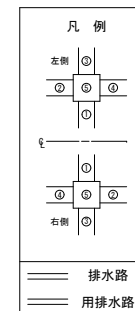
図面番号	21	縮尺	S=1:100
工種	市道整備事業		
種別	防草コンクリート展開図		
路線名	志和堀西10号線		
工事箇所	東広島市志和町志和堀		
東広島市			

主要地方道東広島 白木線

鵜川



S=1:500



図面番号	2-2	縮 尺	S=1:500
工 種	市 道 整 備 事 業		
種 別	排 水 系 統 図	縮 尺	1/
路線 河川 名	志 和 堀 西 10 号 線		
工事箇所	東 広 島 市 志 和 町 志 和 堀		
東 広 島 市			

(参 考 图)



S=1 : 500

主要地方道東広島 白木線

関川

仮設延長 $L=140$

工事用道路 幅=3.0m
散砕板設置 L=148.3m

工事用道路 $W=3.0m$
敷鉄板設置 $L=17.1m$

田面高=208.60

工事用道路 Ⅲ=3.0m
敷鉄板設置 L=34.2m

工部用道
數鉄折

工事用道路 約1.5km

$L=61.2m$

工事用道路(敷鉄板)

S=1:50

敷鉄板 $t=22\text{mm}$

W=3.0m

IP	IP地址范围	IA	SL	TL	SL	CL	IP地址范围
IP.0	172.0.0.1						18.581
IP.1	299-35-19	26-35-16	30,000	7,088	0.828	13,921	28,195
IP.2	255-32-19	74-03-39	15,000	11,316	3.790	19,389	18,951
IP.3	255-14-1	29-42-12	25,000	6,829	0.884	12,861	61,114
IP.4	191-20-00	57-44-2	50,000	27,649	7.092	58,589	38,065
IP.5	150-00-09	6-20-51	500,000	3,008	0.528	6,957	38,811
IP.6	179-07-29	12-54-36	100,000	11,314	4.691	22,502	36,307
IP.7	195-07-29	16-31-36	40,000	14,528	1.650	26,854	96,149
IP.8	210-07-29	24-29-4	100,000	8,683	0.932	17,100	33,273

図面番号	23	縮 尺	S=1:500
工 種	市道整備事業		
種 別	仮 設 図	階 数	1/1
路線川名	志和堀西10号線		
工事箇所	東広島市志和町志和堀		
東 広 島 市			

参 考 図 書

工 事 名 称 : 令和8年度 生活市道整備事業
志和堀西10号線道路改良工事

<注意事項>

1 本工事は、数量公開の対象工事です。

2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、
契約上の拘束をするものではありません。

3 その他

・当該業務により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として次の施設を見込んでいる。

種別	施設の名称	所在地	運搬距離 (km)
粘性土	有限会社広剛産業福富残土処分場2	東広島市福富町上竹仁字段原山845-48	6.2

・当該業務により発生するAs殻・Co殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種別	施設の名称	所在地	運搬距離 (km)
Co殻（無筋）	（株）スナダ	東広島市志和町七条杵坂 10488-160	5.6
As殻	（株）スナダ	東広島市志和町七条杵坂 10488-160	5.6

志和堀西10号線
(東広島市志和町志和堀)

数 量 計 算 書

東広島市 建設部 道路建設課

設計数量総括内訳書

No.1

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	計上数量	備 考
土 工							
	掘削	砂質土	機械	m ³	51.5	50	
	盛土	路床					
		B1-1	W<1.0	〃	29.2	30	
		B1-2	1.0≦W<2.5	〃	141.6	140	
		B1-3	2.5≦W<4.0	〃	155.0	160	
		B1-4	W≧4.0	〃	6.1	10	
		路体					
		B2-1	W<1.0	〃	4.6	5	
		B2-2	1.0≦W<2.5	〃	13.7	10	
		B2-3	2.5≦W<4.0	〃	0.0	-	
		路肩					
		B3		〃	16.2	20	
		路体外					
		B4		〃	23.1	20	
	床掘	砂質土	機械	〃	211.4	210	
		表土	〃	〃	94.2	90	
	埋戻	C	1≦W1<4、W2<1	〃	0.0	-	
		D	W1<1、W2<1	〃	192.7	190	
		表土		〃	19.9	20	
	購入土	真砂土		〃	383.9	380	
	残土処分						
		表土		〃	72.1	70	
	盛土法面整形工						
		盛土法面整形工		m ²	281.4	280	
擁壁工							
	1号擁壁工			m	2.9	3	
		コンクリート	σ ck=18N/mm2	m ³	1.4	1	
		基礎碎石	RC-40,t=15cm	m ²	2.2	2	
	2号擁壁工			m	9.2	9	
		コンクリート	σ ck=18N/mm2	m ³	3.8	4	
		基礎碎石	RC-40,t=15cm	m ²	6.2	6	

設計数量総括内訳書

No.2

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	計 上 数 量	備 考
	1号ブロック積			m	0.0	-	
		ブロック積	裏コンt=10cm	m ²	0.0	-	
		裏込碎石	RC-40	m ³	0.0	-	
	1号基礎工			m	0.0	-	
	小口止工			ヶ所			
		コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.0	-	
		基礎枠	RC-40,t=10cm	m ²	0.0	-	
		基礎碎石	RC-40,t=15cm	m ²	0.0	-	
法面保護工							
	防草コンクリート	t=7cm		m ²	418.0	418	
排水工							
	1号側溝	FG300×300		m	114.9	115	
	2号側溝	FG400×400	発生品流用	〃	0.0	-	
		〃		〃	0.0	-	
	蓋	PC4-B300		〃	24.0	24	
		PC4-B400		〃	0.0	-	
	1号L型側溝(A)			〃	16.5	17	
	1号L型側溝(B)		斜	〃	14.7	15	
	1号L型側溝(C)		乗入部	ヶ所	4.0	4	
	1号水路	KF300	発生品流用	m	1.1	1	
		〃		〃	0.0	-	
	1号分土工	KF300用		個	0.0	-	
	2号水路	KF350		m	0.0	-	
	蓋	KF350用		〃	0.0	-	
	2号分土工	〃		個	0.0	-	
	3号水路	現場打ち	300×300～400	m	72.2	72	
	4号水路	〃	300×300～430	〃	58.0	58	
	底張工			〃	9.6	10	
	5号水路			ヶ所	1.0	1	
		コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.33	0.3	
		型枠	小型 I	m ²	3.38	3	
		基礎碎石	RC-40,t=15cm	〃	1.1	1	
		縞鋼板	t=3.2mm	枚	2	2	
	6号水路			ヶ所	1.0	1	
		コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.23	0.2	
		型枠	小型 I	m ²	2.43	2	
		基礎碎石	RC-40,t=15cm	〃	0.8	1	

設計数量総括内訳書

No.3

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	計上数量	備 考
	1号L型水路	現場打ち	300×400	m	0.8	1	
	2号L型水路	現場打ち	300×500	m	0.0	-	
	1号横断溝	(L=6.0m)		ヶ所	1	1	
		横断溝	W300×h500,L=1.5	本	4.0	4	
		横断工 受枠	1.5m(2本/組)	組	4.0	4	
		グレーチング	1.0m普通目ボルト固定	枚	4.0	4	
		グレーチング	0.5m普通目ボルト固定	枚	4.0	4	
		コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m^3	0.2	0.2	
		敷モルタル	1:3	//	0.08	0.1	
		基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m^3	0.32	0.3	
		基礎型枠		m^2	1.2	1	
		基礎砕石	RC-40,t=10cm	//	3.8	4	
	2号横断溝	(L=5.0m)		ヶ所	1	1	
		横断溝	W300×h500,L=2.0	本	1.0	1	
		//	W300×h500,L=1.5	本	2.0	2	
		横断工 受枠	2.0m(2本/組)	組	1.0	1	
		横断工 受枠	1.5m(2本/組)	組	2.0	2	
		グレーチング	1.0m普通目ボルト固定	枚	4.0	4	
		グレーチング	0.5m普通目ボルト固定	枚	2.0	2	
		コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m^3	0.2	0.2	
		敷モルタル	1:3	//	0.07	0.1	
		基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m^3	0.27	0.3	
		基礎型枠		m^2	1.0	1	
		基礎砕石	RC-40,t=10cm	//	3.2	3	
	1号管渠工	重圧管	$\phi 150$	m	3.2	3	
	2号管渠工	重圧管	$\phi 200$	//	1.9	2	
	3号管渠工	重圧管	$\phi 250$	//	1.8	2	
	4号管渠工	重圧管	$\phi 300$	//	28.5	29	
	5号管渠工	重圧管	$\phi 600$	//	8.0	8	
	管渠工	ヒューム管	$\phi 300$	//	0.6	0.6	
	1号集水桝			箇所	1	1	
	3号集水桝			//	1	1	
	7号集水桝			//	1	1	
	8号集水桝			//	2	2	
	9号集水桝			//	2	2	
	10号集水桝			//	1	1	
	11号集水桝			//	1	1	
	12号集水桝			//	1	1	

設 計 数 量 総 括 内 訳 書

No.4

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	計 上 数 量	備 考
	13号集水桝			〃	0	-	
	14号集水桝			〃	0	-	
	15号集水桝			〃	0	-	
	16号集水桝			〃	1	1	
	17号集水桝			〃	0	-	
	18号集水桝			〃	1	1	
	19号集水桝			〃	1	1	
	20号集水桝			〃	1	1	
	21号集水桝			〃	0	-	
	22号集水桝			〃	0	-	
	23号集水桝			〃	1	1	
	24号集水桝			〃	1	1	
	25号集水桝			〃	1	1	
	26号集水桝			〃	0	-	
	27号集水桝			〃	1	1	
舗装工							
	表層工	再生密粒度As	t=4cm	m ²	1,012.1	1,010	
	上層路盤工	再生粒調碎石	t=12cm	〃	1,032.7	1,030	
	路床改良	セメント処理	t=50cm	〃	692.1	692	
	区画線	白線・実線	W=0.15m	m	316.4	316	
		〃	W=0.45m	〃	18.6	19	
		白線・破線	L=1.0m,W=0.15m	〃	0.0	-	
		〃	L=0.5m,W=0.3m	〃	0.0	-	
		白線・実線	W=0.30m	〃	2.4	2	
道路付属施設工	道路付属物工	道路鉋		箇所	78	78	
雑工事							
	コンクリート舗装	σ ck=18N/mm2	t=10cm	m ²	61	61	
	間詰コンクリート	σ ck=18N/mm2		m ³	0	0	
構造物撤去工							
	As取壊し	t=5cm		m ²	704.0	700	W= 83 t
	コンクリート取壊し	無筋		m ³	13.6	14	W= 32 t
	切断工	As切断		m	29.1	29	
		コンクリート切断		〃	0.0	-	
	鉄スクラップ			t	0.23	0.23	

士

工

土 量 配 分

切土工

切 土	掘削工種	土 質	単位	発生土量
	片 切	砂質土	m ³	
			m ³	
			m ³	
			m ³	
	オープン	砂質土	m ³	51.5
			m ³	
			m ³	
			m ³	
	合 計		m ³	51.5
			m ³	

土 質	単位	発生土量
砂質土	m ³	262.9
粘性土	m ³	

盛土工

盛 土	種 別	細 別	単位	土 量	備考
	路体盛土	W<1.0	m ³	4.6	
		1.0≦W<2.5	m ³	13.7	
		2.5≦W<4.0	m ³	0	
		4.0≦W	m ³		
	路床盛土	W<1.0	m ³	29.2	
		1.0≦W<2.5	m ³	141.6	
		2.5≦W<4.0	m ³	155	
		4.0≦W	m ³	6.1	
	盛土	路肩盛土	m ³	16.2	
	盛土	路外盛土	m ³	23.1	
	合 計		m ³	389.5	

作業土工

床 掘	掘削工種	土 質	単位	発生土量
	機 械	砂質土	m ³	211.4
			m ³	
			m ³	
	砂質土合計		m ³	
	機 械	表土	m ³	94.2

作業土工

埋 戻	種 別	細 別	単位	土 量	備考
	砂質土	C	m ³	0.0	
	〃	D	m ³	192.7	
			m ³		
	砂質土合計		m ³	192.7	
	機 械	表土	m ³	19.9	

購入土	砂質土	432.8 + 214.1 - 262.9				383.9
残土処分	表土	94.2 - 22.1				72.1

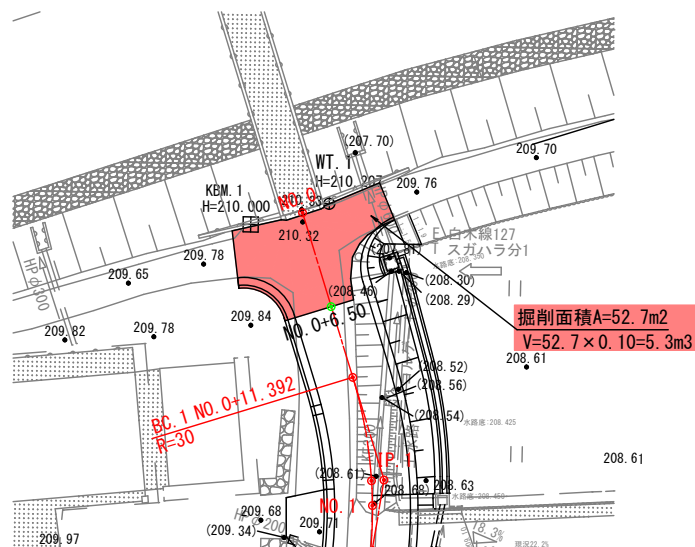
土工数量総括表

種別	規格	砂質土数量		表土数量	備考
掘削	C(SF)		51.5		計第1表
路床盛土	B1-1		29.2		計第2表
	B1-2		141.6		〃
	B1-3		155.0		計第3表
	B1-4		6.1		〃
路体盛土	B2-1		4.6		計第4表
	B2-2		13.7		〃
	B2-3				〃
路肩盛土	B3		16.2		計第5表
路体外盛土	B4	左	23.1		計第6表
		右 23.1			
床掘	E(SF)	土工 163.5	211.4		計第7表
		排水工 47.9			
	表土			94.2	〃
埋戻	Fu (C)	土工			〃
	Fu (D)	土工 159.1	192.7		〃
		排水工 33.6			
	表土			19.9	〃

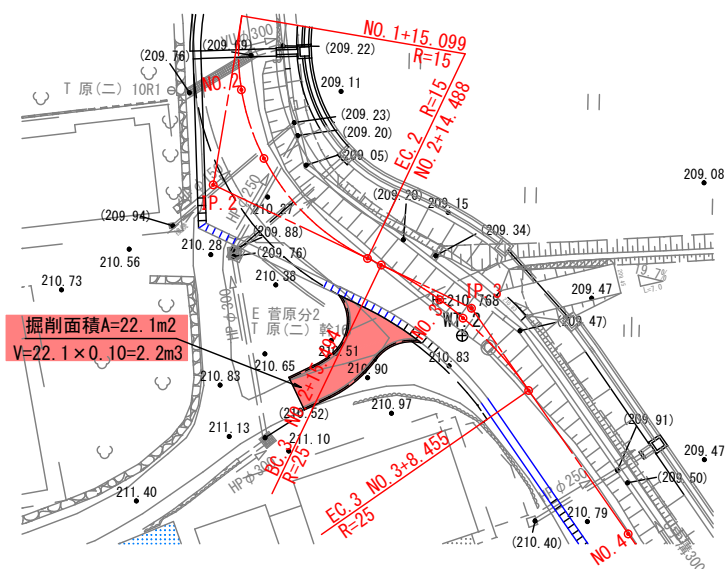
基面整正	K(人力)	土工 222.7	248.8		〃
		排水工 26.1			

盛土法面整形工	L1		281.4		計第8表
---------	----	--	-------	--	------

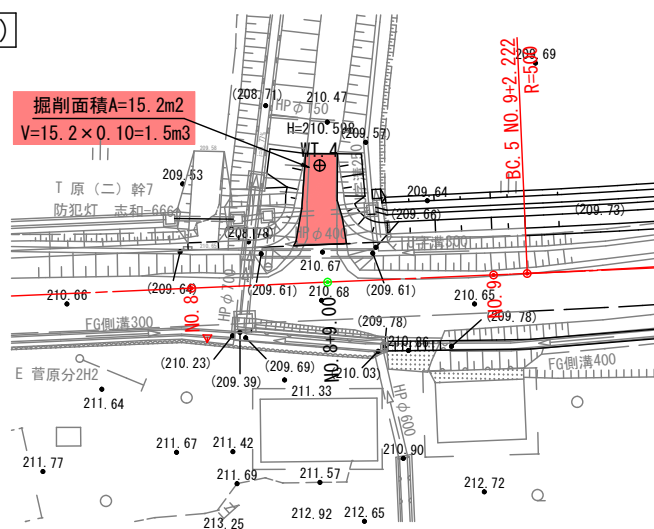
掘削数量-1



NO. 2+16付近(右)



NO. 8+9付近(左)



計 第 3 表

路床盛土-2

計算書

測 点	距 離	B1-3			B1-4				平 均	積
		断面積	平 均	立 積	断面積	平 均	立 積			
No.0+6.5		0.0			0.0					
BC.1	4.9	2.6	1.30	6.4	0.3	0.15	0.7			
SP.1	7.0	3.3	2.95	20.7	0.0	0.15	1.1			
EC.1	7.0	1.0	2.15	15.1						
BC.2	9.8	0.0	0.50	4.9						
No.2	4.9									
SP.2	4.8	0.0			0.0					
EC.2	9.7	0.4	0.20	1.9	0.5	0.25	2.4			
SP.3	7.5	2.2	1.30	9.8	0.0	0.25	1.9			
EC.3	6.5	0.0	1.10	7.2						
No.4	11.5	0.0								
BC.4	15.4	2.0	1.00	15.4						
No.5	4.6	2.3	2.15	9.9						
SP.4	20.6	2.0	2.15	44.3						
No.7	19.4	0.0	1.00	19.4						
EC.4	5.8									
No.8	14.2									
No.8+9.0	9.0									
No.8+13.0	4.0									
合計				155.0			6.1			

土工(床堀・埋戻・基面整正)数量総括表

	床堀		埋戻			基面整正	備考
	砂質土・機械	表土・機械	Fu (C)	Fu (D)	表土	人力	
本線	143.6	94.2		144.0	19.9	213.2	計第7表
管渠工	19.9			15.1		9.5	計第8表
計	163.5	94.2		159.1	19.9	222.7	

本線土工数量総括表(床堀・埋戻・基面整正)

	床堀		埋戻			基面整正	備考
	砂質土・機械	表土・機械	Fu (C)	Fu (D)	表土	人力	
本線 左側	65.5	94.2		91.7	19.9	107.4	計第7-1～7-6表
本線 右側	78.1			52.3		105.8	計第7-7～7-8表
計	143.6	94.2		144.0	19.9	213.2	

計 第 7-1 表 床掘・表土床掘・表土埋戻(左側) 計 算 書										
測 点	距 離	床掘 E(SF)			表土床掘 E(表土)			表土埋戻 Fu(表土)		
		断面積	平 均	立 積	断面積	平 均	立 積	断面積	平 均	立 積
		0.6			0.3			0.2		
No.0+6.5	2.2	0.6	0.60	1.3	0.3	0.30	0.7	0.2	0.20	0.4
BC.1	4.9	0.3	0.45	2.2	0.7	0.50	2.5	0.2	0.20	1.0
SP.1	8.1	0.2	0.25	2.0	1.1	0.90	7.3	0.2	0.20	1.6
	2.1	0.2	0.20	0.4	1.1	1.10	2.3	0.2	0.20	0.4
小計	17.3			5.9			12.8			3.4
		0.3			1.0			0.2		
EC.1	0.9	0.3	0.30	0.3	1.0	1.00	0.9	0.2	0.20	0.2
BC.2	9.8	0.3	0.30	2.9	0.5	0.75	7.4	0.2	0.20	2.0
No.2	3.4	0.4	0.35	1.2	0.4	0.45	1.5	0.1	0.15	0.5
SP.2	3.2	0.2	0.30	1.0	0.6	0.50	1.6	0.2	0.15	0.5
EC.2	6.3	0.2	0.20	1.3	1.0	0.80	5.0	0.2	0.20	1.3
	8.4	0.2	0.20	1.7	1.0	1.00	8.4	0.2	0.20	1.7
小計	32.0			8.4			24.8			6.2
		1.4								
SP.3	0.5	1.4	1.40	0.7						
	5.3	1.4	1.40	7.4						
小計	5.8			8.1						
		0.3			0.8			0.1		
EC.3	2.6	0.3	0.30	0.8	0.8	0.80	2.1	0.1	0.10	0.3
No.4	11.5	0.3	0.30	3.5	0.9	0.85	9.8	0.2	0.15	1.7
BC.4	15.5	0.7	0.50	7.8	0.1	0.50	7.8	0.1	0.15	2.3
No.5	4.2	0.3	0.50	2.1	0.9	0.50	2.1	0.1	0.10	0.4
SP.4	18.5	0.3	0.30	5.6	0.8	0.85	15.7	0.1	0.10	1.9
No.7	17.5	0.2	0.25	4.4	0.5	0.65	11.4	0.1	0.10	1.8
EC.4	5.2	0.2	0.20	1.0	0.4	0.45	2.3	0.1	0.10	0.5
	13.5	0.2	0.20	2.7	0.4	0.40	5.4	0.1	0.10	1.4
小計	88.5			27.9			56.6			10.3
		0.6								
No.8	0.8	0.6	0.60	0.5						
	2.8	0.6	0.60	1.7						
小計	3.6			2.2						

計 第 7-4 表 埋戻・基面整正(左側) 計 算 書										
測 点	距 離	埋戻 Fu(C)			埋戻 Fu(D)			基面整正 K		
		断面積	平 均	立 積	断面積	平 均	立 積	幅	平 均	面 積
					0.4			0.7		
No.0+6.5	2.2				0.4	0.40	0.9	0.7	0.70	1.5
BC.1	4.9				0.5	0.45	2.2	0.7	0.70	3.4
SP.1	8.1				0.9	0.70	5.7	0.7	0.70	5.7
	2.1				0.9	0.90	1.9	0.7	0.70	1.5
小計	17.3						10.7			12.1
					0.8			0.7		
EC.1	0.9				0.8	0.80	0.7	0.7	0.70	0.6
BC.2	9.8				0.3	0.55	5.4	0.7	0.70	6.9
No.2	3.4				0.3	0.30	1.0	0.7	0.70	2.4
SP.2	3.2				0.4	0.35	1.1	0.7	0.70	2.2
EC.2	6.3				0.7	0.55	3.5	0.7	0.70	4.4
	8.4				0.7	0.70	5.9	0.7	0.70	5.9
小計	32.0						17.6			22.4
					1.1			0.7		
SP.3	0.5				1.1	1.10	0.6	0.7	0.70	0.4
	5.3				1.1	1.10	5.8	0.7	0.70	3.7
小計	5.8						6.4			4.1
					0.7			0.7		
EC.3	2.6				0.7	0.70	1.8	0.7	0.70	1.8
No.4	11.5				0.7	0.70	8.1	0.7	0.70	8.1
BC.4	15.5				0.3	0.50	7.8	0.7	0.70	10.9
No.5	4.2				0.7	0.50	2.1	0.7	0.70	2.9
SP.4	18.5				0.7	0.70	13.0	0.7	0.70	13.0
No.7	17.5				0.2	0.45	7.9	0.7	0.70	12.3
EC.4	5.2				0.2	0.20	1.0	0.7	0.70	3.6
	13.5				0.2	0.20	2.7	0.7	0.70	9.5
小計	88.5						44.4			62.1
					0.4			0.7		
No.8	0.8				0.4	0.40	0.3	0.7	0.70	0.6
	2.8				0.4	0.40	1.1	0.7	0.70	2.0
小計	3.6						1.4			2.6

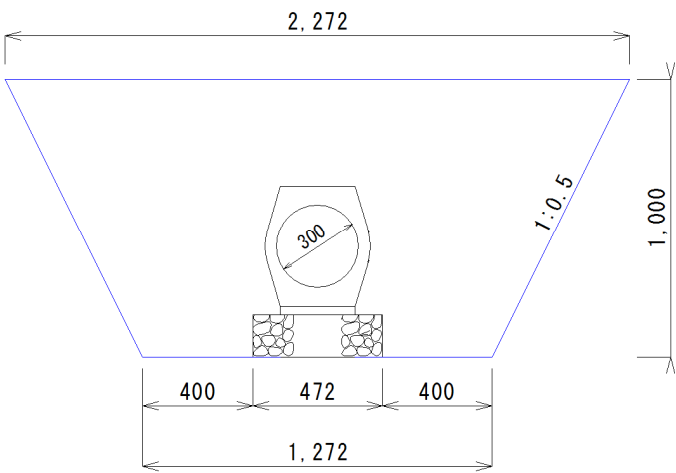
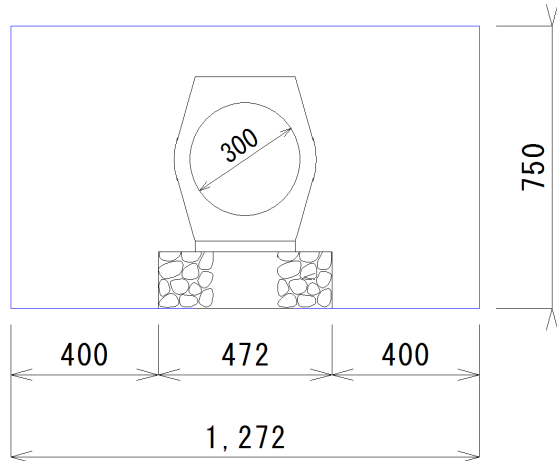
計 第 7-7 表 床掘・埋戻・基面整正(右側) 計 算 書

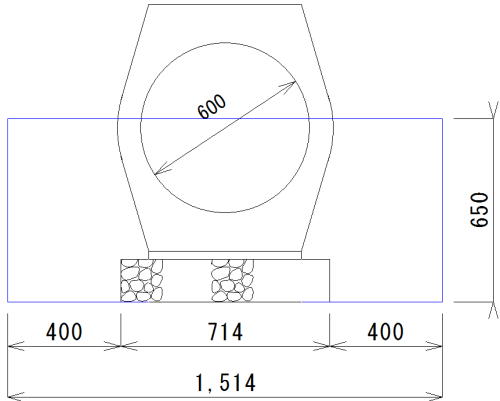
測 点	距 離	床掘 E(SF)			埋戻 Fu(D)			基面整正 K		
		断面積	平 均	立 積	断面積	平 均	立 積	幅	平 均	面 積
		0.1			0.1			0.9		
No.0+6.5	4.3	0.1	0.10	0.4	0.1	0.10	0.4	0.9	0.90	3.9
BC.1	4.9	0.1	0.10	0.5	0.1	0.10	0.5	0.9	0.90	4.4
SP.1	6.1	0.3	0.20	1.2	0.2	0.15	0.9	0.9	0.90	5.5
EC.1	5.7	0.4	0.35	2.0	0.3	0.25	1.4	0.9	0.90	5.1
BC.2	9.8	0.3	0.35	3.4	0.2	0.25	2.5	0.9	0.90	8.8
	2.8	0.3	0.30	0.8	0.2	0.20	0.6	0.9	0.90	2.5
小計	33.6			8.3			6.3			30.2
		0.5			0.3			0.6		
No.2	2.5	0.5	0.50	1.3	0.3	0.30	0.8	0.6	0.60	1.5
SP.2	6.1	0.6	0.55	3.4	0.3	0.30	1.8	0.6	0.60	3.7
EC.2	12.9	0.5	0.55	7.1	0.3	0.30	3.9	0.6	0.60	7.7
SP.3	6.8	0.5	0.50	3.4	0.4	0.35	2.4	0.6	0.60	4.1
EC.3	5.8	0.5	0.50	2.9	0.3	0.35	2.0	0.6	0.60	3.5
No.4	11.5	0.5	0.50	5.8	0.4	0.35	4.0	0.6	0.60	6.9
BC.4	15.4	0.5	0.50	7.7	0.4	0.40	6.2	0.6	0.60	9.2
No.5	4.9	0.6	0.55	2.7	0.4	0.40	2.0	0.6	0.60	2.9
SP.4	21.9	0.5	0.55	12.0	0.3	0.35	7.7	0.6	0.60	13.1
No.7	21.6	0.4	0.45	9.7	0.2	0.25	5.4	0.6	0.60	13.0
	5.5	0.4	0.40	2.2	0.2	0.20	1.1	0.6	0.60	3.3
小計	114.9			58.2			37.3			68.9
		1.2			0.9			0.7		
No.8+9.0	6.3	1.2	1.20	7.6	0.9	0.90	5.7	0.7	0.70	4.4
	3.3	1.2	1.20	4.0	0.9	0.90	3.0	0.7	0.70	2.3
小計	9.6			11.6			8.7			6.7
合計	158.1			78.1			52.3			105.8

管渠工土工(床堀・埋戻・基面整正)数量総括表

	床堀	埋戻	基面整正	備考
	砂質土・機械	Fu (D)	人力	
2号管渠工	0.7	0.4	0.5	計第8-1表
4号管渠工	8.3	7.3	2.2	計第8-3表
〃	4.8	3.9	2.4	計第8-3表
5号管渠工	6.1	3.5	4.4	計第8-5表
計	19.9	15.1	9.5	

測 点	NO. 1+2.8～+4.0右側		土工延長	1.2 m
名 称	規 格	算 式		数 量
床 堀	砂質土・機械	1.2 × 0.5 × 1.2		0.7 m3
埋 戻	Fu(D)	CAD読み		0.4 m3
基 面 整 正	人力	0.398 × 1.2		0.5 m2
測 点			土工延長	

測 点	N0. 2+8. 3	土工延長	4. 7 m
			
名 称	規 格	算 式	数 量
床 堀	砂質土・機械	$(2.27+1.27) \times 1 \div 2 \times 4.7$	8.3 m ³
埋 戻	Fu(D)	CAD読み	7.3 m ³
基 面 整 正	人力	0.472×4.7	2.2 m ²
測 点	N0. 8+5. 7~No. 8+11. 6左側	土工延長	5.0 m
			
名 称	規 格	算 式	数 量
床 堀	砂質土・機械	$1.272 \times 0.75 \times 5$	4.8 m ³
埋 戻	Fu(D)	CAD読み	3.9 m ³
基 面 整 正	人力	0.472×5	2.4 m ²

測 点	N0. 8+3. 6	土工延長	6. 2 m
			
名 称	規 格	算 式	数 量
床 堀	砂質土・機械	$1. 514 \times 0. 65 \times 6. 2$	6. 1 m ³
埋 戻	Fu(D)		3. 5 m ³
基 面 整 正	人力	$0. 714 \times 6. 2$	4. 4 m ²
測 点		土工延長	
名 称	規 格	算 式	数 量

計 第 9-1 表		盛土法面整形工			計 算 書			道路側		
測 点	距 離	盛土法面整形 L1								
		法 長	平 均	面 積		平 均	積		平 均	積
		2.5								
	1.0	2.1	2.30	2.3						
	1.6	1.0	1.55	2.5						
	2.5	1.2	1.10	2.8						
		2.3								
No.0+6.5	0.9	2.2	2.25	2.0						
BC.1	4.9	2.0	2.10	10.3						
SP.1	7.9	1.5	1.75	13.8						
	1.1	1.5	1.50	1.7						
		1.3								
	0.8	1.3	1.30	1.0						
	0.2	1.3	1.30	0.3						
	0.2	0.0	0.65	0.1						
小計				36.8						
		0.0								
No.1+4.2	2.8	0.8	0.40	1.1						
	0.3	0.0	0.40	0.1						
小計				1.2						
		0.6								
EC.1	1.1	0.6	0.60	0.7						
BC.2	9.8	1.0	0.80	7.8						
	1.5	1.1	1.05	1.6						
小計				10.1						
		1.1								
	0.2	1.1	1.10	0.2						
No.2	1.5	1.3	1.20	1.8						
SP.2	3.7	1.6	1.45	5.4						
	2.2	1.7	1.65	3.6						
		1.6	1.65							
	1.0	1.7	1.65	1.7						
		1.8	1.75							
EC.2	4.3	2.1	1.95	8.4						
BC.3	1.0	2.2	2.15	2.2						
No.3	5.2	2.4	2.30	12.0						

計 第 9-2 表 盛土法面整形工 計 算 書 道路側										
測 点	距 離	盛土法面整形 L1								
		法 長	平 均	面 積		平 均	積		平 均	積
No.3		2.4								
	0.9	2.4	2.40	2.2						
	0.7	2.2	2.30	1.6						
	0.2	1.8	2.00	0.4						
SP.3	0.4	1.7	1.75	0.7						
	0.5	0.0	0.85	0.4						
	0.8	1.6	0.80	0.6						
	5.8	0.0	0.80	4.6						
小計				45.8						
		0.0								
	3.2	1.0	0.50	1.6						
	0.1	0.7	0.85	0.1						
	1.0	0.8	0.75	0.8						
	2.0	0.0	0.40	0.8						
	1.6	1.8	0.90	1.4						
	0.2	1.9	1.85	0.4						
	0.8	2.0	1.95	1.6						
EC.3	1.5	2.0	2.00	3.0						
	7.5	2.0	2.00	15.0						
		0.8								
	0.6	0.8	0.80	0.5						
		2.0								
No.4	3.4	2.0	2.00	6.8						
BC.4	15.4	1.9	1.95	30.0						
	0.8	1.7	1.80	1.4						
No.5	3.5	1.7	1.70	6.0						
No.6	18.7	1.6	1.65	30.9						
SP.4	0.5	1.6	1.60	0.8						
No.7	18.1	1.5	1.55	28.1						
EC.4	5.4	1.4	1.45	7.8						
	12.6	1.4	1.40	17.6						
	0.9	1.3	1.35	1.2						
	0.6	0.0	0.65	0.4						
	0.9	1.0	0.50	0.5						

計 第 9-3 表		盛土法面整形工			計 算 書			道路側		
測 点	距 離	盛土法面整形 L1								
		法 長	平 均	面 積		平 均	積		平 均	積
		1.0								
	1.1	0.8	0.90	1.0						
	0.3	1.1	0.95	0.3						
	3.8	0.0	0.55	2.1						
小計				160.1						
		0.0								
	2.9	0.9	0.45	1.3						
	0.8	0.3	0.60	0.5						
	1.4	0.8	0.55	0.8						
No.8+1.9	0.9	0.0	0.40	0.4						
	0.7	1.0	0.50	0.4						
	1.7	0.9	0.95	1.6						
	2.0	0.8	0.85	1.7						
	1.8	0.8	0.80	1.4						
	0.6	0.9	0.85	0.5						
	0.4	0.9	0.90	0.4						
	0.6	2.7	1.80	1.1						
	1.8	2.7	2.70	4.9						
小計				15.0						
No.8+2.4		0.0								
	0.5	0.9	0.45	0.2						
	3.5	0.9	0.90	3.2						
小計				3.4						
		1.9								
	2.8	1.7	1.80	5.0						
	0.7	0.8	1.25	0.9						
	1.5	0.9	0.85	1.3						
	2.0	0.9	0.90	1.8						
小計				9.0						
合計				281.4						

擁 壁 工

擁壁工総括表

	延長	コンクリート	基礎コンクリート	基礎型枠	基礎砕石
1号擁壁工	2.9	1.4			2.2
2号擁壁工	9.2	3.8			6.2
計	12.1	5.2			8.4

1号ブロック積

	延長	ブロック積	裏込砕石	1号基礎工
1号ブロック積				
計				

小口止工

	箇所	コンクリート	型枠	基礎砕石
小口止工				
計				

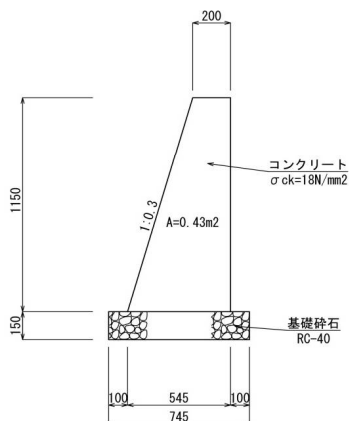
計 第 11 表

2号擁壁工

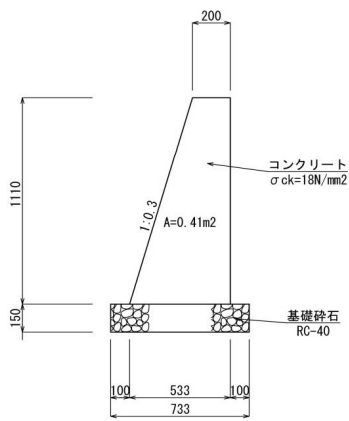
計 算 書

測 点	距 離	コンクリート			基礎砕石			擁壁高		備 考
		断面積	平 均	立 積	幅	平 均	面 積	高さ		
		0.43			0.7			H=1.15m		①
No.8+9.0	4.9	0.41	0.420	2.1	0.7	0.70	3.4	H=1.11m		②
	3.3	0.40	0.405	1.3	0.7	0.70	2.3	H=1.09m		③
	0.3	0.00	0.200	0.1	0.0	0.35	0.1	H=0m		折れ点
	0.3	0.40	0.200	0.1	0.7	0.35	0.1	H=1.09m		④
	0.4	0.40	0.400	0.2	0.7	0.70	0.3	H=1.09m		⑤
合計	9.2			3.8			6.2	ΣH=1.08m	平均高さ	

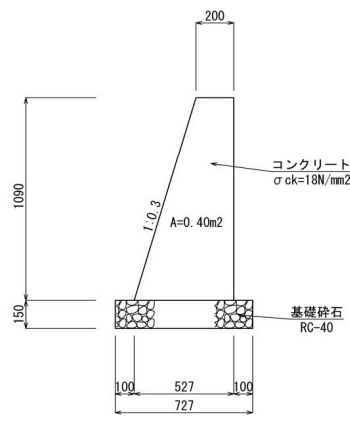
①



②



③ ④ ⑤



工 護 保 面 法

法面保護工数量総括表

種別	規格	単位	数量	備考
防草コンクリート	コンクリート厚 t=7cm	m ²	418.0	

(内 訳)	1m以下	20.7	20.7	21
	1m以上かつ2m以下	51.8	51.8	52
	2m以上	344.5	344.5	345

計 第 15-1 表 防草コンクリート 計 算 書										
測 点	距 離	防草コンクリート								
		法 長	平 均	面 積		平 均	積		平 均	積
		2.7								
	1.0	2.3	2.50	2.5						
	1.6	1.4	1.85	3.0						
	2.5	1.7	1.55	3.9						
		3.2								
No.0+6.5	0.9	3.1	3.15	2.8						
BC.1	4.9	2.9	3.00	14.7						
SP.1	7.9	2.4	2.65	20.9						
	1.1	2.4	2.40	2.6						
		2.0								
No.1	0.8	2.0	2.00	1.6						
	0.2	2.0	2.00	0.4						
		1.8								
	0.2	0.5	1.15	0.2						
小計				52.6						
		0.0								
No.1+4.2	0.3	0.8	0.40	0.1						
	2.8	0.0	0.40	1.1						
小計				1.2						
		1.5								
EC.1	1.1	1.5	1.50	1.7						
BC.2	9.8	1.9	1.70	16.7						
	1.3	2.0	1.95	2.5						
		1.7								
	0.2	1.7	1.70	0.3						
小計				21.2						
		1.7								
	0.2	1.7	1.70	0.3						
		2.0								
No.2	1.5	2.2	2.10	3.2						
SP.2	3.7	2.5	2.35	8.7						
	2.2	2.6	2.55	5.6						
		2.3								
	1.0	2.4	2.35	2.4						

計 第 15-3 表 防草コンクリート 計 算 書										
測 点	距 離	防草コンクリート								
		法 長	平 均	面 積		平 均	積		平 均	積
		2.9								
No.4	3.3	2.9	2.90	9.6						
BC.4	15.4	2.8	2.85	43.9						
	0.8	2.6	2.70	2.2						
No.5	3.5	2.6	2.60	9.1						
No.6	18.7	2.5	2.55	47.7						
SP.4	0.5	2.5	2.50	1.3						
No.7	18.1	2.4	2.45	44.3						
EC.4	5.4	2.3	2.35	12.7						
	12.6	2.3	2.30	29.0						
		2.0								
	0.9	2.0	2.00	1.8						
		1.8								
	0.6	0.5	1.15	0.7						
		0.0								
	0.9	1.0	0.50	0.5						
	1.1	0.8	0.90	1.0						
	0.3	1.1	0.95	0.3						
	3.8	0.0	0.55	2.1						
小計				241.2						
		0.0								
	2.9	0.9	0.45	1.3						
	0.8	0.3	0.60	0.5						
	1.4	0.8	0.55	0.8						
No.8+1.9	0.9	0.0	0.40	0.4						
		0.5								
	0.7	1.5	1.00	0.7						
		1.7								
	1.7	1.8	1.75	3.0						
	2.0	1.4	1.60	3.2						
	1.8	1.7	1.55	2.8						
		1.3								
	0.6	1.3	1.30	0.8						
	0.4	1.2	1.25	0.5						
	0.6	2.9	2.05	1.2						

計 第 15-4 表 防草コンクリート 計 算 書										
測 点	距 離	防草コンクリート								
		法 長	平 均	面 積		平 均	積		平 均	積
		2.9								
	1.8	2.7	2.80	5.0						
小計				20.2						
No.8+2.4		0.0								
	0.5	0.9	0.45	0.2						
	3.5	0.9	0.90	3.2						
小計				3.4						
		1.9								
	2.8	2.2	2.05	5.7						
	0.7	1.3	1.75	1.2						
		1.8								
	1.5	1.4	1.60	2.4						
	2.0	1.9	1.65	3.3						
小計				12.6						
合計				418.0						

排 水 工

排水工土工数量総括表

	床堀	埋戻	基面整正	備考
	砂質土,機械	Fu(D)	人力	
底張工			2.8	計第28表
1号横断溝	5.8	3.1	3.8	計第33表
2号横断溝	4.8	2.5	3.2	計第34表
1号集水桝	0.7	0.5	0.5	計第43表
2-1号集水桝				計第44表
2-2号集水桝				計第45表
3号集水桝	2.3	1.8	0.8	計第46表
8号集水桝	1.4	1.0	2.0	計第51表
9号集水桝	2.8	2.2	2.0	計第52表
12号集水桝	2.2	1.7	1.0	計第55表
13号集水桝				計第56表
14号集水桝				計第57表
15号集水桝				計第58表
16号集水桝	0.4	0.3	1.0	計第59表
17号集水桝				計第60表
18号集水桝	0.9	0.7	1.0	計第61表
19号集水桝	0.9	0.7	1.0	計第62表
20号集水桝	9.0	7.9	1.0	計第63表
21号集水桝				計第64表
22号集水桝				計第65表
23号集水桝	2.4	1.6	1.7	計第66表
24号集水桝	3.9	2.7	1.7	計第67表
25号集水桝	9.7	6.3	2.3	計第68表
26号集水桝				計第69表
27号集水桝	0.7	0.6	0.3	計第70表
計	47.9	33.6	26.1	

排水工延長調書

種 別	1号側溝	2号側溝	蓋		1号L型側溝(A)	1号L型側溝(B)	1号L型側溝(C)	
	FG300×300	FG400×400	PC4-B300	PC4-B400				
測 点								
No.0								
No.0+6.5						4.3		
BC.1						4.9		
SP.1					4.4	1.1	1.0	
EC.1					0.1	4.4	2.0	
BC.2					9.8			
No.2	2.5				2.2		1.0	
SP.2	6.1							
EC.2	12.9		(4.0+1.7) 5.7					
SP.3	6.8		6.8					
EC.3	5.8							
No.4	11.5		4.6					
BC.4	15.4		0.4					
No.5	4.9							
SP.4	21.9		(3.0+3.5) 6.5					
No.7	21.6							
EC.4	5.5							
No.8								
No.8+9.0								
合計	114.9		24.0		16.5	14.7	4.0	

排水工延長調書

種 別	1号水路	1号分水工	2号水路	蓋	2号分水工	3号水路	4号水路	底張工
	KF300	KF300用	KF350	KF350用	KF350用	現場打	現場打	
						300×300～400	300×300～430	
測 点								
No.0								
No.0+6.5						1.0		
BC.1						4.9		
SP.1						8.1		
EC.1						(1.1+0.9) 2.0		
BC.2						9.8		
No.2						(1.1+1.4) 2.5		
SP.2						3.2		
EC.2						(1.8+3.6) 5.4		
SP.3						7.5		
EC.3						1.7		
No.4						(7.3+3.3) 10.6		
BC.4						15.5		
No.5							4.2	
SP.4							18.5	
No.7							17.5	
EC.4							5.2	
No.8							12.6	
No.8+9.0	1.1							6.3
No.8+13.0								3.3
合計	1.1					72.2	58.0	9.6

計第 16-3-1 表

排水工延長調書

種 別	5号水路	6号水路	1号L型水路	2号L型水路	1号横断溝	2号横断溝		
			現場打	現場打				
			300×400	300×500				
測 点								
No.0								
No.0+6.5			0.8					
BC.1								
SP.1								
EC.1					6.0			
BC.2								
No.2	1.0					5.0		
SP.2								
EC.2								
SP.3								
EC.3								
No.4		1.0						
BC.4								
No.5								
SP.4								
No.7								
EC.4								
No.8								
No.8+9.0								
合計	1.0	1.0	0.8		6.0	5.0		

計第 16-4-1 表

排水工延長調書

種 別	1号管渠工	2号管渠工	3号管渠工	4号管渠工	5号管渠工	6号管渠工	7号管渠工	8号管渠工
	HP φ 150	HP φ 200	HP φ 250	HP φ 300	HP φ 600	HP φ 300	HP φ 350	HP φ 600
	重圧管	重圧管	重圧管	重圧管	重圧管	重圧管	90° 基礎	180° 基礎
測 点								
No.0								
No.0+6.5								
BC.1								
SP.1								
EC.1		1.9		4.0				
BC.2								
No.2								
SP.2								
EC.2				9.2				
SP.3				0.5				
EC.3				5.3				
No.4			1.8					
BC.4								
No.5								
SP.4	3.2							
No.7								
EC.4								
No.8				0.8				
No.8+9.0				2.8	8.0			
No.8+13.0				5.9				
合計	3.2	1.9	1.8	28.5	8.0			

排水工延長調書

種 別	HP φ 150	HP φ 300	HP φ 400					
測 点								
No.0								
No.0+6.5								
BC.1								
SP.1								
EC.1		0.6						
BC.2								
No.2								
SP.2								
EC.2								
SP.3								
EC.3								
No.4								
BC.4								
No.5								
SP.4								
No.7								
EC.4								
No.8								
No.8+9.0								
No.8+13.0								
合計		0.6						

排水工延長調書

種 別	1号集水桝	2-1号集水桝	2-2号集水桝	3号集水桝	4号集水桝	5号集水桝	6号集水桝	7号集水桝
測 点								
No.0								
No.0+6.5								
BC.1								
SP.1								
EC.1				1.0				1.0
BC.2								
No.2	1.0							
SP.2								
EC.2								
SP.3								
EC.3								
No.4								
BC.4								
No.5								
SP.4								
No.7								
EC.4								
No.8								
No.8+9.0								
合計	1.0			1.0				1.0

排水工延長調書

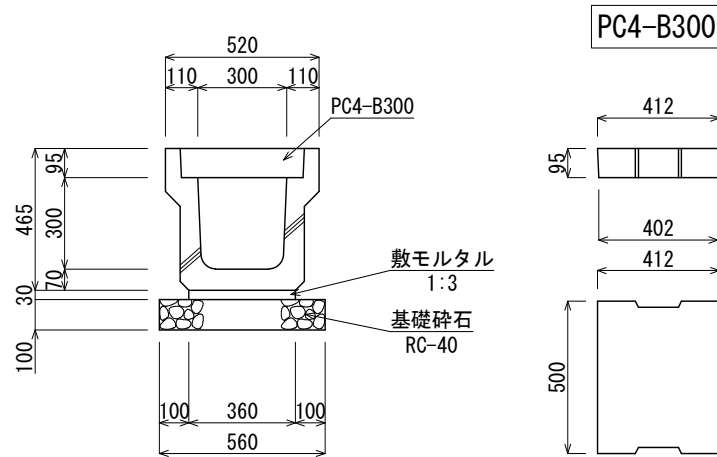
種 別	8号集水桝	9号集水桝	10号集水桝	11号集水桝	12号集水桝	13号集水桝	14号集水桝	15号集水桝
測 点								
No.0								
No.0+6.5								
BC.1								
SP.1								
EC.1								
BC.2								
No.2	1.0							
SP.2								
EC.2								
SP.3		1.0						
EC.3								
No.4	1.0							
BC.4								
No.5								
SP.4								
No.7								
EC.4								
No.8		1.0						
No.8+9.0			1.0	1.0				
No.8+13.0					1.0			
合計	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0			

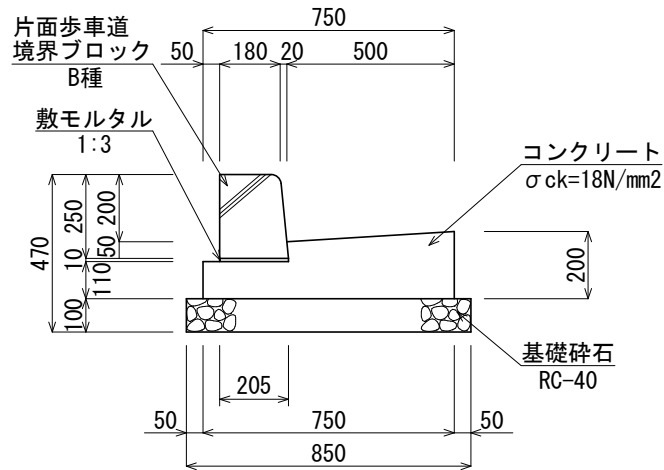
排水工延長調書

種 別	16号集水桝	17号集水桝	18号集水桝	19号集水桝	20号集水桝	21号集水桝	22号集水桝	23号集水桝
測 点								
No.0								
No.0+6.5								
BC.1								
SP.1								
EC.1				1.0				
BC.2								
No.2								
SP.2								
EC.2	1.0				1.0			
SP.3								
EC.3			1.0					
No.4								
BC.4								
No.5								
SP.4								
No.7								
EC.4								
No.8								
No.8+9.0								1.0
合計	1.0		1.0	1.0	1.0			1.0

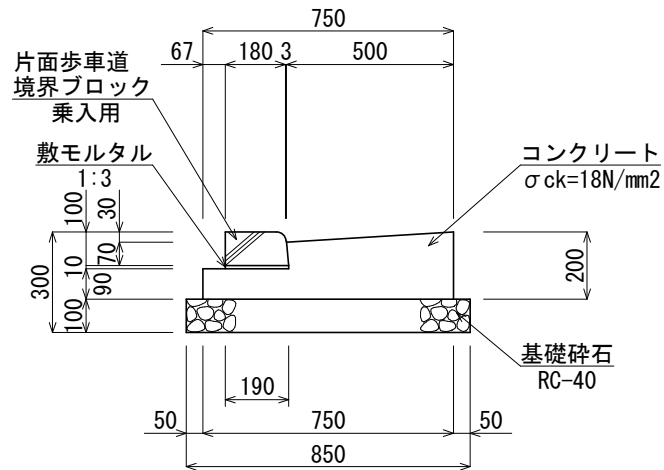
排水工延長調書

種 別	24号集水桝	25号集水桝	26号集水桝	27号集水桝				
測 点								
No.0								
No.0+6.5	1.0							
BC.1								
SP.1								
EC.1				1.0				
BC.2								
No.2								
SP.2								
EC.2								
SP.3								
EC.3								
No.4								
BC.4								
No.5								
SP.4								
No.7								
EC.4								
No.8								
No.8+9.0		1.0						
合計	1.0	1.0		1.0				

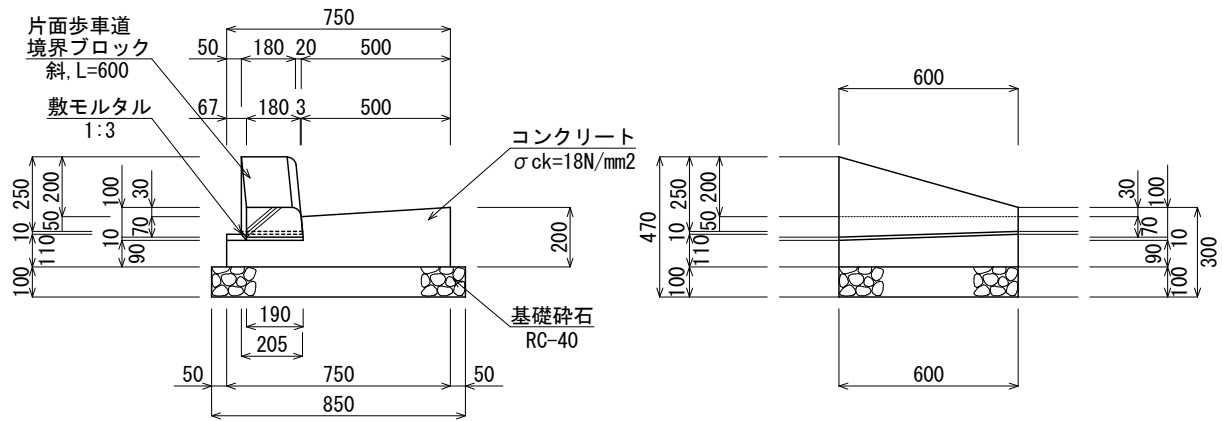
[illegible]



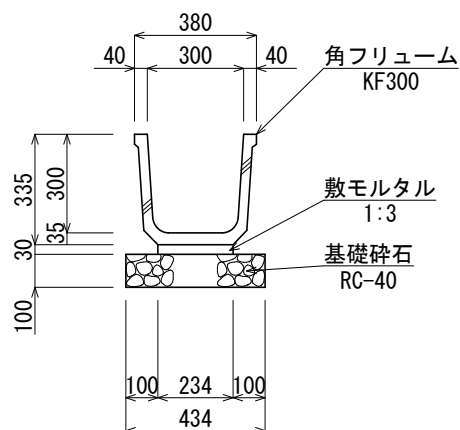
名 称	規 格	算 式	10m当り 数 量	延 長 箇 所	数 量
片面歩車道 境界ブロック	B種	「広島県制定土木構造物標準設計図集」より	16.5		個
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	〃	1.198		m ³
型枠		〃	3.10		m ³
敷モルタル	1:3	$0.205 \times 0.01 \times 10.00$	0.021		m ³
基礎砕石	RC-40, t=100	「広島県制定土木構造物標準設計図集」より	8.50		m ²
床掘	砂質土・機械	土工で計上			
埋戻	Fu(D)	〃			
基面整正	人力	〃			

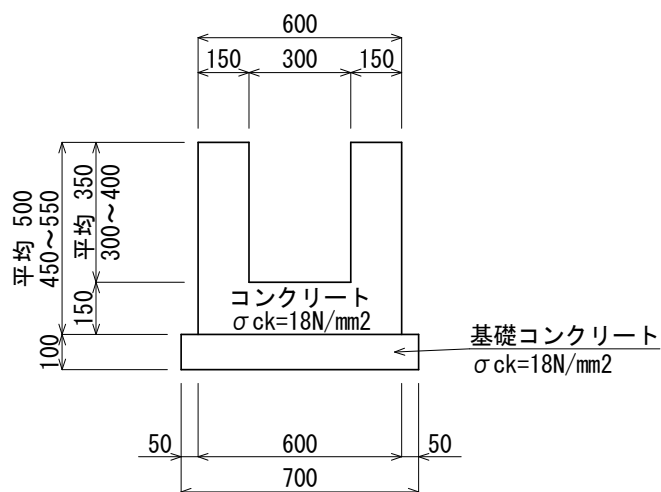


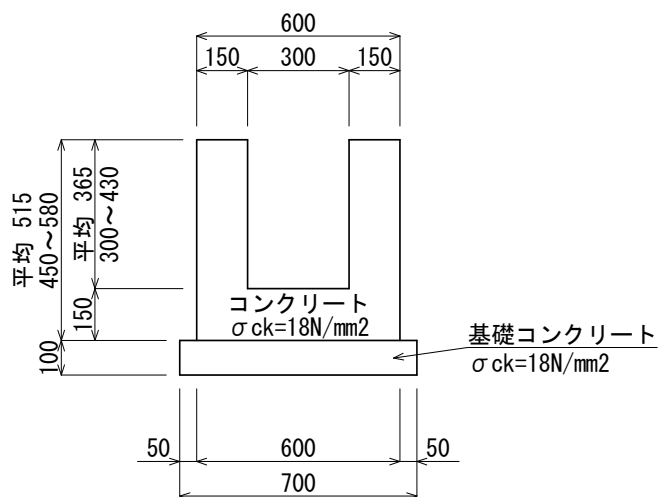
名 称	規 格	算 式	10m当り 数 量	延 長 箇 所	数 量
片面歩車道 境界ブロック	乗入用	10.00/0.605	16.5		個
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$\{(0.20+0.07+0.01+0.09)/2 \times 0.50 + 0.09 \times (0.067+0.18+0.003)\} \times 10.00$	1.150		m3
型枠		$(0.20+0.09) \times 10.00$	2.90		m2
敷モルタル	1:3	$0.19 \times 0.01 \times 10.00$	0.019		m3
基礎碎石	RC-40, t=100	0.85×10.00	8.50		m2
床掘	砂質土・機械	土工で計上			
埋戻	Fu(D)	"			
基面整正	人力	"			

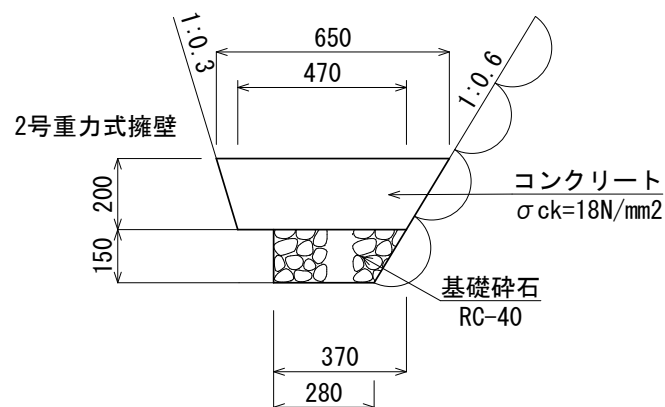


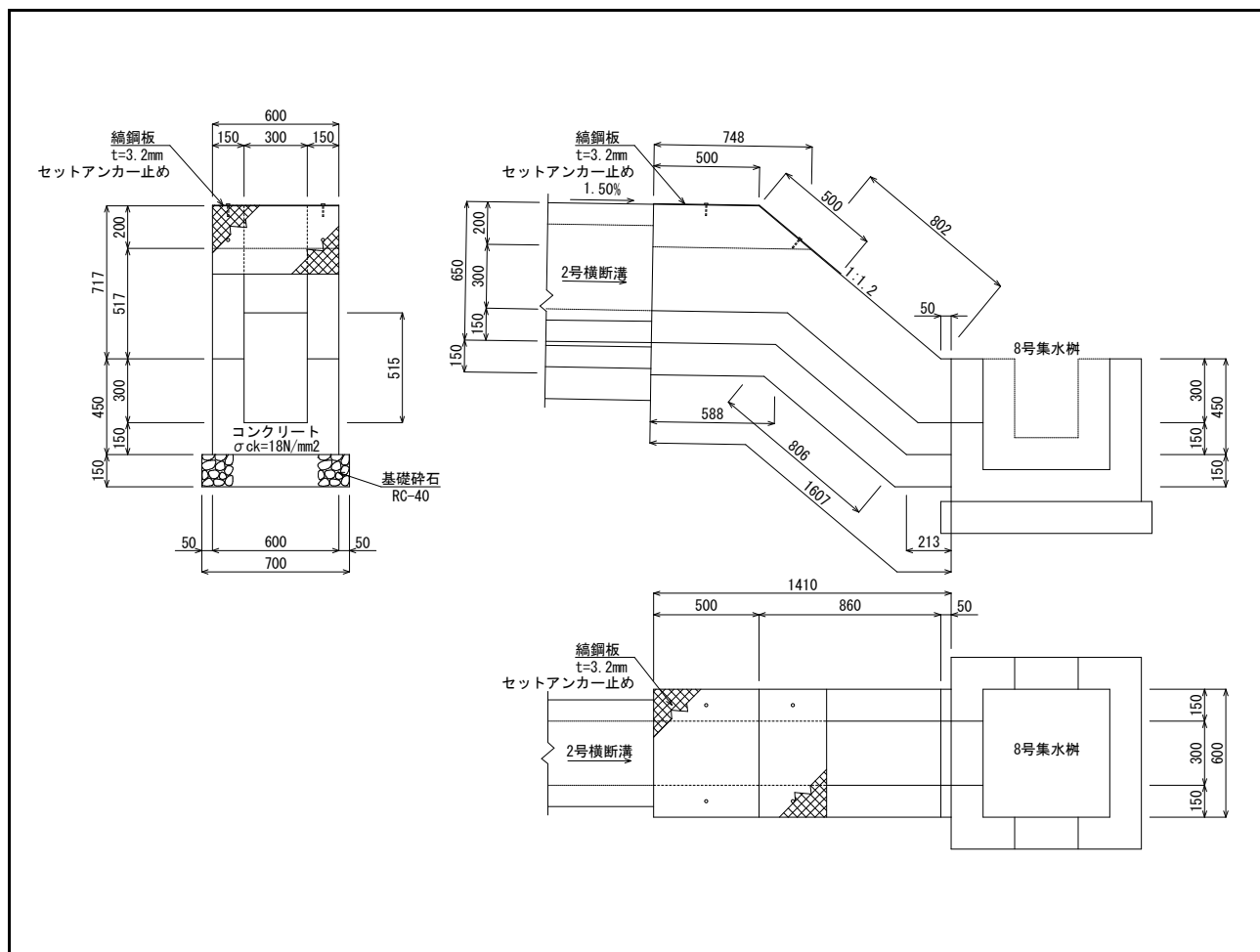
名 称	規 格	算 式	1箇所当り 数 量	延 長 箇 所	数 量
片面歩車道 境界ブロック	斜, L=600		1.0		個
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$\{(0.20+0.09+0.01+0.07)/2 \times 0.50 + (0.09+0.11)/2 \times (0.067+0.18+0.003)\} \times 0.60$	0.071		m3
型枠		$\{(0.09+0.11)/2+0.20\} \times 0.60$	0.18		m2
敷モルタル	1:3	$(0.19+0.205)/2 \times 0.01 \times 0.60$	0.001		m3
基礎碎石	RC-40, t=100	0.85×0.60	0.51		m2
床堀	砂質土・機械	土工で計上			
埋戻	Fu(D)	"			
基面整正	人力	"			

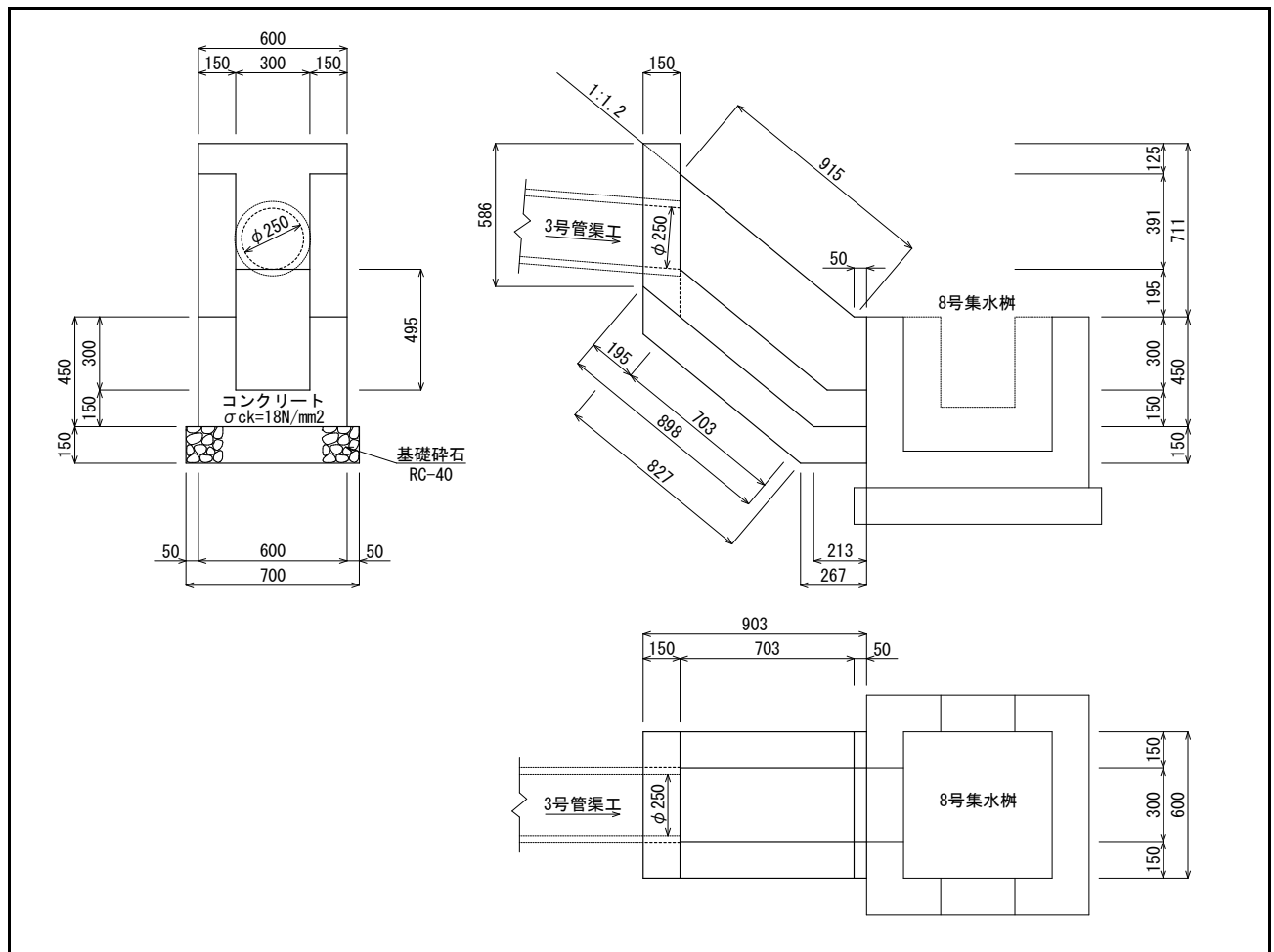
[illegible]

[illegible]

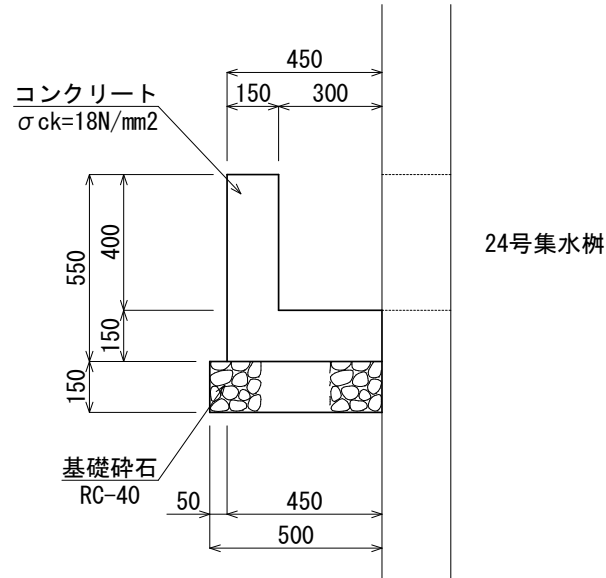
[illegible]

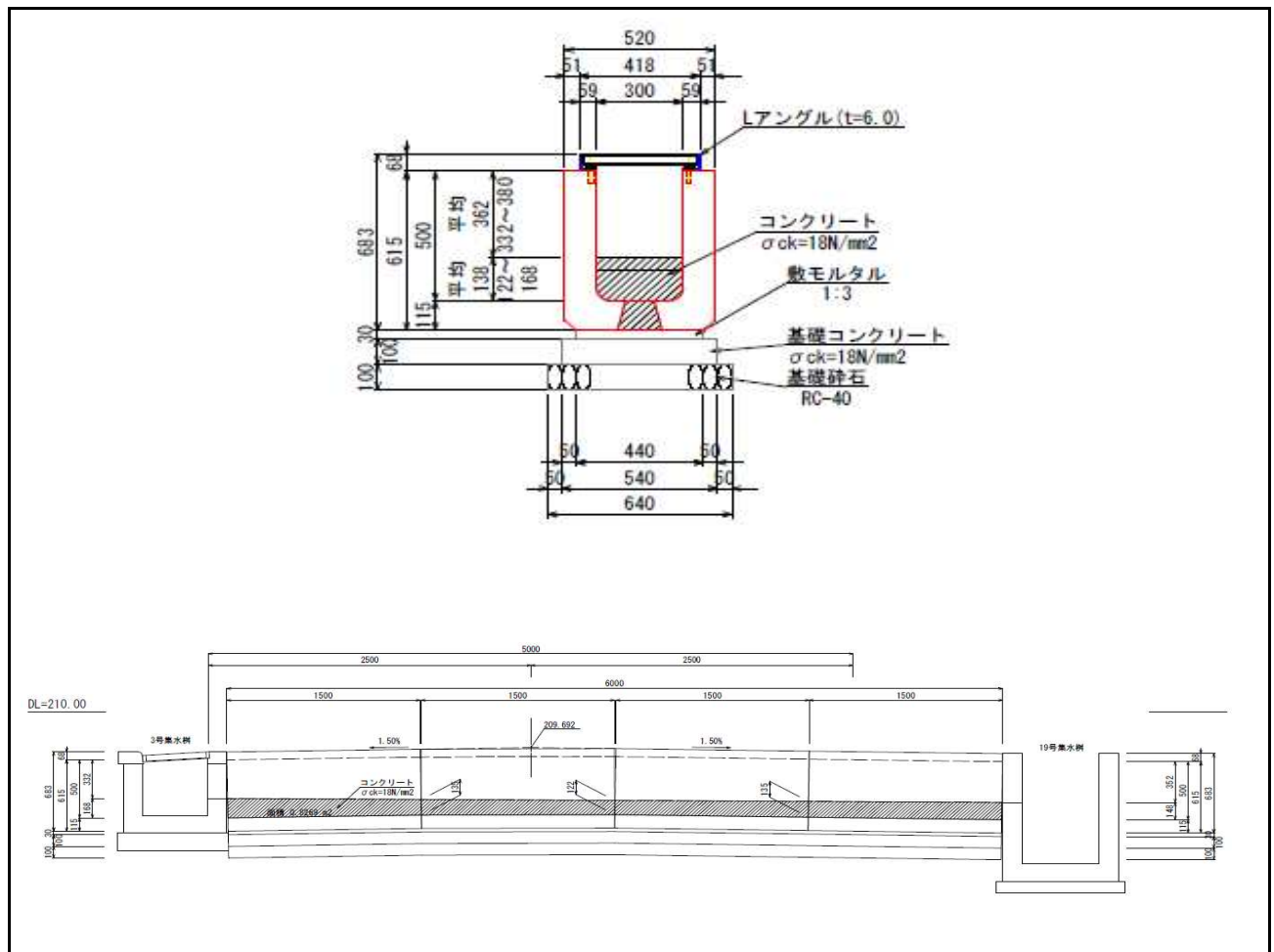
[illegible]

[illegible]

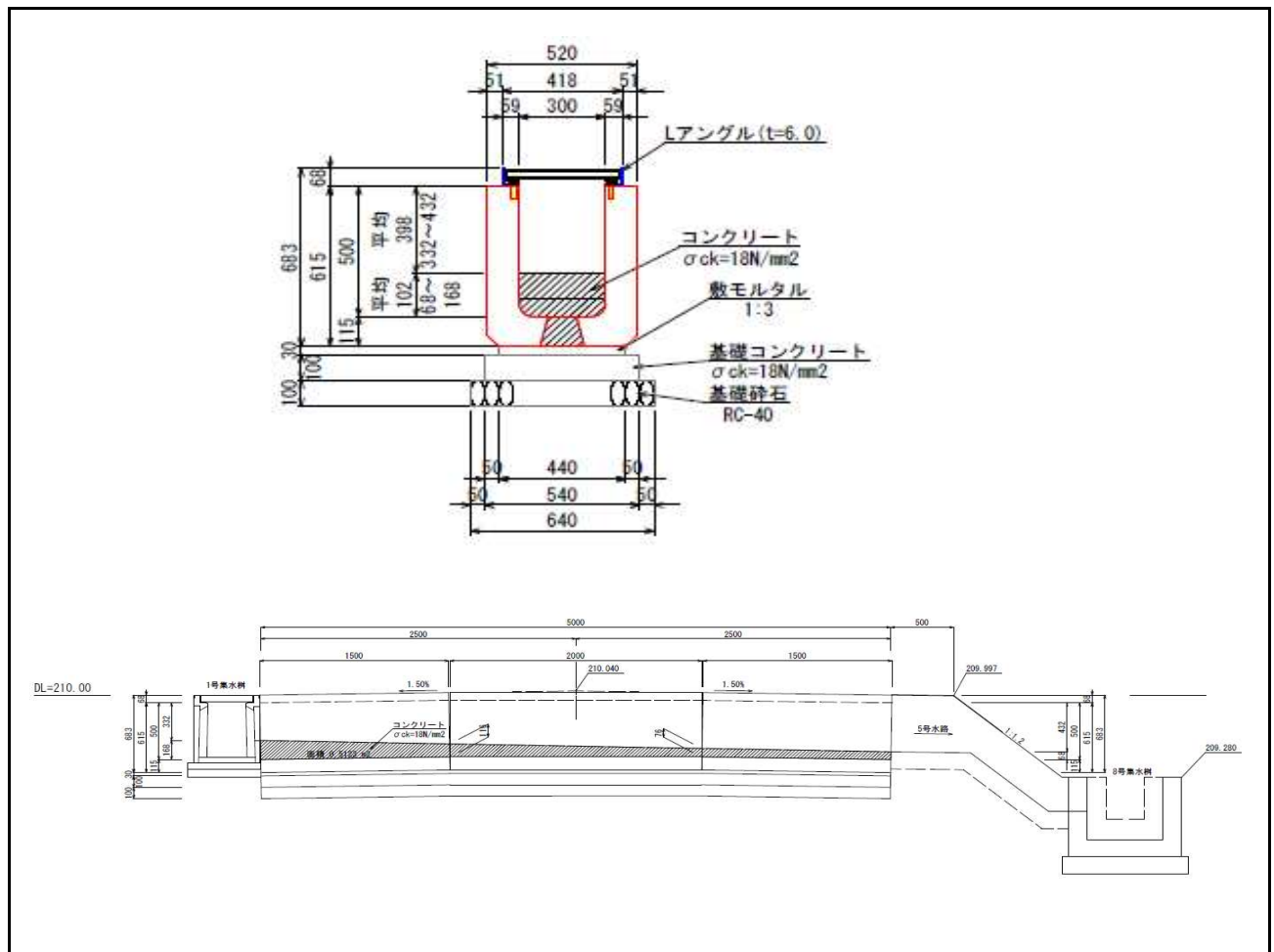


名 称	規 格	算 式	1箇所当り 数 量	延 長 箇 所	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$(0.60 \times 0.45 - 0.30 \times 0.30) \times$ $(0.915 + 0.05 + 0.703 + 0.213) / 2$ $+ 0.15 \times (0.586 + 0.711) / 2 \times 0.60$	0.228	1.00	0.228 m3
型枠	小型 I	$(0.915 + 0.05 + 0.703 + 0.213) / 2 \times 0.45 \times 4$ $+ 0.30 \times 0.391 + 0.60 \times (0.586 + 0.125)$ $+ (0.586 + 0.711) / 2 \times 0.15 \times 2$	2.43		2.43 m2
基礎碎石	RC-40, t=150	$(0.989 + 0.213 + 0.827 + 0.267) / 2 \times 0.70$	0.80		0.80 m2
床堀	砂質土・機械	土工計上なし			
埋戻	Fu(D)	"			
基面整正	人力	"			

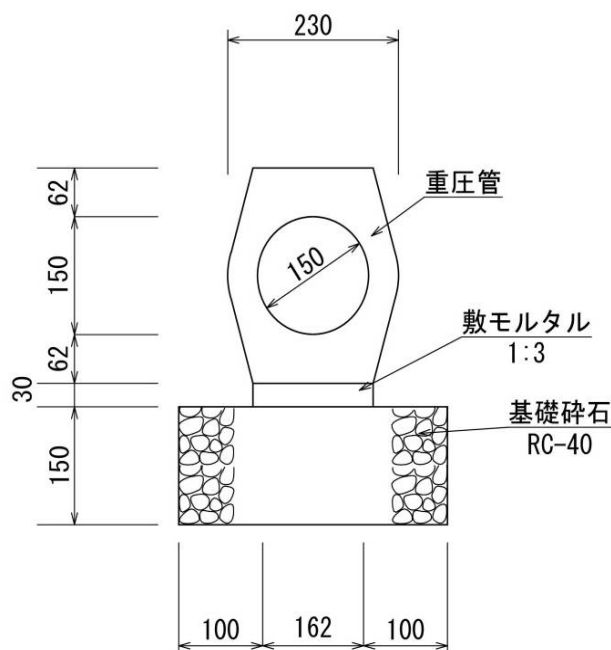
[illegible]

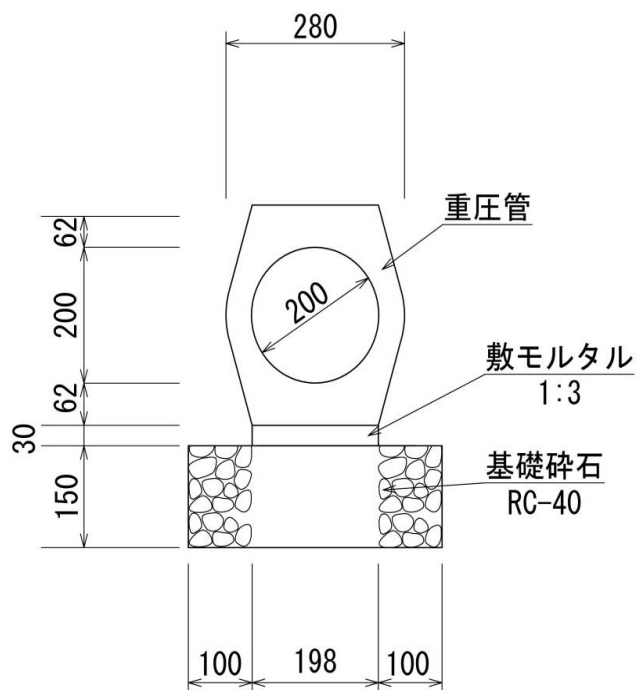


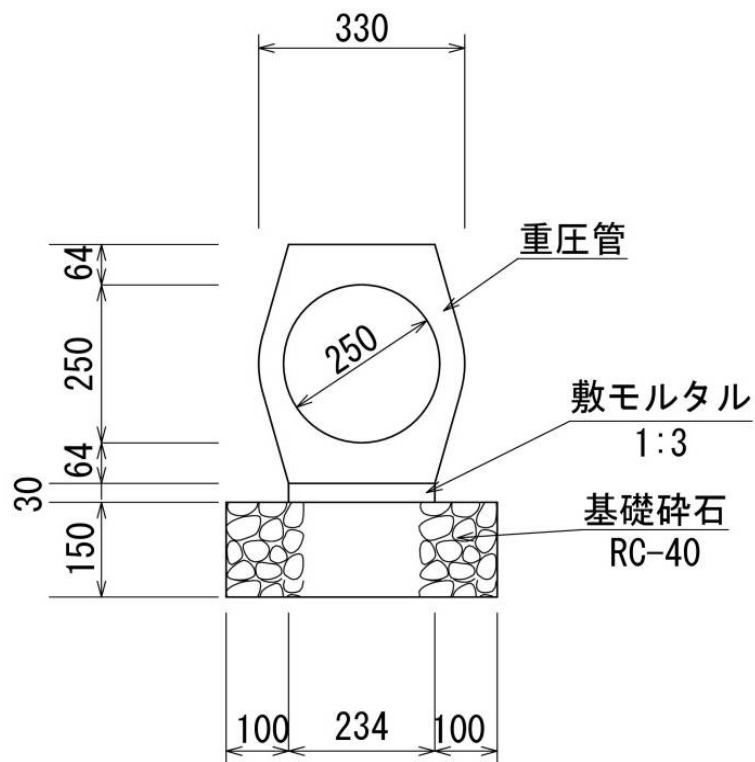
名 称	規 格	算 式	1箇所当り 数 量	延 長 所 箇 所	数 量
横断工	W300×h500 L=1.500		4.0		個
					個
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$		0.247		m3
敷モルタル	1:3	$0.03 \times 0.44 \times 6.00$	0.079		m3
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.54 \times 0.10 \times 6.00$	0.324		m3
基礎コン型枠		$0.10 \times 2 \times 6.00$	1.20		m2
基礎砕石	RC-40, t=100	0.64×6.00	3.84		m2
床堀	砂質土・機械	$0.85 \times 1.14 \times 6.00$	5.8		m3
埋戻	Fu(D)	$5.8 - (0.65 \times 0.50 + 0.64 \times 0.20) \times 6.00$	3.1		m3
基面整正	人力	0.64×6.00	3.8		m2

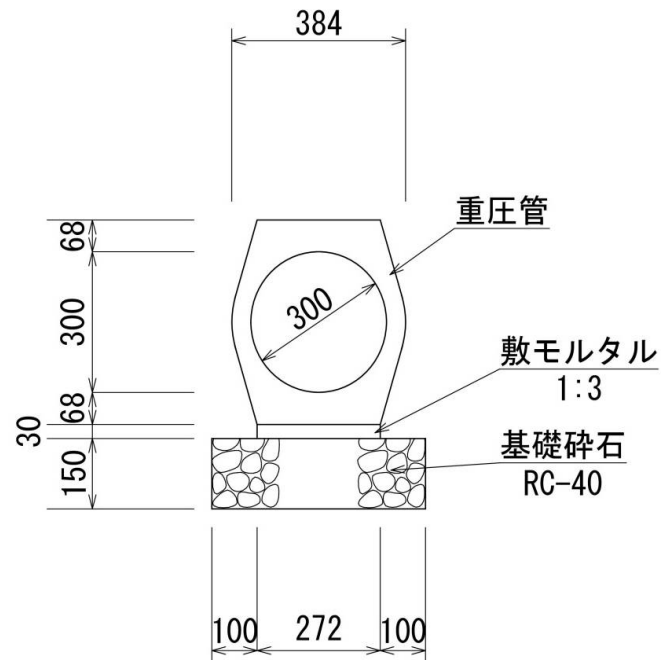


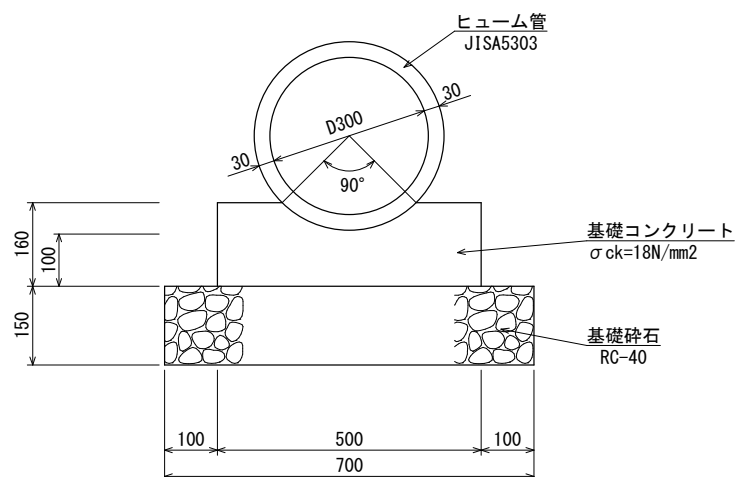
名 称	規 格	算 式	1箇所当り 数 量	延 長 所 箇 所	数 量
横断工	W300×h500 L=2.000		1.0		個
横断工	W300×h500 L=1.500		2.0		個
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$		0.154		m ³
敷モルタル	1:3	$0.03 \times 0.44 \times 5.00$	0.066		m ³
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.54 \times 0.10 \times 5.00$	0.270		m ³
基礎コン型枠		$0.10 \times 2 \times 5.00$	1.00		m ²
基礎砕石	RC-40, t=100	0.64×5.00	3.20		m ²
床堀	砂質土・機械	$0.85 \times 1.14 \times 5.00$	4.8		m ³
埋戻	Fu(D)	$4.8 - (0.65 \times 0.50 + 0.64 \times 0.20) \times 5.00$	2.5		m ³
基面整正	人力	0.64×5.00	3.2		m ²

[illegible]

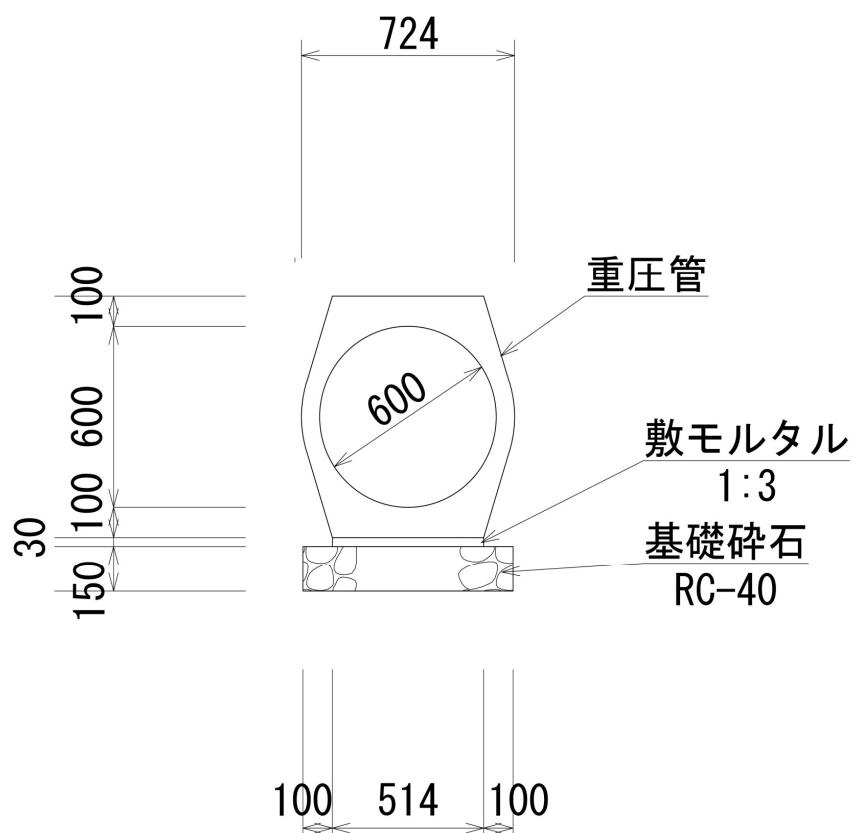
[illegible]

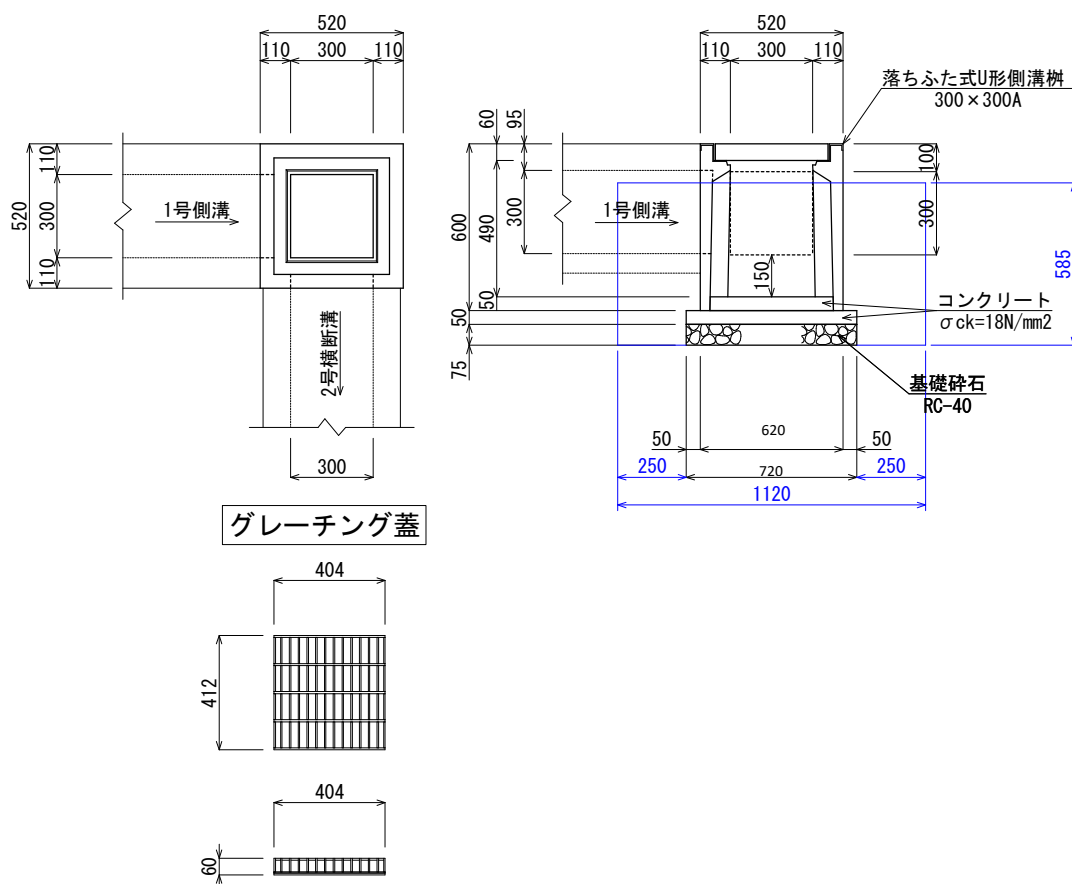
[illegible]

[illegible]

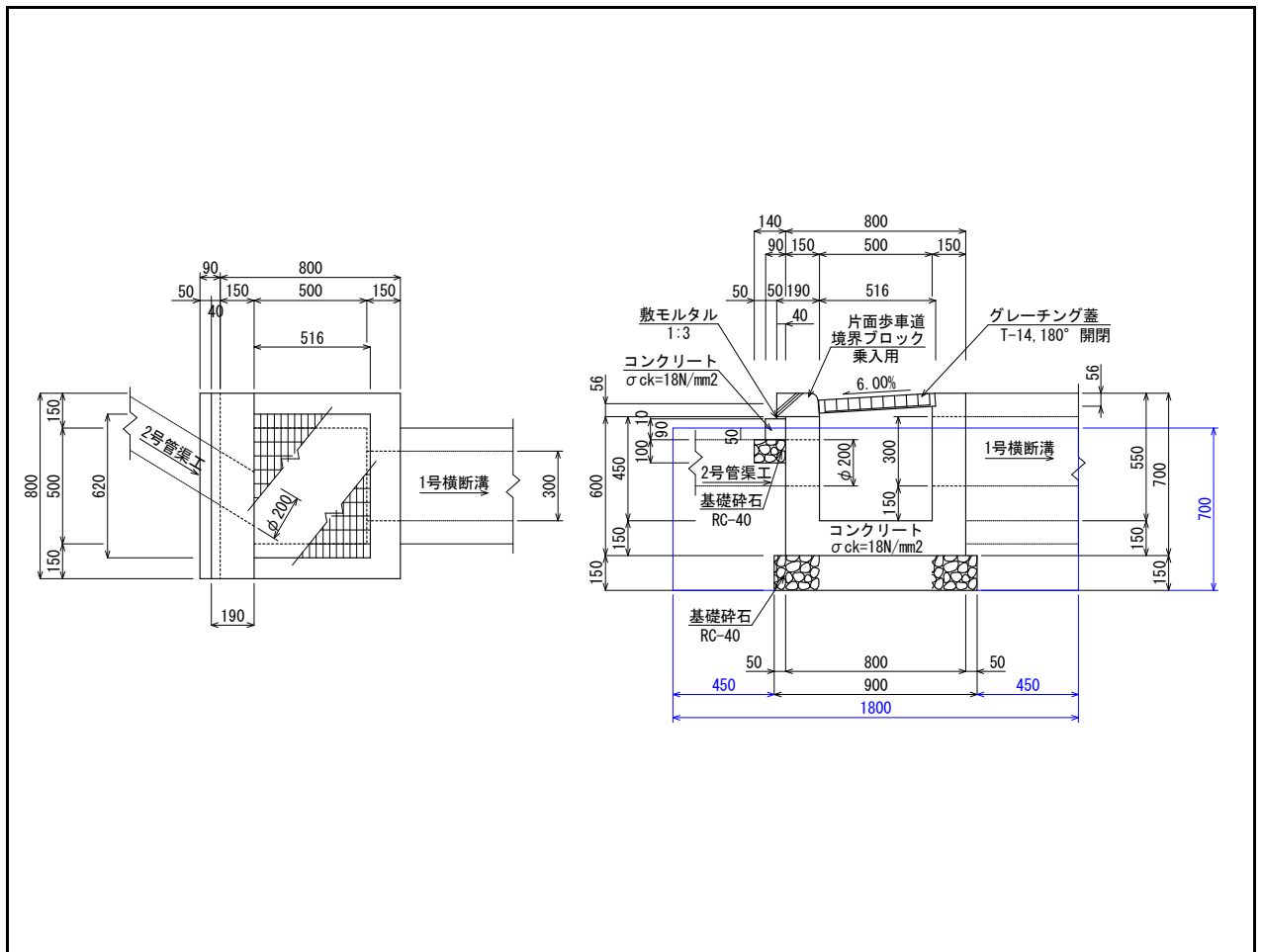


名 称	規 格	算 式	10m当り 数 量	延 長 所	数 量
ヒューム管	P1-RC-D300	「広島県制定土木構造物標準設計図集」より	5.0		本
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	〃	0.688		m3
型枠	小型 I	〃	3.20		m2
基礎砕石	RC-40, t=150	〃	7.00		m2
床堀	砂質土・機械	土工で計上			
埋戻	Fu(D)	〃			
基面整正	人力	〃			

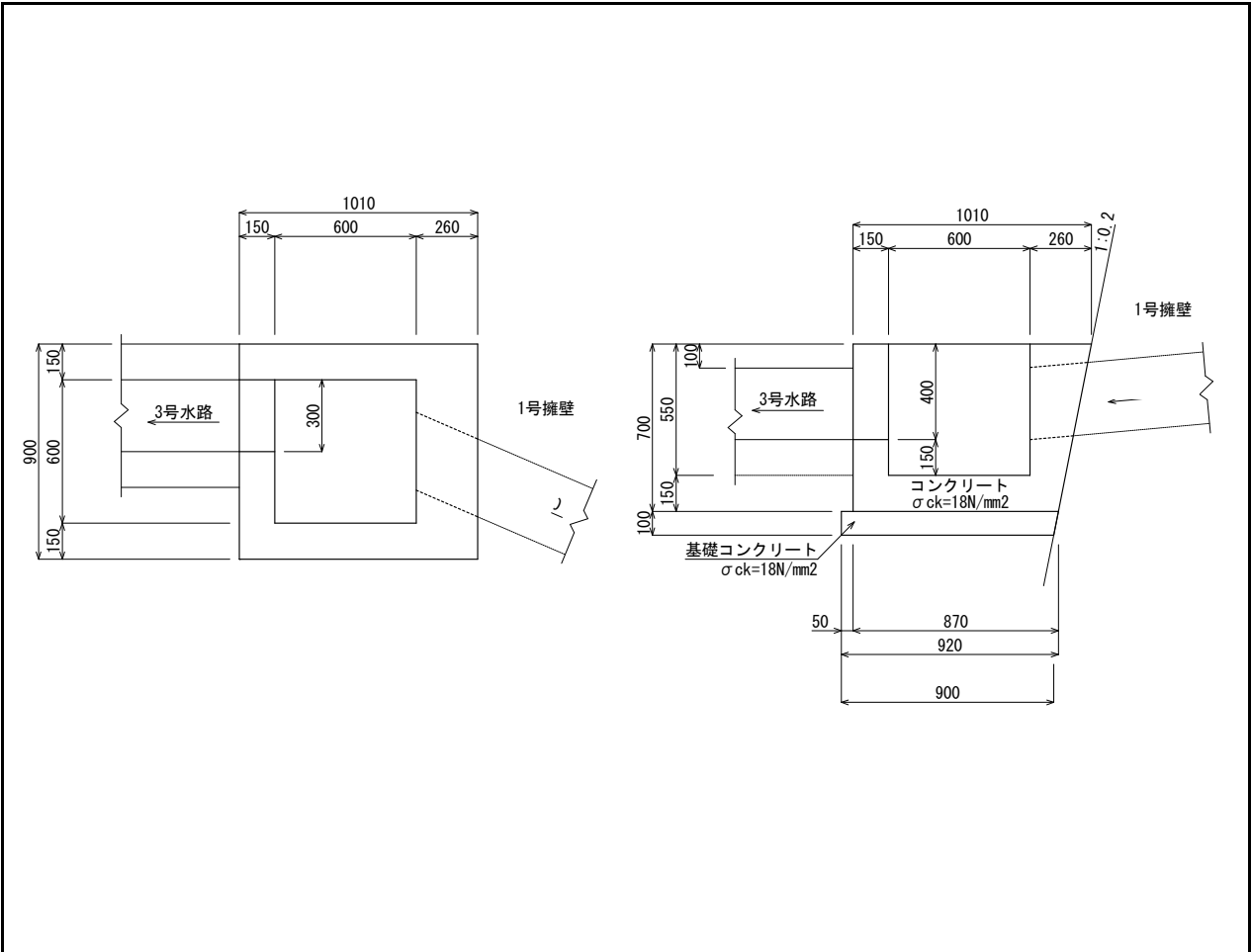
[illegible]



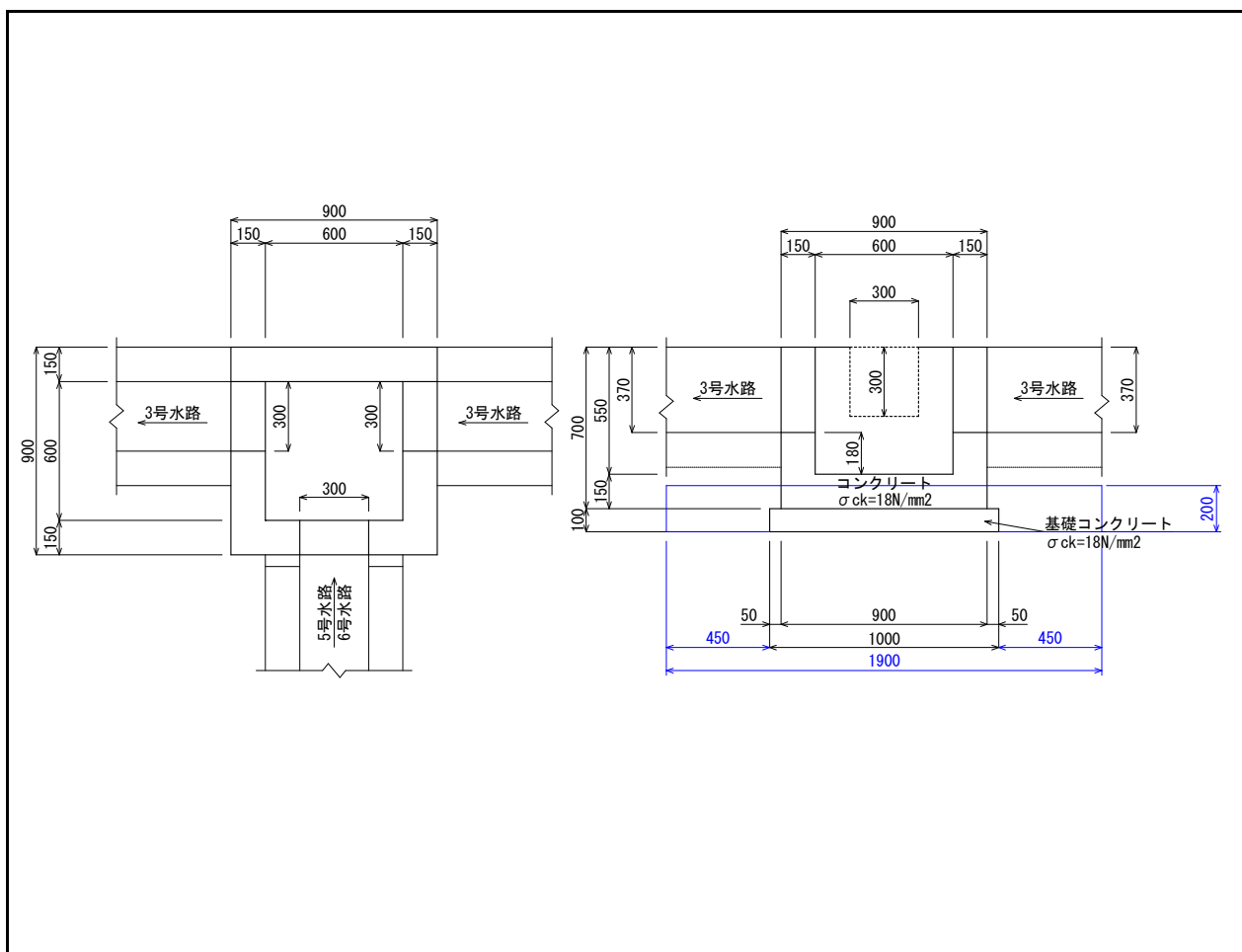
名 称	規 格	算 式	1箇所当り 数 量	延 長 所	数 量
落ちふた式 U形側溝枠	300×300A		1. 0		箇所
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.30 \times 0.30 \times 0.05$	0. 005		m3
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.62 \times 0.62 \times 0.05$	0. 019		m3
基礎コン型枠		$0.62 \times 0.05 \times 4$	0. 12		m2
基礎砕石	RC-40, t=75	0.72×0.72	0. 52		m2
床堀	砂質土・機械	$1.12 \times 1.12 \times 0.585$	0. 7		m3
埋戻	Fu(D)	$0.7 - (0.72 \times 0.72 \times 0.125 + 0.52 \times 0.52 \times 0.46)$	0. 5		m3
基面整正	人力	0.72×0.72	0. 5		m2



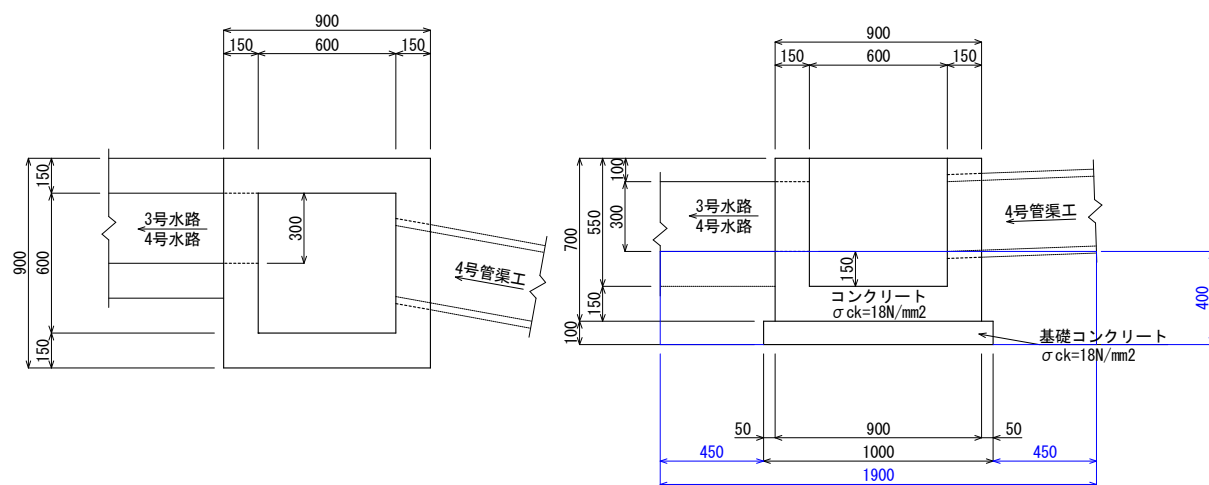
名 称	規 格	算 式	1箇所当り 数 量	延 長 箇 所	数 量
コンクリート	σ ck=18N/mm2	$0.80 \times 0.80 \times (0.656 + 0.70) / 2$ $- 0.50 \times 0.50 \times (0.45 + 0.494) / 2$ $- 0.516 \times 0.620 \times 0.056 - 0.80 \times 0.15 \times 0.056$	0.291		m3
型枠	小型Ⅱ	$(0.80 + 0.50) \times (0.656 + 0.70) / 2 \times 4$ $- (0.80 + 0.15) \times 0.056 \times 2$	3.42		m2
基礎碎石	RC-40, t=150	0.90×0.90	0.81		m2
片面歩車道 境界ブロック	乗入用	$0.80 / 0.605$	1.3		個
コンクリート	σ ck=18N/mm2	$0.09 \times 0.09 \times 0.80$	0.006		m3
型枠		0.09×0.80	0.07		m2
敷モルタル	1:3	$0.04 \times 0.01 \times 0.80$	0.0003		m3
基礎碎石	RC-40, t=100	0.14×0.80	0.11		m2
グレーチング蓋	T-14, 180° 開閉	500×500桝用枠付	1.0		枚
床堀	砂質土・機械	$1.8 \times 1.8 \times 0.7$	2.3		m3
埋戻	Fu(D)	$2.3 - (0.9 \times 0.9 \times 0.15 + 0.8 \times 0.8 \times 0.55) - (0.09 \times$ $0.05 + 0.14 \times 0.10) \times 0.80$	1.8		m3
基面整正	人力	0.9×0.9	0.8		m2



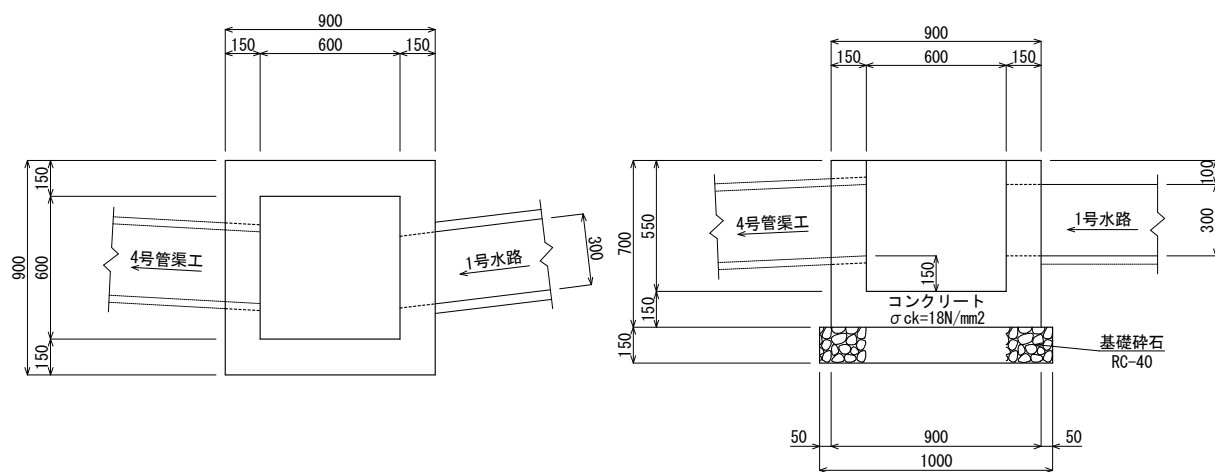
名 称	規 格	算 式	1箇所当り 数 量	延 長 箇 所	数 量
コンクリート	σ ck=18N/mm2	$(1.01+0.87)/2 \times 0.90 \times 0.70 - 0.60 \times 0.60 \times 0.55$	0.394		m3
型枠	小型Ⅱ	$\{(1.01+0.87)/2 \times 2 + 0.90 + 0.60 \times 4\} \times 0.70 - 0.30 \times 0.40 \times 2 + (0.30 + 0.40 \times 2) \times 0.15$	3.55		m2
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm2	$(0.92+0.90)/2 \times 1.00 \times 0.10$	0.091		m3
基礎コン型枠		$\{(0.92+0.90)/2 \times 2 + 1.00\} \times 0.10$	0.28		m2
床堀	砂質土・機械	土工計上なし			
埋戻	Fu(D)	〃			
基面整正	人力	〃			



名 称	規 格	算 式	1箇所当り 数 量	延 長 箇 所	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.90 \times 0.90 \times 0.70 - 0.60 \times 0.60 \times 0.55$ $- (0.30 \times 0.37 \times 0.10) \times 2$	0.347		m3
型枠	小型Ⅱ	$(0.90 + 0.60) \times 0.70 \times 4 - 0.30 \times 0.37 \times 2$ $- 0.30 \times 0.37 \times 4 + (0.30 \times 2 + 0.37 \times 4) \times 0.15$	3.85		m2
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$1.00 \times 1.00 \times 0.10$	0.100		m3
基礎コン型枠		$1.00 \times 0.10 \times 4$	0.40		m2
床堀	砂質土・機械	$1.9 \times 1.9 \times 0.2$	0.7	2.0	1.4 m3
埋戻	Fu(D)	$0.7 - (1.0 \times 1.0 \times 0.1 + 0.9 \times 0.9 \times 0.1)$	0.5	2.0	1.0 m3
基面整正	人力	1.0×1.0	1.0	2.0	2.0 m2

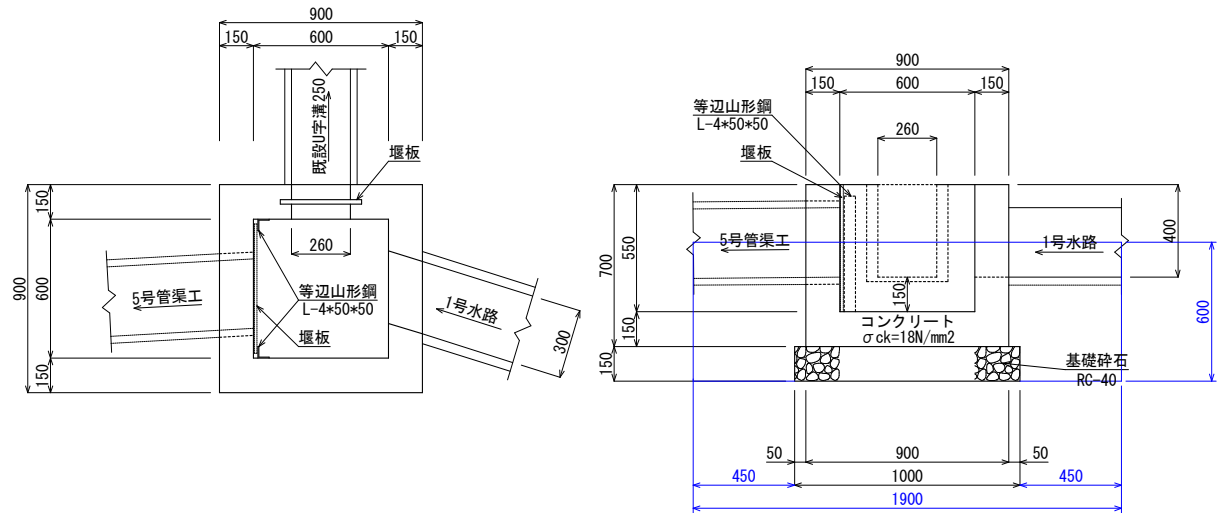


名 称	規 格	算 式	1箇所当り 数 量	延 長 箇 所	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.90 \times 0.90 \times 0.70 - 0.60 \times 0.60 \times 0.55$	0.369		m3
型枠	小型Ⅱ	$(0.90 + 0.60) \times 0.70 \times 4$	4.20		m2
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$1.00 \times 1.00 \times 0.10$	0.100		m3
基礎コン型枠		$1.00 \times 0.10 \times 4$	0.40		m2
床堀	砂質土・機械	$1.9 \times 1.9 \times 0.4$	1.4	2.0	2.8 m3
埋戻	Fu(D)	$1.4 - (1.0 \times 1.0 \times 0.1 + 0.9 \times 0.9 \times 0.3)$	1.1	2.0	2.2 m3
基面整正	人力	1.0×1.0	1.0	2.0	2.0 m2

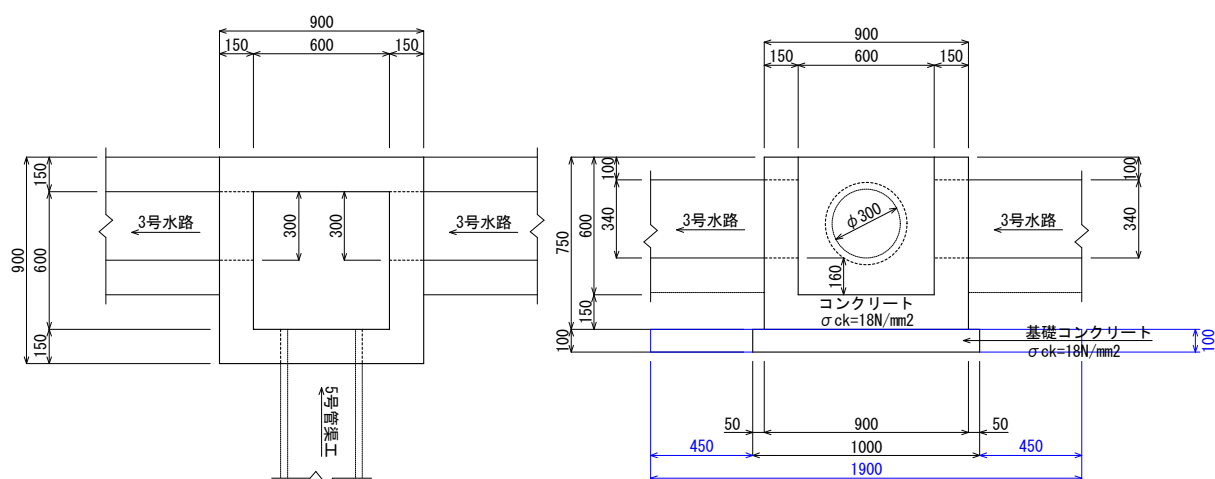


名 称	規 格	算 式	1箇所当り 数 量	延 長 箇 所	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.90 \times 0.90 \times 0.70 - 0.60 \times 0.60 \times 0.55$	0.369		m ³
型枠	小型Ⅱ	$(0.90 + 0.60) \times 0.70 \times 4$	4.20		m ²
基礎碎石	RC-40, t=150	1.00×1.00	1.00		m ²
床堀	砂質土・機械	土工計上なし			
埋戻	Fu(D)	〃			
基面整正	人力	〃			

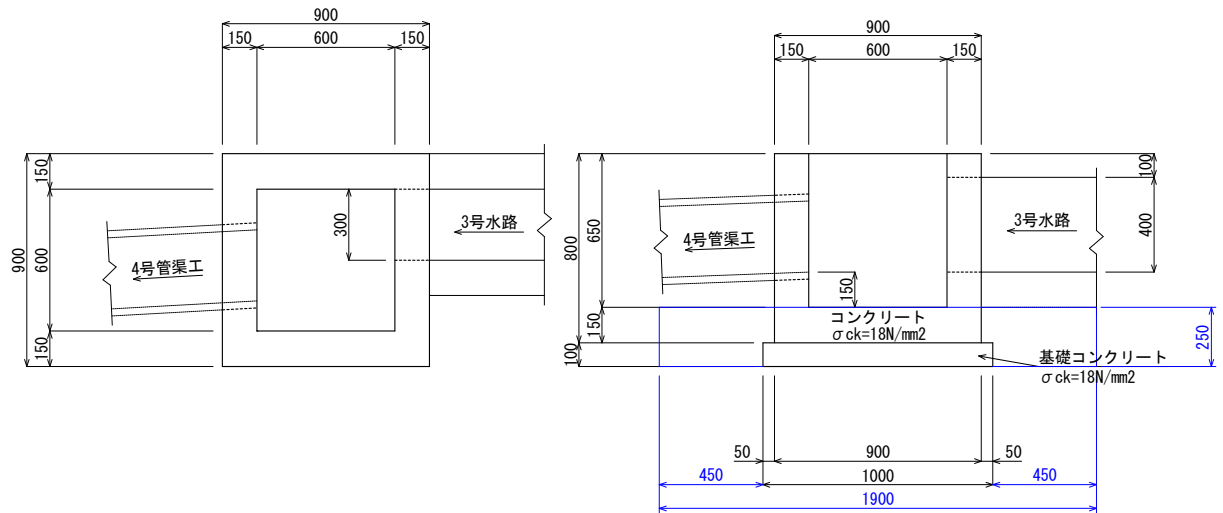
名 称	規 格	算 式	1箇所当り 数 量	延 長 箇 所	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.90 \times 0.90 \times 0.70 - 0.60 \times 0.60 \times 0.55$	0.369		m3
型枠	小型Ⅱ	$(0.90 + 0.60) \times 0.70 \times 4$	4.20		m2
基礎碎石	RC-40, t=150	1.00×1.00	1.00		m2
床堀	砂質土・機械	土工計上なし			
埋戻	Fu(D)	"			
基面整正	人力	"			



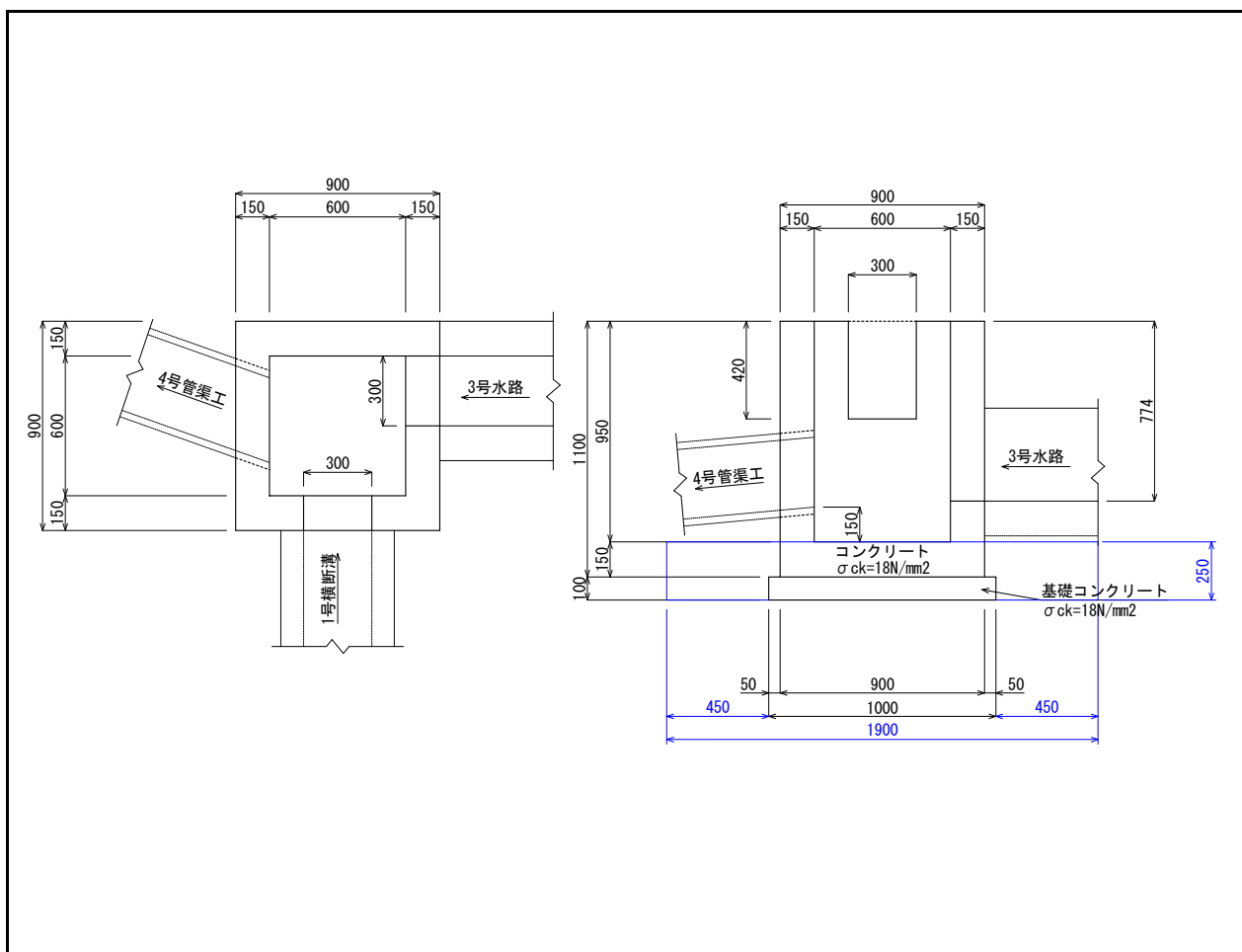
名 称	規 格	算 式	1箇所当り 数 量	延 長 箇 所	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.90 \times 0.90 \times 0.70 - 0.60 \times 0.60 \times 0.55$ $- 0.26 \times 0.40 \times 0.15 - 0.30 \times 0.40 \times 0.15$	0.335		m ³
型枠	小型Ⅱ	$(0.90 + 0.60) \times 0.70 \times 4 - 0.26 \times 0.40 \times 2$ $- 0.30 \times 0.40 \times 2 + (0.26 + 0.40 \times 2) \times 0.15$ $+ (0.30 + 0.40 \times 2) \times 0.15$	4.08		m ²
基礎碎石	RC-40, t=150	1.00×1.00	1.00		m ²
等辺山形鋼	L-4*50*50 (3.06kg/m), L=0.50m		2.0		ヶ所
床堀	砂質土・機械	$1.9 \times 1.9 \times 0.6$	2.2		m ³
埋戻	Fu(D)	$2.2 - (1.0 \times 1.0 \times 0.15 + 0.9 \times 0.9 \times 0.45)$	1.7		m ³
基面整正	人力	1.0×1.0	1.0		m ²



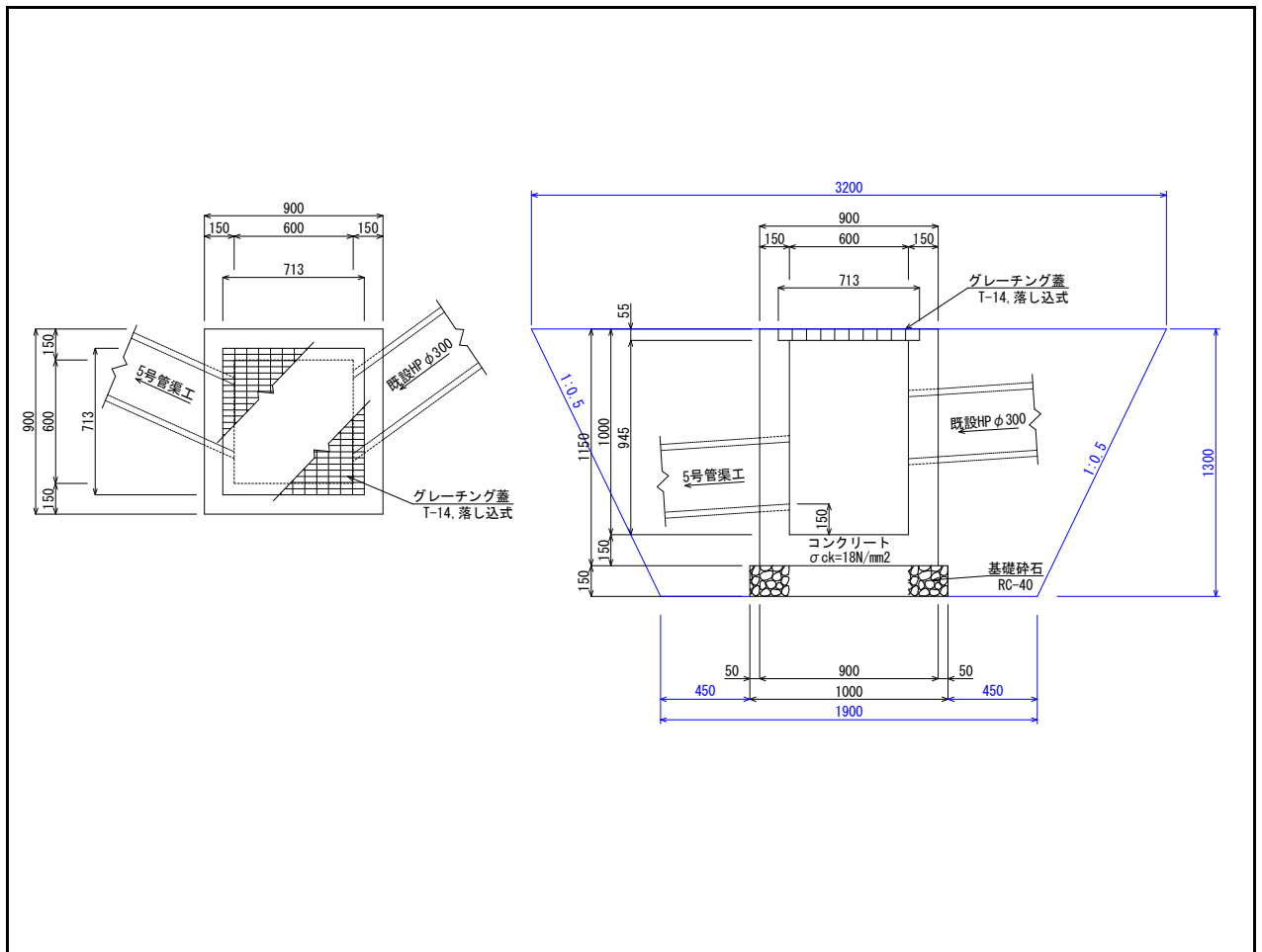
名 称	規 格	算 式	1箇所当り 数 量	延 長 所	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.90 \times 0.90 \times 0.75 - 0.60 \times 0.60 \times 0.60$ $-(0.30 \times 0.34 \times 0.15) \times 2$	0.361		m3
型枠	小型Ⅱ	$(0.90+0.60) \times 0.75 \times 4$ $-0.30 \times 0.34 \times 4 + (0.30 \times 2 + 0.34 \times 2) \times 0.15 \times 2$	4.48		m2
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$1.00 \times 1.00 \times 0.10$	0.100		m3
基礎コン型枠		$1.00 \times 0.10 \times 4$	0.40		m2
床堀	砂質土・機械	$1.9 \times 1.9 \times 0.1$	0.4		m3
埋戻	Fu(D)	$0.4 - 1.0 \times 1.0 \times 0.1$	0.3		m3
基面整正	人力	1.0×1.0	1.0		m2



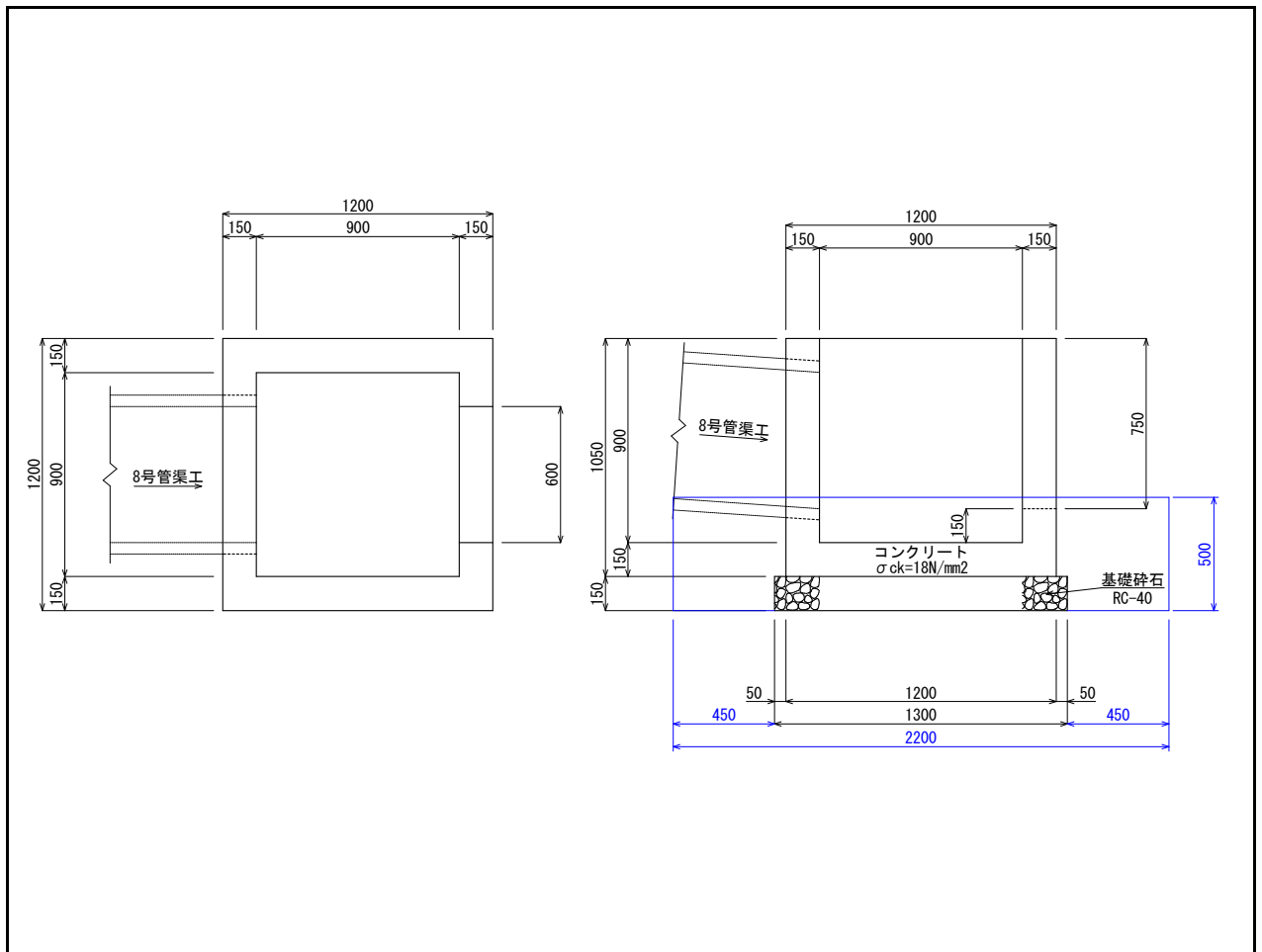
名 称	規 格	算 式	1箇所当り 数 量	延 長 所	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.90 \times 0.90 \times 0.80 - 0.60 \times 0.60 \times 0.65$ $- 0.30 \times 0.40 \times 0.15$	0.396		m ³
型枠	小型Ⅱ	$(0.90 + 0.60) \times 0.80 \times 4 - 0.30 \times 0.40 \times 2$ $+ (0.30 + 0.40) \times 2 \times 0.15$	4.77		m ²
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$1.00 \times 1.00 \times 0.10$	0.100		m ³
基礎コン型枠		$1.00 \times 0.10 \times 4$	0.40		m ²
床堀	砂質土・機械	$1.9 \times 1.9 \times 0.25$	0.9		m ³
埋戻	Fu(D)	$0.9 - (1.0 \times 1.0 \times 0.1 + 0.9 \times 0.9 \times 0.15)$	0.7		m ³
基面整正	人力	1.0×1.0	1.0		m ²



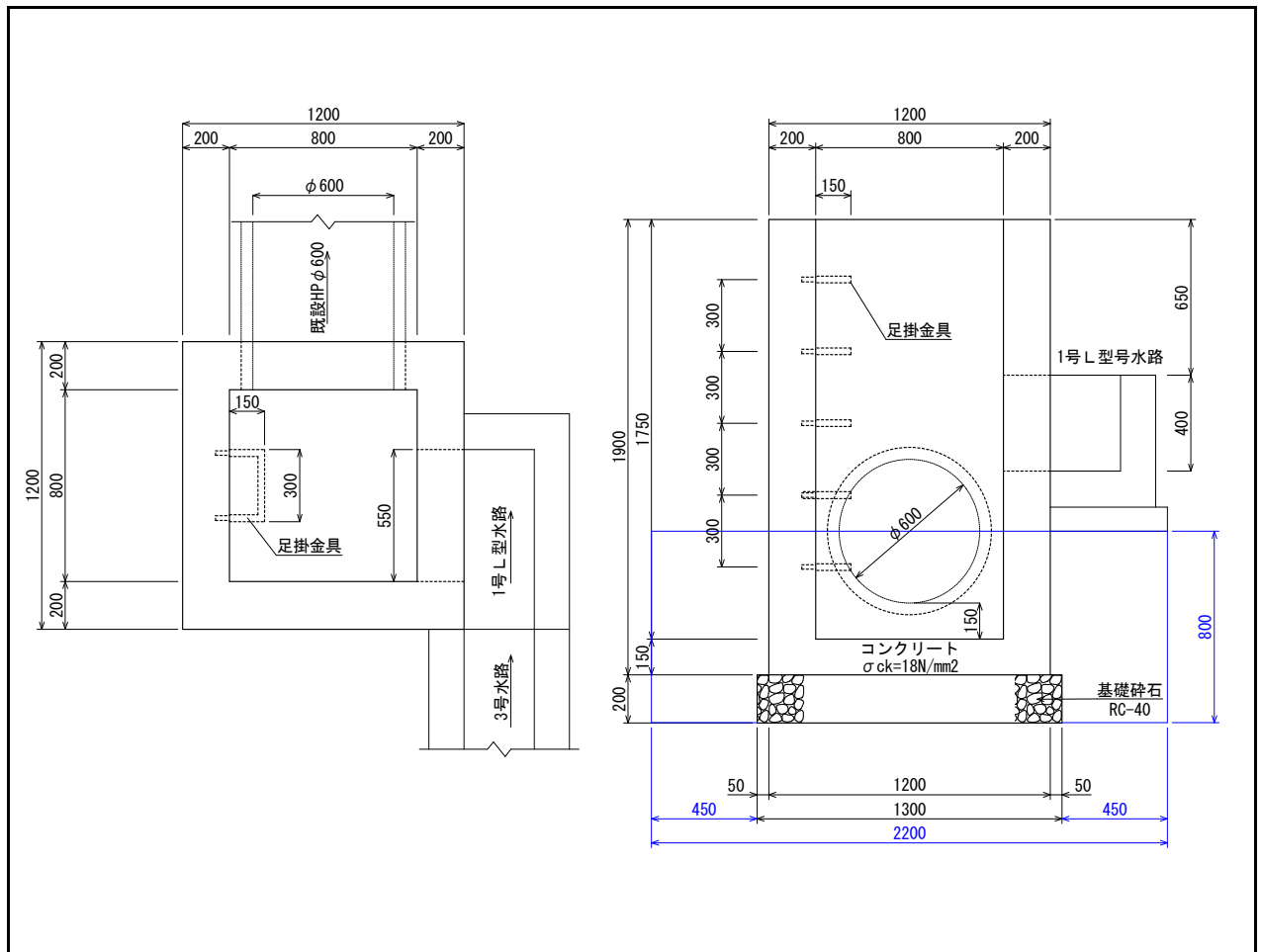
名 称	規 格	算 式	1箇所当り 数 量	延 長 箇 所	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.90 \times 0.90 \times 1.10 - 0.60 \times 0.60 \times 0.95$ $- 0.30 \times 0.42 \times 0.15 - 0.30 \times 0.774 \times 0.15$	0.495		m ³
型枠	小型Ⅱ	$(0.90 + 0.60) \times 1.10 \times 4 - 0.30 \times 0.42 \times 2$ $- 0.30 \times 0.774 \times 2 + (0.30 + 0.42 \times 2) \times 0.15$ $+ (0.30 + 0.774 \times 2) \times 0.15$	6.33		m ²
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$1.00 \times 1.00 \times 0.10$	0.100		m ³
基礎コン型枠		$1.00 \times 0.10 \times 4$	0.40		m ²
床堀	砂質土・機械	$1.9 \times 1.9 \times 0.25$	0.9		m ³
埋戻	Fu(D)	$0.9 - (1.0 \times 1.0 \times 0.1 + 0.9 \times 0.9 \times 0.15)$	0.7		m ³
基面整正	人力	1.0×1.0	1.0		m ²



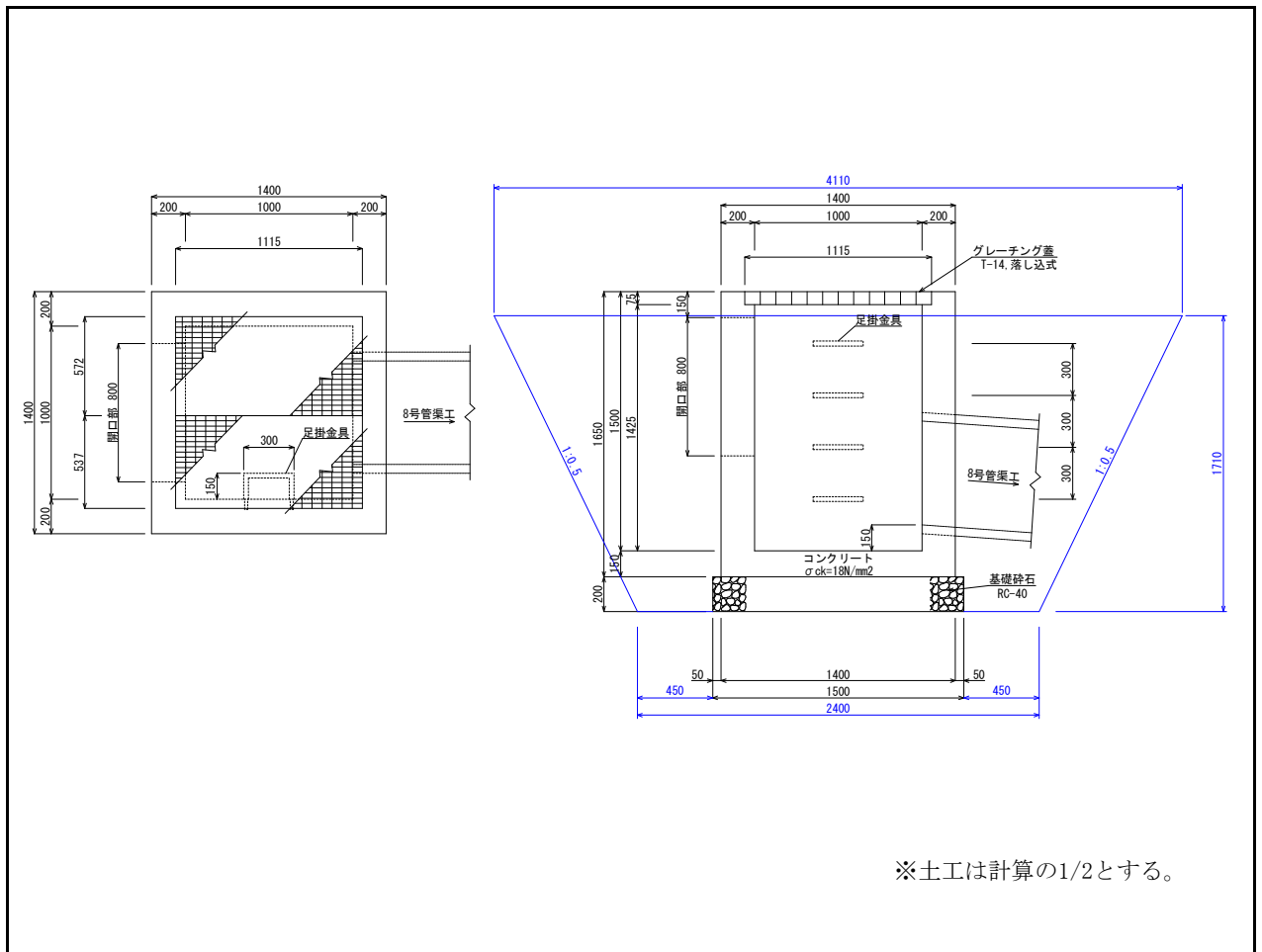
名 称	規 格	算 式	1箇所当り 数 量	延 長 箇 所	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.90 \times 0.90 \times 1.15 - 0.60 \times 0.60 \times 0.945$ $- 0.713 \times 0.713 \times 0.055$	0.563		m ³
型枠	小型Ⅱ	$(0.90 + 0.60) \times 1.15 \times 4$	6.90		m ²
基礎碎石	RC-40, t=150	1.00×1.00	1.00		m ²
グレーチング蓋	T-14, 落し込式	600×600柵用枠付	1.0		枚
床堀	砂質土・機械	$(3.2 \times 3.2 + 1.9 \times 1.9) / 2 \times 1.3$	9.0		m ³
埋戻	Fu(D)	$9.0 - (1.0 \times 1.0 \times 0.15 + 0.9 \times 0.9 \times 1.15)$	7.9		m ³
基面整正	人力	1.0×1.0	1.0		m ²



名 称	規 格	算 式	1箇所当り 数 量	延 長 箇 所	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$1.20 \times 1.20 \times 1.05 - 0.90 \times 0.90 \times 0.90$ $- 0.60 \times 0.60 \times \pi / 4 \times 0.15 - 0.60 \times 0.75 \times 0.15$	0.673		m ³
型枠	小型Ⅱ	$(1.20 + 0.90) \times 1.05 \times 4 - 0.60 \times 0.60 \times \pi / 4 \times 2$ $- 0.60 \times 0.75 \times 2 + 0.60 \times \pi \times 0.15$ $+ (0.60 + 0.75 \times 2) \times 0.15$	7.95		m ²
基礎碎石	RC-40, t=150	1.30×1.30	1.69		m ²
床堀	砂質土・機械	$2.2 \times 2.2 \times 0.5$	2.4		m ³
埋戻	Fu(D)	$2.4 - (1.3 \times 1.3 \times 0.15 + 1.2 \times 1.2 \times 0.35)$	1.6		m ³
基面整正	人力	1.3×1.3	1.7		m ²



名 称	規 格	算 式	1箇所当り 数 量	延 長 箇 所	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$1.20 \times 1.20 \times 1.90 - 0.80 \times 0.80 \times 1.75$ $- 0.55 \times 0.40 \times 0.20 - 0.60 \times 0.60 \times \pi / 4 \times 0.20$	1.515		m ³
型枠	小型Ⅱ	$(1.20 + 0.80) \times 1.90 \times 4$ $- 0.55 \times 0.40 \times 2 - 0.60 \times 0.60 \times \pi / 4 \times 2$ $+ (0.55 + 0.40) \times 0.20 \times 2 + 0.60 \times \pi \times 0.20$	14.95		m ²
基礎碎石	RC-40, t=200	1.30×1.30	1.69		m ²
足掛金具	足掛幅300		5.0		本
床堀	砂質土・機械	$2.2 \times 2.2 \times 0.8$	3.9		m ³
埋戻	Fu(D)	$3.9 - (1.3 \times 1.3 \times 0.2 + 1.2 \times 1.2 \times 0.6)$	2.7		m ³
基面整正	人力	1.3×1.3	1.7		m ²



名 称	規 格	算 式	1箇所当り 数 量	延 長 箇 所	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$1.40 \times 1.40 \times 1.65 - 1.00 \times 1.00 \times 1.425$ $- 0.80 \times 0.80 \times 0.20 - 0.60 \times 0.60 \times \pi / 4 \times 0.20$ $- 1.115 \times (0.537 + 0.572) \times 0.075$	1.532		m3
型枠	小型Ⅱ	$(1.40 + 1.00) \times 1.65 \times 4 - 0.80 \times 0.80 \times 2$ $- 0.60 \times 0.60 \times \pi / 4 \times 2$ $+ (0.80 + 0.80) \times 2 \times 0.20 + 0.60 \times \pi \times 0.20$	15.01		m2
基礎砕石	RC-40, t=200	1.50×1.50	2.25		m2
グレーチング蓋	T-14, 落し込式	1000×1000桝用枠付	1.0		枚
足掛金具	足掛幅300		4.0		本
床堀	砂質土・機械	$(4.11 \times 4.11 + 2.4 \times 2.4) / 2 \times 1.71 \times 1/2$	9.7		m3
埋戻	Fu(D)	$9.7 - (1.5 \times 1.5 \times 0.2 + 1.4 \times 1.4 \times 1.51)$	6.3		m3
基面整正	人力	1.5×1.5	2.3		m2

名 称	規 格	算 式	1箇所当り 数 量	延 長 箇 所	数 量
雨水桝(フタ付)	呼名 400		1.0		箇所
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.40 \times 0.40 \times 0.13$	0.021		m ³
基礎碎石	RC-40, t=100	0.56×0.56	0.31		m ²
床堀	砂質土・機械	$1.06 \times 1.06 \times 0.63$	0.7		m ³
埋戻	Fu(D)	$0.7 - (0.56 \times 0.56 \times 0.1 + 0.46 \times 0.46 \times 0.53)$	0.6		m ³
基面整正	人力	0.56×0.56	0.3		m ²

工 装 舖

舗装工数量総括表

工種	種別	規格	単位	数量	備考
表層工	再生密粒度As	t=4cm	m ²	1012.1	計第71表
上層路盤工	再生粒調碎石	t=12cm	〃	1032.7	計第71表
路床改良工	セメント安定処理	t=50cm	〃	692.1	計第73表

区画線	白線・実線	W=0.15m	m	316.4	計第74表
	〃	W=0.45m	〃	18.6	〃
	白線・破線	L=1.0m, W=0.15m	〃		〃
	〃	L=0.5m, W=0.3m	〃		〃
交差点表示	白線・実線	W=0.3m	〃	2.4	〃

計 第

71-1 表

舗装工

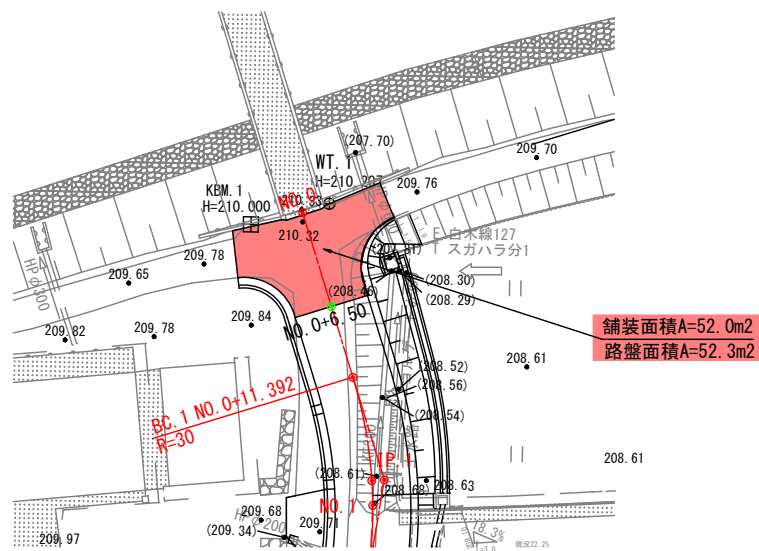
計 算 書

測 点	距 離	W1-1(表層工 t=4cm)			W2-1(上層路盤工 t=12cm)					
		幅	平 均	面 積	幅	平 均	面 積		平 均	
No.0～+6.5(別紙舗装数量-1)				52.0			52.3			
No.0+6.5		5.00			5.10					
BC.1	4.9	5.00	5.00	24.5	5.10	5.10	25.0			
SP.1	7.0	5.00	5.00	35.0	5.10	5.10	35.7			
No.1	1.6	5.00	5.00	8.0	5.10	5.10	8.2			
	0.4	5.00	5.00	2.0	5.10	5.10	2.0			
		5.00			5.00					
	3.3	5.00	5.00	16.5	5.00	5.00	16.5			
		5.00			5.10					
EC.1	1.7	5.00	5.00	8.5	5.10	5.10	8.7			
BC.2	9.8	5.00	5.00	49.0	5.10	5.10	50.0			
	2.2	5.00	5.00	11.0	5.10	5.10	11.2			
		5.00			5.10					
NO.2	2.2	5.00	5.00	11.0	5.10	5.10	11.2			
SP.2	4.8	5.00	5.00	24.0	5.10	5.10	24.5			
EC.2	9.7	5.00	5.00	48.5	5.10	5.10	49.5			
SP.3	7.5	5.00	5.00	37.5	5.10	5.10	38.3			
	0.7	5.00	5.00	3.5	5.10	5.10	3.6			
		5.00			5.00					
	2.1	5.00	5.00	10.5	5.00	5.00	10.5			
		5.00			5.10					
EC.3	3.7	5.00	5.00	18.5	5.10	5.10	18.9			
NO.4	11.5	5.00	5.00	57.5	5.10	5.10	58.7			
BC.4	15.4	5.00	5.00	77.0	5.10	5.10	78.5			
NO.5	4.6	5.00	5.00	23.0	5.10	5.10	23.5			
SP.4	20.6	5.00	5.00	103.0	5.10	5.10	105.1			
NO.7	19.4	5.00	5.00	97.0	5.10	5.10	98.9			
EC.4	5.8	5.00	5.00	29.0	5.10	5.10	29.6			
	14.1	5.00	5.00	70.5	5.10	5.10	71.9			
		5.00			5.00					
NO.8	0.1	5.00	5.00	0.5	5.00	5.00	0.5			
	1.9	5.00	5.00	9.5	5.00	5.00	9.5			
		5.00			5.10					
	0.8	5.00	5.00	4.0	5.10	5.10	4.1			
		4.17			4.27					
	1.4	4.17	4.17	5.8	4.27	4.27	6.0			
		5.00			5.10					
	0.1	5.00	5.00	0.5	5.10	5.10	0.5			
	m			m ²			m ²			
小 計	157.3			837.3			852.9			

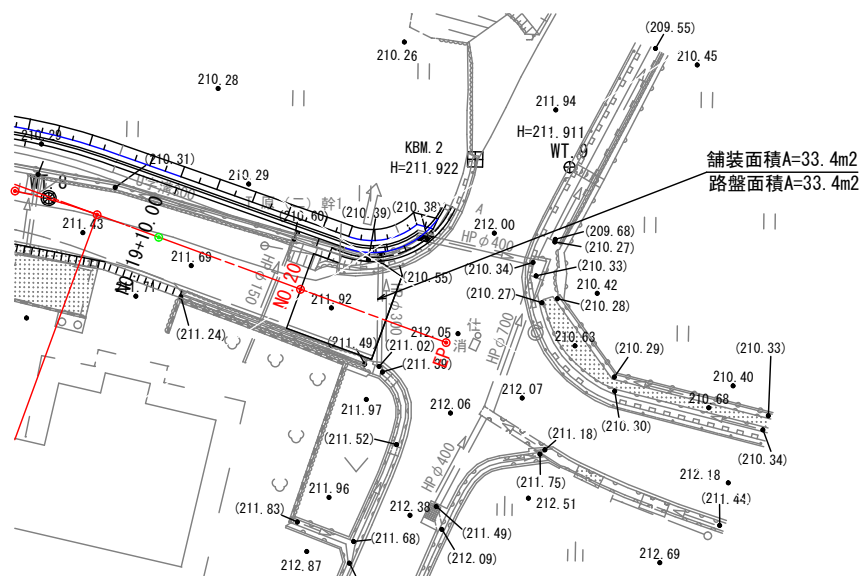
計 第		71-2 表		舗装工(W>4.5m)		計 算 書				
測 点	距 離	W1-1(表層工 t=4cm)			W2-1(上層路盤工 t=12cm)					
		幅	平 均	面 積	幅	平 均	面 積		平 均	
		5.00			5.00					
NO.8+9.0	4.8	5.00	5.00	24.0	5.00	5.00	24.0			
	3.8	5.00	5.00	19.0	5.00	5.00	19.0			
		5.00			5.10					
NO.2～NO.8+3付近(右)別紙舗装数量-2				72.4			72.4			
NO.8+4～NO.8+13付近(右)別紙舗装数量-3				6.5			6.5			
No.1付近(右)別紙舗装数量-5				9.3			10.1			
SP.2付近(右) 別紙舗装数量-5				7.3			8.2			
BC.3付近(右) 別紙舗装数量-5				18.8			20.5			
No.8+9付近(左)別紙舗装数量-6				17.5			19.1			

舗装数量-1

NO. 0付近



NO. 20～EP付近



鋪裝面積 $A=72.4\text{m}^2$
路盤面積 $A=72.4\text{m}^2$

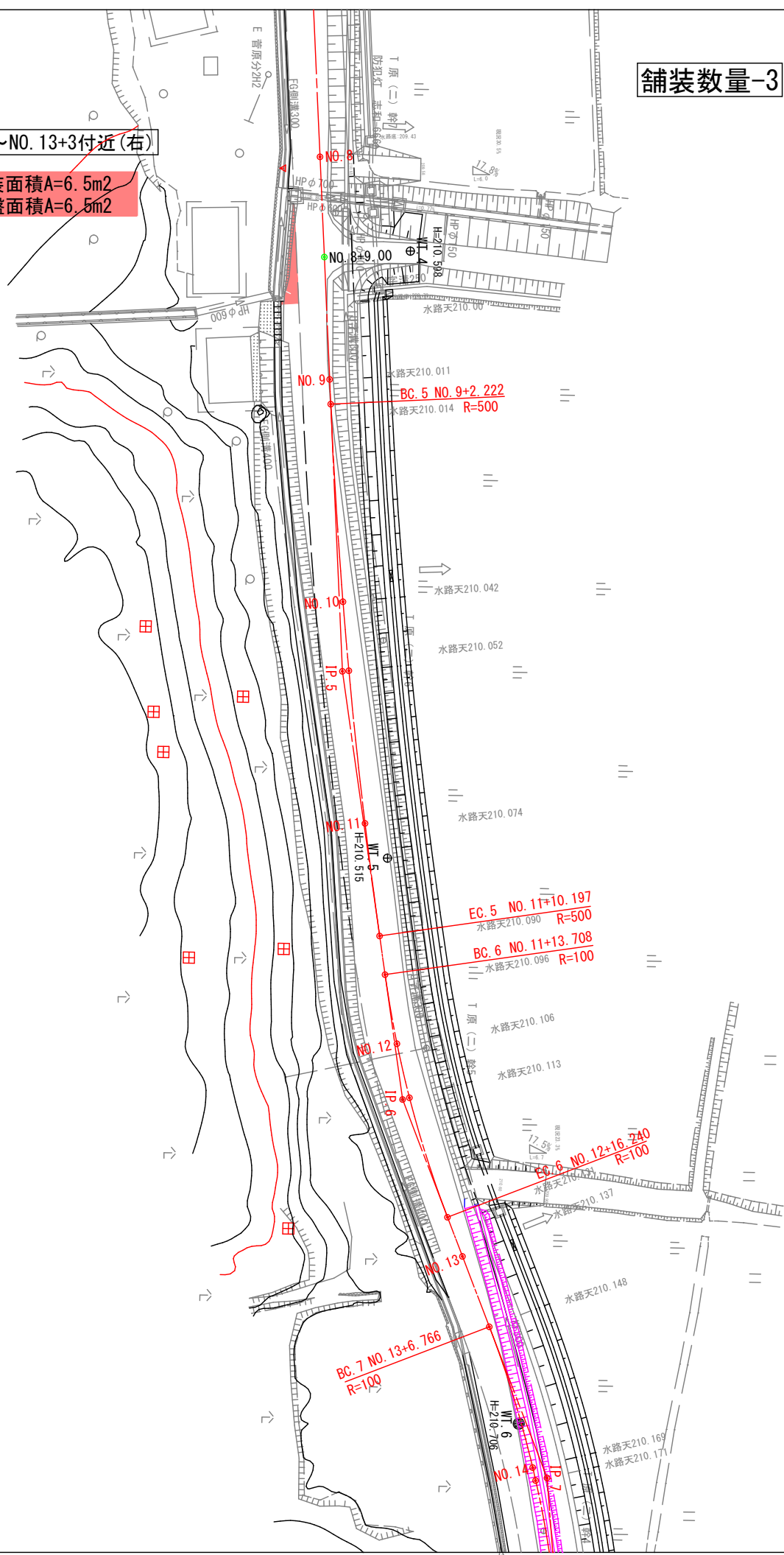
田面高=209.58

EC. 4 NO. 7+5. 760
R=50

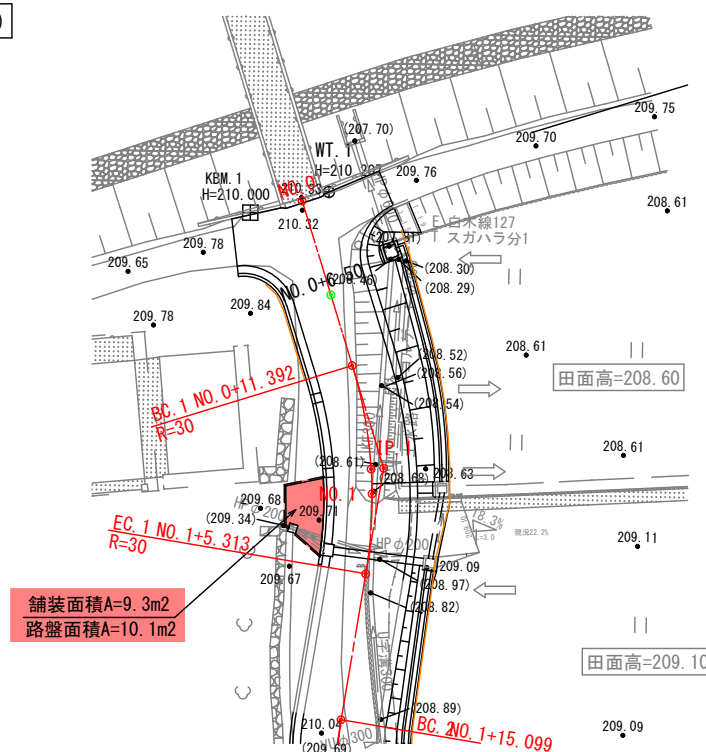
舗装数量-3

NO. 8+4~NO. 13+3付近(右)

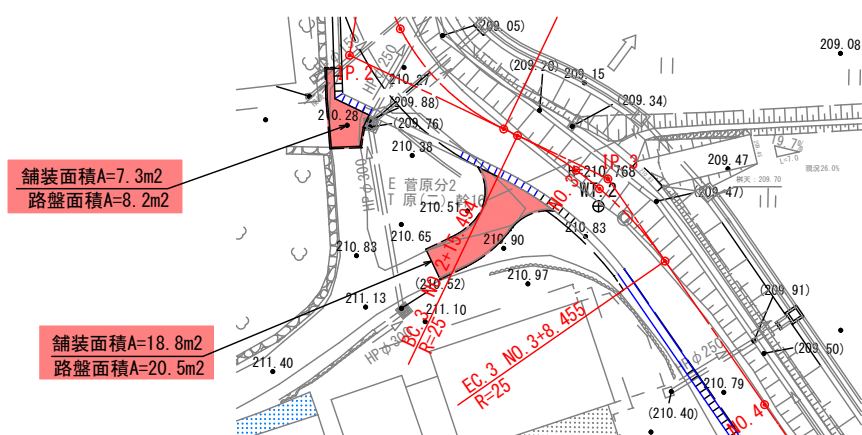
舗装面積A=6.5m²
路盤面積A=6.5m²



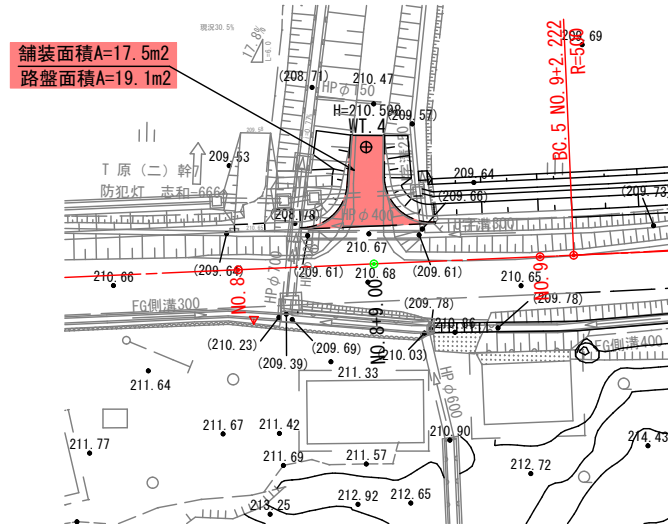
NO. 1付近(右)



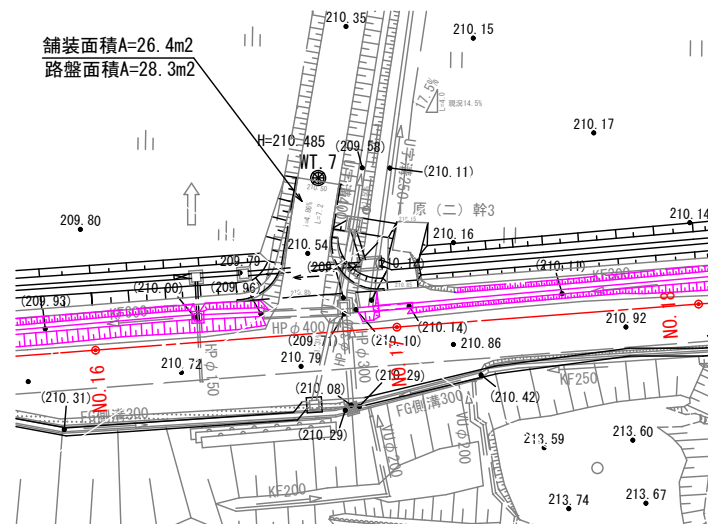
SP. 2, BC. 3付近(右)



NO. 8+9付近(左)



NO. 16+15付近(左)



計 第

73-2 表

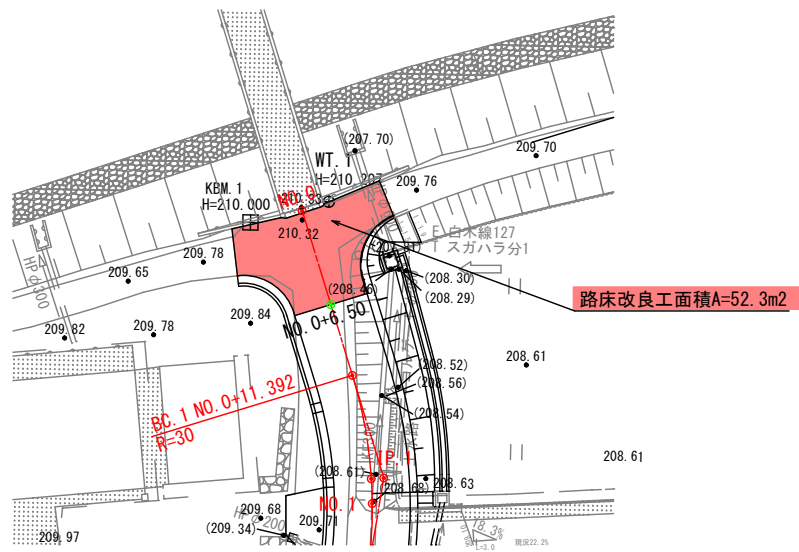
路床改良工

計 算 書

測 点	距 離	W3(路床改良工, t=50cm)								
		W3	平 均	面 積		平 均			平 均	
	m			m ²						
小 計										
別途										
NO.0付近				52.3						
	m			m ²						
小 計				52.3						
	m			m ²						
合 計	166.6			692.1						

路床改良工数量-1

NO. 0付近



計 第 74-1 表			区画線			延 長 調 書		
白線・実線 (W=0.15m)				白線・破線 (L=1.0m, W=0.15m)				
測 点		延 長	摘 要	測 点		延 長	摘 要	
No. 0+2.8 ~ No. 1+3.8		22.1	左側					
No. 1+4.3 ~ No. 1+17.2		12.7	〃					
No. 1+17.8 ~ No. 8+4.8		123.8	〃					
No. 0+3.3 ~ No. 1+3.8		20.1	右側					
No. 1+4.3 ~ No. 1+17.2		13.3	〃					
No. 1+17.8 ~ No. 2+14.1		18.4	〃					
No. 3+0.9 ~ No. 6+18.8		79.1	〃					
No. 6+18.8 ~ No. 8+2.7		24.2	〃					
No. 8+4.1 ~ No. 8+6.8		2.7	〃					
計		316.4 m		計		m		

計 第 74-2 表			排 水 工			延 長 調 書		
白線・破線 (L=0.5m, W=0.3m)			白線・実線 (W=0.45m) ゼブラ					
測 点	数 量	摘 要	測 点	数 量	摘 要			
			No. 3付近 (右)					
			2.9+5.0+6.7+1.7+1.7+0.6	18.6				
計	m		計	18.6 m				

計 第 74-3 表			交差点表示			延 長 調 書		
白線・実線 (W=0.3m)								
測 点	延 長	摘 要	測 点	延 長	摘 要			
No. 3付近 (右)		T 表 示						
1. 5+0. 85	2. 35							
計	2. 35 m		計					

計 第 表			延 長 調 書		
測 点	数 量	摘 要	測 点	数 量	摘 要
計			計		

事 工 雜

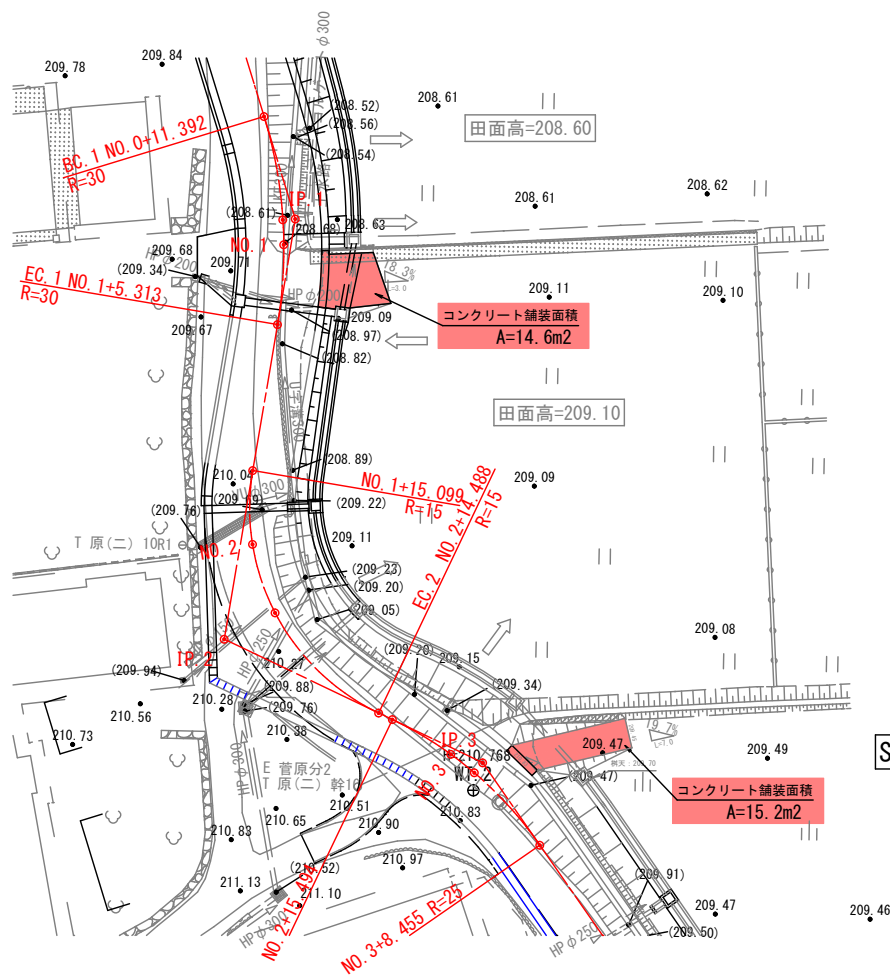
雑工事数量総括表

種別	規格	単位	数量	備考
コンクリート舗装	t=10cm	m ²	61.1	計第78表
間詰コンクリート	σ ck=18N/mm2	m ³	0.0	計第79表

計 第 78 表 コンクリート舗装 計 算 書										
測 点	距 離	コンクリート舗装								
		幅	平 均	面 積		平 均	積		平 均	積
(右)										
		0.5								
SP.4	15.3	0.5	0.50	7.7						
No.7	22.0	0.3	0.40	8.8						
	5.5	0.3	0.30	1.7						
小計	42.8			18.2						
(右)										
小計										
小計										
No.1付近(左)		コンクリート舗装数量1		14.6						
SP.3付近(左)		コンクリート舗装数量1		15.2						
No.8付近(左)		コンクリート舗装数量1		13.1						
合 計	42.8			61.1						

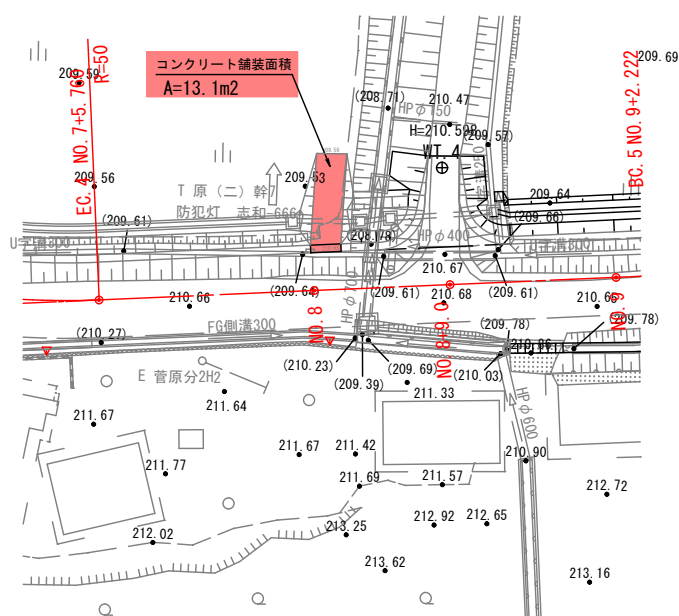
コンクリート舗装数量-1

NO. 1 付近 (左)



SP. 3付近(左)

NO. 8付近(左)



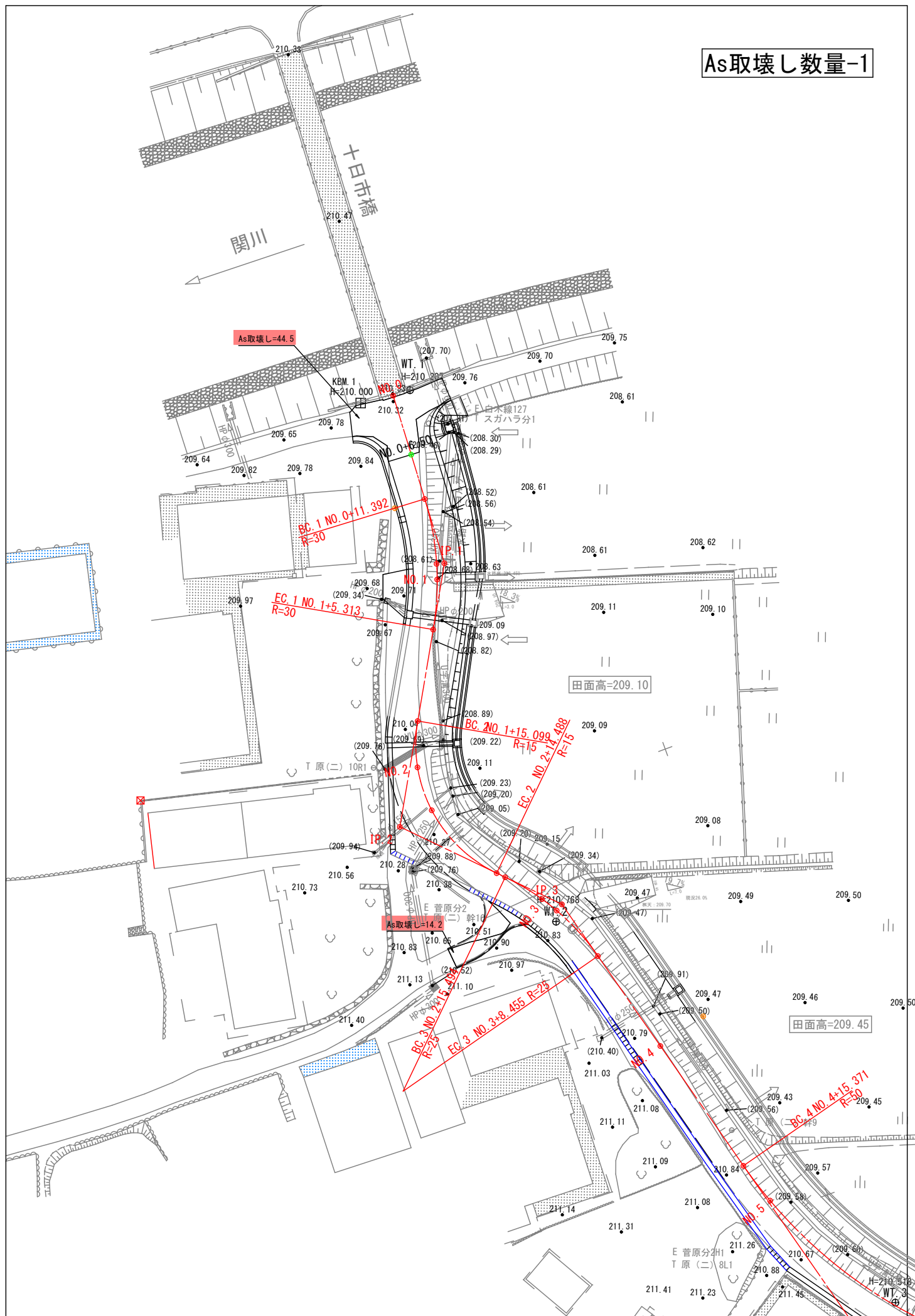
雑工事数量総括表

種別	規格	単位	数量	備考
As取壊し	t=5cm	m ²	704.0	計第80表
		m ³	35.2	〃
		t	82.7	〃
コンクリート取壊し	無筋	m ³	13.6	コンクリート取壊し数量総括表
		t	31.9	〃
切断工	As t=15cm以下	m	29.1	計第82表
	Con	〃		〃

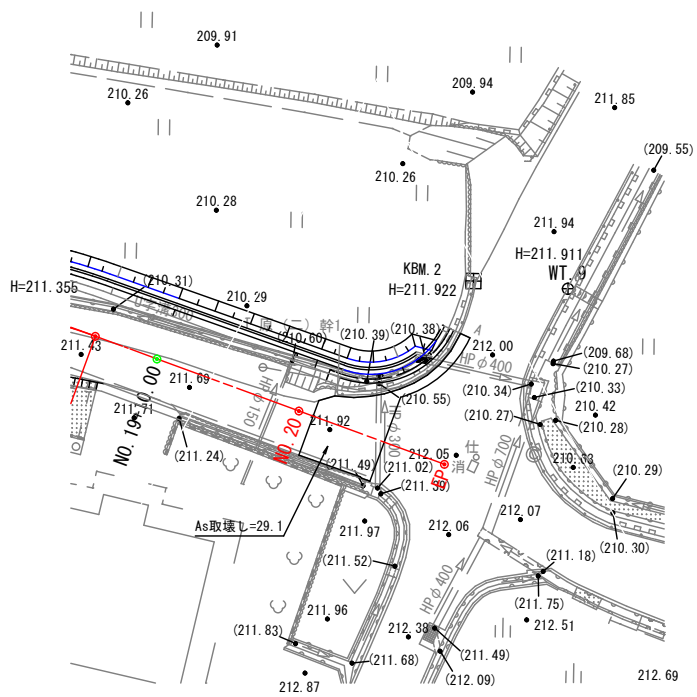
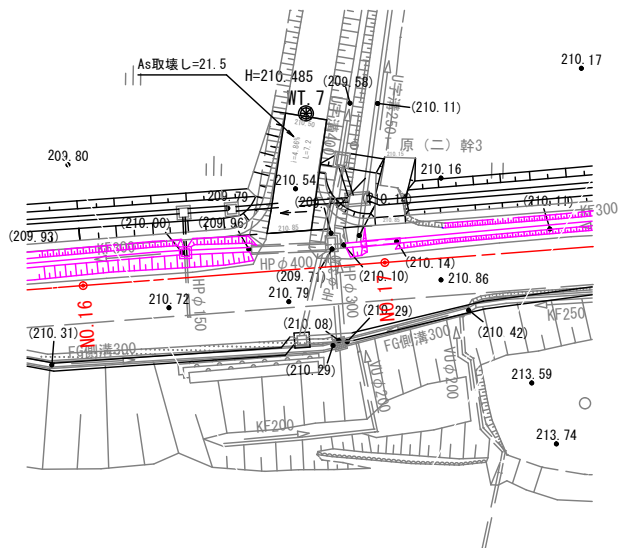
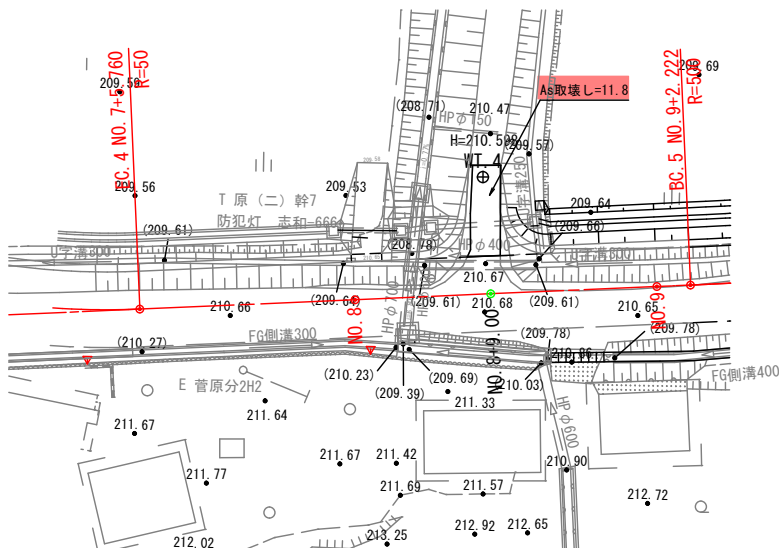
計 第 80-2 表		As取壊し			計 算 書					
測 点	距 離	As取壊し(t=5cm)								
		幅	平 均	面 積		平 均	積		平 均	積
No.8		3.4								
	2.6	3.0	3.20	8.3						
		2.0								
	2.5	2.9	2.45	6.1						
	2.4	5.3	4.10	9.8						
No.8+9.0	1.5	6.0	5.65	8.5						
	0.7	5.6	5.80	4.1						
		5.0								
	1.3	3.5	4.25	5.5						
	1.4	3.9	3.70	5.2						
	4.0	3.9	3.90	15.6						
	0.2	3.5	3.70	0.7						
No.9										
BC.5										
No.10										
SP.5										
No.11										
EC.5										
BC.6										
No.12										
SP.6										
EC.6										
No.13										
BC.7										
No.14										
SP.7										
EC.7										
No.15										
No.15+10										
No.16										
No.16+15.1										
小 計	16.6			63.8						

計 第 80-3 表 As取壊し 計 算 書										
測 点	距 離	As取壊し(t=5cm)								
		幅	平 均	面 積		平 均	積		平 均	積
No.16+15.1										
	0.5									
	2.2									
No.17	2.2									
	5.3									
	0.9									
No.18	13.8									
BC.8	8.6									
	2.1									
SP.8	6.4									
No.19	2.9									
EC.8	5.7									
No.19+10	4.3									
No.20	10.0									
	1.0									
EP付近										
小 計	65.9									
No.3付近右側		別紙As取壊し数量-1		14.2						
No.8+9.0左側		別紙As取壊し数量-2		11.8						
No.16+15.0左側										
合 計	236.1			704.0						
		704.0×0.05×2.35		82.7						

As取壊し数量-1



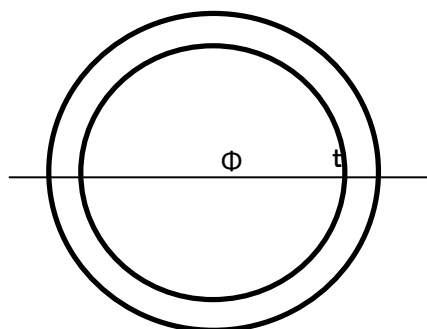
As取壊し数量-2



コンクリート取壊し数量総括表

種別	規格	単位	数量	備考
コンクリート水路(A)	無筋	m ³	1.1	計第81表
コンクリート水路(B)	〃	〃	0.5	〃
コンクリート水路(C)	〃	〃	4.3	〃
コンクリート水路(D)	〃	〃	1.2	〃
コンクリート水路(E)	〃	〃		〃
集水桝(A)	〃	〃	0.9	〃
集水桝(B)	〃	〃	0.3	〃
集水桝(C)	〃	〃		〃
集水桝(D)	〃	〃		〃
集水桝(E)	〃	〃		〃
ヒューム管	〃	〃	5.1	〃
既設コンクリート舗装	〃	〃		〃
コンクリート壁(A)	〃	〃	0.2	〃
コンクリート壁(B)	〃	〃		〃
ブロック基礎	〃	〃		〃
ブロック積(控0.35)		m ³		計第81表
合 計		m ³	13.6	
		t	31.9	2.35t/m3

コンクリート水路(A)	グレーチング蓋	kg	192.5	計第81表
集水桝(B)	〃	〃	38.4	〃
合 計		〃	230.9	



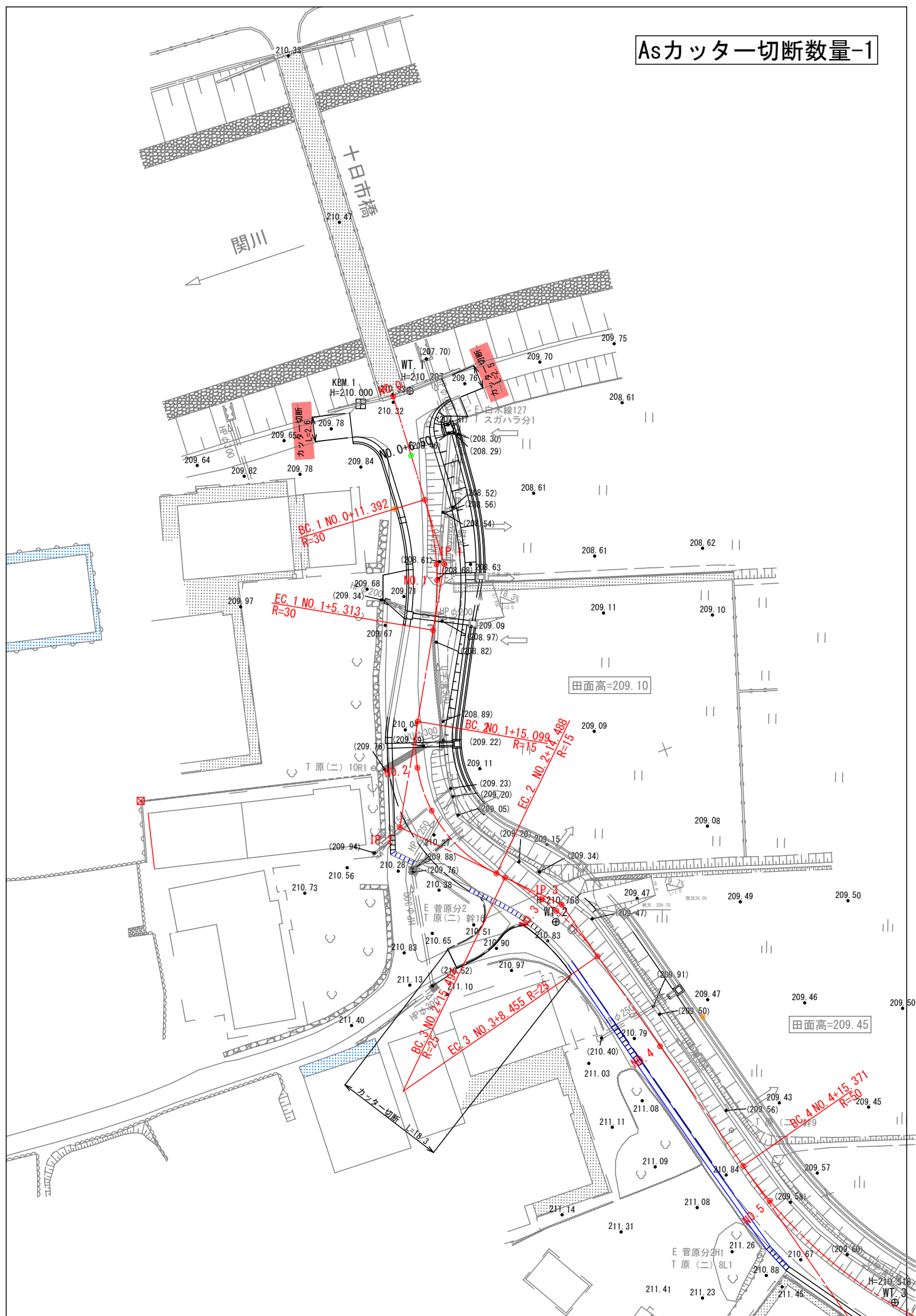
Φ	t	L
150	26	8.4
200	27	7.3
250	28	8.4
400	35	7.4
700	58	4.8

[illegible]

計 第 82 表			切断工		延 長 調 書	
Asカッター切断 (t=15cm以下)			コンクリートカッター切断			
測 点	延 長	摘 要	名 称	数 量	摘 要	
No. 0付近 (左) 別紙Asカッター切断数量-1	2.6					
No. 0付近 (右) 別紙Asカッター切断数量-1	2.5					
No. 3付近 (右) 別紙Asカッター切断数量-1	18.3					
No. 8+9付近 (左) 別紙Asカッター切断数量-2	5.7	1.9+3.8				
	</					

計 第 表			延 長 調 書		
名 称	数 量	摘 要	名 称	数 量	摘 要
計			計		

Asカッタ一切断数量-1



Asカッタ一切断数量-2

